

第1回 大乘淑徳学園 学園内調査

Project on Human Development in Daijo Shukutoku Gakuen
(PHDDSG)

— 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する意識調査—

報告書



2024年 3月

学校法人 大乘淑徳学園

目次

1. 調査の概要

1-1. 目的と方法

(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法及び対象者	1
(3) 調査項目の設計について	6
(4) データクリーニング	7

1-2. 回答者の個人属性

(1) 小学生.....	9
(2) 中学生.....	10
(3) 高校生.....	11
(4) 大学生・院生	12
(5) 幼稚園保護者	13
(6) 小学生校保護者	14
(7) 中学生保護者	15
(8) 高校生保護者	16

2. 調査結果

2-1. コロナ禍における認識・現在の感染予防行動

(1) コロナ禍における認識.....	17
(2) 現在の感染予防行動	28

2-2. 健康

(1) 身体的健康（現在の困り事）	39
(2) 精神的健康（公衆衛生）	44

2-3. 心理

(1) メンタルヘルス（臨床心理）	46
(2) 孤独感.....	48
(3) 自己肯定感	50
(4) 行動基準	52

2-4. 福祉

(1) ソーシャル・サポート	55
----------------------	----

(2) 大乘仏教	59
2-5. 教育	
(1) 生活習慣（テレビ等を見る時間）	60
(2) 文化資本	61
(3) 非認知能力	62
3. 「第 1 回学園内調査」調査票	
(1) 小学生対象 調査票	68
(2) 中学生、高校生、大学生・院生対象 調査票	85
(3) 保護者対象 調査票	102
【文献】	116

1. 調査の概要

本調査は、第1回目の学園内調査として、大乘淑徳学園・学園本部において実施された。学園内調査のプロジェクトメンバー下記のとおりである。

- 学園本部 竹内 優 (学園本部・経営企画部長)
- 大学 米村 美奈 (淑徳大学・副学長)
- 学内コア委員 ※研究代表者

永房 典之	(人文学部人間科学科)	心理学	◎プロジェクトリーダー ※
山本 功	(コミュニティ政策学部)	犯罪社会学	○プロジェクト副リーダー
長谷川 美貴子	(人文学部人間科学科)	看護学	人間科学科長
武内 智弥	(人文学部人間科学科)	臨床心理学	
中西 一弘	(人文学部人間科学科)	スポーツ健康科学	
林 芳治	(人文学部人間科学科)	社会福祉学	
藤森 雄介	(人文学部人間科学科)	社会福祉学	
- 学外委員

高木 大資	(東京大学)	公衆衛生学
鈴木 あい	(福島大学)	犯罪学

1-1. 目的と方法

(1) 調査の目的

学園(大乘淑徳学園)内の生徒や保護者にコロナ禍への意識等に関する調査を実施し、幼稚園から大学院までの総合学園としての強み、研究エビデンスを生かして、今後の学園における教育や社会貢献につなげる。

(2) 調査方法及び対象者

調査期間 2023(令和5)年11月22日～12月21日

調査方法 Web調査
※各学校で調査票画面のURLまたはQRコードを示し、任意で調査協力を求めた。

調査対象者 大乘淑徳学園に在籍する生徒と保護者※
※生徒は、小学校4年～6年生、中学校、高校、大学・大学院
(幼稚園・小学校1年～3年生、短期大学部・別科を除く)
保護者は、幼稚園・小学校・中学校・高校の保護者

大乘淑徳学園の学生・生徒・園児の人数は「令和5年度学生・生徒数（5月1日）」
https://www.daijo.shukutoku.ac.jp/wordpress/wp-content/themes/cocoon-child-master/document/zaiseki_2023.pdf を参照

(学) 大乘淑徳学園 計	調査対象の生徒在籍数 11,066※ (※留学生別科と短期大学部を除いた人数)
--------------	--

調査票

本調査は①②③の計3つの調査票を用いて実施された。

- ① 「小学生用（4年生～6年生が対象）」調査票
- ② 「中学生・高校生・大学生・大学院生用」調査票
- ③ 「保護者用（幼稚園・小学校・中学校・高校の保護者が対象）」調査票

調査項目には、3つの調査票に共通した項目と個別項目がある。たとえば、個別項目には、保護者向けの項目として、自分自身のことではなく子どものことを聞く項目等がある。

有効回答数	調査票① 小学校（4～6年生）の児童	326 票
	調査票② 中学・高校の生徒・大学（含む大学院生）の学生	3,485 票
	調査票③ 保護者（幼稚園・小学校・中学校・高校）	1,713 票
	有効回答計	5,524 票

表 1-1 小学生対象調査（調査票①）の有効回答数、有効回答率

学校名		4年生	5年生	6年生	合計
淑徳 小学校	児童数（R5.05.01）	113	112	120	345
	有効回答数（データクリーニング後）	108	100	118	326
	有効回答率	95.6%	89.3%	98.3%	94.5%

表 1-2 中学生・高校生・大学生・大学院生対象調査（調査票②）の有効回答数、有効回答率

【中学校】

学校名		1年生	2年生	3年生	合計
淑徳 中学校	生徒数 (R5.05.01)	188	197	155	540
	有効回答数 (データクリーニング後)	12	124	106	242
	有効回答率	6.4%	62.9%	68.4%	44.8%
淑徳巣鴨 中学校	生徒数 (R5.05.01)	123	118	116	357
	有効回答数 (データクリーニング後)	90	88	89	267
	有効回答率	73.2%	74.6%	76.7%	74.8%
淑徳与野 中学校	生徒数 (R5.05.01)	126	126	125	377
	有効回答数 (データクリーニング後)	47	33	54	134
	有効回答率	37.3%	26.2%	43.2%	35.5%
全中学校 合計	生徒数 (R5.05.01)	437	441	396	1,274
	有効回答数 (データクリーニング後)	149	245	249	643
	有効回答率	34.1%	55.6%	62.9%	50.5%

【高等学校】

学校名		1年生	2年生	3年生	合計
淑徳 高校	生徒数 (R5.05.01)	388	419	383	1,190
	有効回答数 (データクリーニング後)	92	276	213	581
	有効回答率	23.7%	65.9%	55.6%	48.8%
淑徳巣鴨 高校	生徒数 (R5.05.01)	379	495	420	1,294
	有効回答数 (データクリーニング後)	312	340	207	859
	有効回答率	82.3%	68.7%	49.3%	66.4%
淑徳与野 高校	生徒数 (R5.05.01)	333	365	363	1,061
	有効回答数 (データクリーニング後)	177	175	211	563
	有効回答率	53.2%	47.9%	58.1%	53.1%
全高校 合計	生徒数 (R5.05.01)	1,100	1,279	1,166	3,545
	有効回答数 (データクリーニング後)	581	791	631	2,003
	有効回答率	52.8%	61.8%	54.1%	56.5%

【大学】

学校名		1年生	2年生	3年生	4年生	合計
淑徳 大学 学部	学生数 (R5.05.01)	1,502	1,231	1,172	1,261	5,166
	有効回答数 (データクリーニング後)	281	144	156	137	718
	有効回答率	18.7%	11.7%	13.3%	10.9%	13.9%

【大学院】

学校名		M1	M2	D1	D2	D3	合計
淑徳 大学 大学院	学生数 (R5.05.01)	24	28	2	0	2	56
	有効回答数 (データクリーニング後)	2	4	2	0	0	8
	有効回答率	8.3%	14.3%	100%	-	0%	14.3%

表 1-3-1 保護者対象調査（調査票③）の有効回答数、有効回答率

【幼稚園児保護者】

学校名		年少	年中	年長	合計
淑徳幼稚園	園児数 (R5.05.01)	29	38	41	108
	有効回答数 (データクリーニング後)	8	12	14	34
	有効回答率 (回答世帯数/園児数)	27.6%	31.6%	34.1%	31.5%
淑徳与野幼稚園	園児数 (R5.05.01)	75	75	92	242
	有効回答数 (データクリーニング後)	34	24	28	86
	有効回答率	45.3%	32.0%	30.4%	35.5%
幼稚園合計	生徒数 (R5.05.01)	437	441	396	1,274
	有効回答数 (データクリーニング後)	42	36	42	120
	有効回答率	9.6%	8.2%	10.6%	9.4%

【小学生保護者】

学校名		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
淑徳小学校	児童数 (R5.05.01)	111	106	113	113	112	120	675
	有効回答数 (データクリーニング後)	83	71	69	76	64	89	452
	両親とも回答した世帯	2	1	2	3	0	1	9
	有効回答率 (回答世帯数/生徒数)	73.0%	66.0%	59.3%	64.6%	57.1%	73.3%	65.6%

【中学生保護者】

学校名		1年生	2年生	3年生	合計
淑徳中学校	生徒数 (R5.05.01)	188	197	155	540
	有効回答数 (データクリーニング後)	34	28	17	79
	両親とも回答した世帯	0	0	0	0
	有効回答率 (回答世帯数/生徒数)	18.1%	14.2%	11.0%	14.6%
淑徳巣鴨中学校	生徒数 (R5.05.01)	123	118	116	357
	有効回答数 (データクリーニング後)	48	37	29	114
	両親とも回答した世帯	0	0	1	1
	有効回答率 (回答世帯数/生徒数)	39.0%	31.4%	24.1%	31.7%
淑徳与野中学校	生徒数 (R5.05.01)	126	126	125	377
	有効回答数 (データクリーニング後)	48	30	42	120
	両親とも回答した世帯	0	0	0	0
	有効回答率 (回答世帯数/生徒数)	38.1%	23.8%	33.6%	31.8%
全中学校合計	生徒数 (R5.05.01)	437	441	396	1274
	有効回答数 (データクリーニング後)	130	95	88	313
	両親とも回答した世帯	0	0	1	1
	有効回答率 (回答世帯数/生徒数)	29.7%	21.5%	22.0%	24.5%

表 1-3-2 保護者対象調査（調査票③）の有効回答数、有効回答率（続き）

【高校生保護者】

学校名		1年生	2年生	3年生	合計
淑徳 高校	生徒数（R5.05.01）	388	419	383	1,190
	有効回答数（データクリーニング後）	38	60	43	141
	両親とも回答した世帯	0	1	0	1
	有効回答率（回答世帯数/生徒数）	9.8%	14.1%	11.2%	11.8%
淑徳巣鴨 高校	生徒数（R5.05.01）	379	495	420	1,294
	有効回答数（データクリーニング後）	132	147	100	379
	両親とも回答した世帯	1	2	0	3
	有効回答率（回答世帯数/生徒数）	34.6%	29.3%	23.8%	29.1%
淑徳与野 高校	生徒数（R5.05.01）	333	365	363	1,061
	有効回答数（データクリーニング後）	124	103	81	308
	両親とも回答した世帯	1	0	0	1
	有効回答率（回答世帯数/生徒数）	36.9%	28.2%	22.3%	28.9%
全高校 合計	生徒数（R5.05.01）	1,100	1,279	1,166	3,545
	有効回答数（データクリーニング後）	294	310	224	828
	両親とも回答した世帯	2	3	0	5
	有効回答率（回答世帯数/生徒数）	26.5%	24.0%	19.2%	23.2%

(3) 調査項目の設計について

調査項目は淑徳大学人文学部人間科学科に所属する教員を中心とした学内コア委員と学外委員が調査項目の設計を行った。項目設計における参考文献は巻末に示す。調査項目は、先行研究を参考にコロナ禍への意識を測定する質問項目およびコロナ禍への意識に関連が予想される質問項目によって構成されている。コロナ禍への意識の関連項目は、本調査プロジェクトの学内コア委員（人間科学科）の専門分野に基づき、健康・心理・福祉・教育の4領域に分類された。

0) フェイスシート（所属学校・学年・年齢・性別等）

1) コロナ禍への意識

質問例 「コロナ禍（2020年4月7日から2023年5月7日まで）のことについてお聞きします。自分自身がいま感じていることとして、以下の項目はどの程度あてはまるか教えてください。」
（5件法）

2) 健康

身体的健康（健康）
精神的健康（公衆衛生）

3) 心理

メンタルヘルス（臨床心理）
孤独感
自己肯定感
行動基準

4) 福祉

ソーシャル・サポート

5) 教育

非認知能力
生活習慣（テレビ等を見る時間）
文化資本
子どもの安全（犯罪）

(4) データクリーニング

「小学生調査」「中学生・高校生・大学生・大学院生調査」「保護者調査」それぞれについて、「学校名」「学年」「クラス/学科」「出席番号/学籍番号」は正しく回答されているという前提のもと、主に以下のデータクリーニングを行った。

【小学生調査】

回収票 350 票に対して以下のデータクリーニングを行い、有効回答 326 票を得た。

- ① 「この調査に参加しません（同意しません）」と回答した 12 票を除外。
- ② 調査に同意した 338 票のうち、淑徳小学校以外と回答した 3 票、1 年生と回答した 1 票を除外。
- ③ 334 票のうち、学年・クラス・出席番号が重複する回答が 15 票（3 票が重複しているものもあった）あったため、回答終了時刻が新しいものを採用することとし、回答終了時刻の古い 8 票を除外。

【中学生・高校生・大学生・大学院生調査】

回収票 3,957 票に対して以下のデータクリーニングを行い、有効回答 3,372 票を得た。

- ① 「この調査に参加しません（同意しません）」と回答した 448 票を除外。
- ② 調査に同意した 3,509 票のうち、存在しないクラスを回答した 24 票を除外。
- ③ 3,485 票のうち、以下の通り、年齢（自由記述回答）が各学校種別に該当しないと判断された 55 票を除外。
 - ・ 中学生と回答していながら、年齢が 11 歳以下または 16 歳以上
 - ・ 高校生と回答していながら、年齢が 14 歳以下または 19 歳以上
 - ・ 大学生・大学院生と回答していながら、年齢が 17 歳以下
- ④ 3,430 票のうち、「学校名」「学年」「クラス/学科」「出席番号/学籍番号」が重複する回答が 116 票あったため（②および③で除外した票も含めると重複回答は 128 票）、回答終了時刻の古い 58 票を除外。

有効回答 3,372 票に対し、さらに以下のデータクリーニングを行った。

- ・ 大学院生と回答していながら、学部の学科を選択している 2 票について学科を置き換え
- ・ 淑徳与野高等学校と回答していながら、性別を「男子」と回答している 1 票について、性別を「その他」に置き換え

【保護者調査】

回収票 1,908 票に対して以下のデータクリーニングを行い、有効回答 1,713 票を得た。

- ① 「この調査に参加しません（同意しません）」と回答した 120 票を除外。
- ② 調査に同意した 1,788 票のうち、存在しないクラスを回答した 1 票を除外。
- ③ 1,787 票の中で、子どもの学校・学年・クラス・出席番号が重複する 177 票の回答のうち、父親と母親がそれぞれ回答していると考えられる 15 組・30 票はそのまま残す判断をした後、以下の重複票を除外。

- 年齢（自由記述回答）が、保護者相当と考えられる年齢から逸脱（18歳以下と回答）していると判断できる18票を除外。
- 上記除外の後、さらに回答終了時刻の古いもの56票を除外。

有効回答1,713票に対し、さらに以下のデータクリーニングを行った。

- 年齢（自由記述回答）が、保護者相当と考えられる年齢から逸脱している243票について、「年齢」の回答を削除（無回答化）。
- 「母親」と回答していながら、同居人に「妻」が選択されている10票について、同居人を「夫」に修正。
- 「父親」と回答していながら、同居人に「夫」が選択されている3票について、同居人を「妻」に修正。

1-2. 回答者の個人属性

(1) 小学生

小学生の回答者 326 人の個人属性を表 1-4、図 1-1 に示す。学年比、男女比はほぼ均等である。同居家族は母親・父親はほぼ 100%、同居の兄弟がいない人は 33.6%（110 人）であった。

住所は東京都が大半であり、23 区内が 78.2%（255 人）、23 区外の市町村が 1.8%（6 人）、埼玉県が 19.9%（65 人）である。

スマートフォンやタブレットなどの ICT 機器は 78.8%（4 年生 75.9%、5 年生 76.0%、6 年生 83.9%）が所持、自転車は 88.8%（4 年生 90.7%、5 年生 88.0%、6 年生 85.6%）が所持している。

表 1-4 小学生の学年・性別（人）

学校名	性別	学年			合 計	
		4 年生	5 年生	6 年生		
淑徳 小学校	男子	50	52	67	169	51.8%
	女子	57	46	51	154	47.2%
	他・答えたくない	1	2	0	3	0.9%
	合 計	108	100	118	326	—
		33.1%	30.7%	36.2%	100%	—

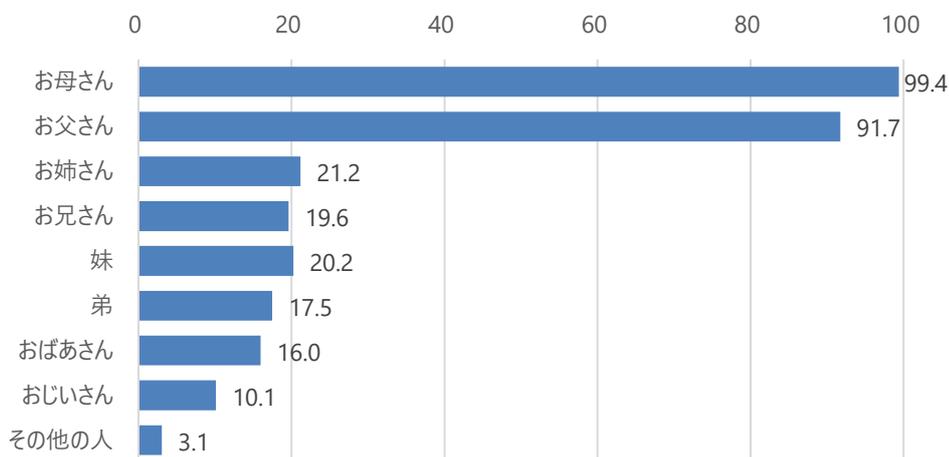


図 1-1 小学生の同居家族（%）

※ 複数回答可の設問の回答割合

(2) 中学生

全3校の中学生の回答者643人の個人属性を表1-5および表1-6に示す。

学年・性別の割合は、3校各々で異なる。学年は、淑徳中では2年生が過半数で1年生が5%、淑徳巣鴨中は各学年ほぼ均等、淑徳与野中は高学年ほど回答者が多い。性別はどの学校も女子が多く、淑徳中と淑徳巣鴨中では女子が6割弱、淑徳与野中では94.8%である。3校合計では、回答者は学年では高学年ほど多く、性別は男子29.2%、女子66.3%となった。

住所は、どの学校も東京都23区内と埼玉県が多い。3校合計では、東京都23区内が57.5%、埼玉県が35.5%である。スマートフォンの所持率は3校合計で96.7%、自転車は85.2%である。

表1-5 中学生の学年・性別（人）

学校名	学年		1年生	2年生	3年生	合計	
	性別						
淑徳 中学校	男子		4	45	38	87	36.0%
	女子		5	70	66	141	58.3%
	他・答えたくない		3	9	2	14	5.8%
	小計		12	124	106	242	—
			5.0%	51.2%	43.8%	100%	—
淑徳巣鴨 中学校	男子		33	31	37	101	37.8%
	女子		55	52	51	158	59.2%
	他・答えたくない		2	5	1	8	3.0%
	小計		90	88	89	267	—
			33.7%	33.0%	33.0%	100%	—
淑徳与野 中学校	男子		0	0	0	0	0.0%
	女子		47	28	52	127	94.8%
	他・答えたくない		0	5	2	7	5.2%
	小計		47	33	54	134	—
			35.1%	24.6%	40.3%	100%	—
全中学校 (合計)	男子		37	76	75	188	29.2%
	女子		107	150	169	426	66.3%
	他・答えたくない		5	19	5	29	4.5%
	合計		149	245	249	643	—
			23.2%	38.1%	38.7%	100%	—

表1-6 中学生の住所（人）

住所	淑徳中学校		淑徳巣鴨中学校		淑徳与野中学校		全校合計
学校							
東京都（23区内）	130	53.7%	203	76.0%	37	27.6%	57.5%
東京都（23区以外）	4	1.7%	6	2.2%	7	5.2%	2.6%
埼玉県	105	43.4%	37	13.9%	86	64.2%	35.5%
千葉県	0	0.0%	10	3.7%	3	2.2%	2.0%
神奈川県	2	0.8%	10	3.7%	0	0.0%	1.9%
その他	1	0.4%	1	0.4%	1	0.7%	0.5%

(3) 高校生

全3校の高校生の回答者2,003人の個人属性を表1-7および表1-8に示す。

学年・性別の割合は、3校各々で異なる。学年は、淑徳高校では2年生が約半数で1年生が少なく、淑徳巣鴨高校と淑徳与野高校では1・2年生に比べ3年生が若干少ない。性別はどの学校も女子が多い。3校合計では、学年は1年生17.2%、2年生23.5%、3年生18.7%、性別は男子29.4%、女子67.4%となった。

住所は、どの学校も東京都23区内と埼玉県が多い。3校合計では、東京都23区内が54.7%、埼玉県が39.8%である。スマートフォンの所持率は3校合計で99.2%、自転車は87.1%である。

表1-7 高校生の学年・性別（人）

学校名	学年		1年生	2年生	3年生	合計	
	性別						
淑徳高校	男子		37	127	99	263	45.3%
	女子		53	132	103	288	49.6%
	他・答えたくない		2	17	9	30	5.2%
	小計		92	276	213	581	—
			15.8%	47.5%	36.7%	100%	—
淑徳巣鴨高校	男子		128	123	73	324	37.7%
	女子		177	204	131	512	59.6%
	他・答えたくない		7	13	3	23	2.7%
	小計		312	340	207	859	—
			36.3%	39.6%	24.1%	100%	—
淑徳与野高校	男子		0	0	0	0	0%
	女子		175	170	205	550	97.7%
	他・答えたくない		2	5	6	13	2.3%
	小計		312	340	207	563	—
			36.3%	39.6%	24.1%	100%	—
全高校 (合計)	男子		165	251	172	588	29.4%
	女子		405	506	439	1350	67.4%
	他・答えたくない		11	34	20	65	3.2%
	合計		581	791	631	2003	—
			17.2%	23.5%	18.7%	100%	—

表1-8 高校生の住所（人）

住所	淑徳高校		淑徳巣鴨高校		淑徳与野高校		全校合計
学校							
東京都（23区内）	374	64.4%	674	78.5%	47	8.3%	54.7%
東京都（23区以外）	17	2.9%	27	3.1%	13	2.3%	2.8%
埼玉県	180	31.0%	131	15.3%	487	86.5%	39.8%
千葉県	4	0.7%	14	1.6%	6	1.1%	1.2%
神奈川県	2	0.3%	9	1.0%	0	0.0%	0.5%
その他	4	0.7%	4	0.7%	10	1.8%	0.9%

(4) 大学生・院生

大学生・大学院生の回答者 726 人の個人属性を表 1-9 および表 1-10 に示す。

大学院生は 8 人と非常に少なく、大半が大学生である。大学生はどの学年でも女子が多く、大学生・院生全体で女子は 67.1%である。

大学生の所属学科は、こども教育学科がもっとも多く 43.1%、次いで社会福祉学科 (12.0%)、教育福祉学科 (7.4%)、実践心理学科 (6.7%)、人間科学科 (6.3%)、観光経営学科 (6.1%)、コミュニティ政策学科 (5.4%) と続く。院生 8 人は全員、総合福祉研究科である。

暮らし方は、大学生・院生全体で実家暮らしが 76.4%、一人暮らしが 17.5%であり、共同暮らし (兄弟、親族、友人等)、学生寮暮らし等は各々 5%未満である。学年ごとの差は小さい。

住所は、大学生・院生全体で埼玉県が 39.1%、千葉県が 39.0%、東京都 23 区内が 16.0%である。出身地は、千葉県が 32.5%と最多、次いで埼玉県 26.7%、東京都 14.5%である。茨城県、新潟県、福島県、神奈川県、栃木県等の出身者もいるが、いずれも 5%未満である。

表 1-9 大学生・院生の個人属性 (人)

性別	学校 学年	淑徳大学				淑徳大学大学院			合計	
		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年		
男子		96	40	52	30	0	3	0	221	30.4%
女子		181	99	102	101	2	1	1	487	67.1%
他・答えたくない		4	5	2	6	0	0	1	18	2.5%
小計		281	144	156	137	2	4	2	726	—
		38.7%	19.8%	21.5%	18.9%	0.3%	0.6%	0.3%	100%	—

表 1-10 大学生の所属学科 (人、%)

	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		合計	
社会福祉学科	25	8.9%	10	6.9%	25	16.0%	27	19.7%	87	12.0%
教育福祉学科	21	7.5%	15	10.4%	10	6.4%	8	5.8%	54	7.4%
実践心理学科	16	5.7%	10	6.9%	9	5.8%	14	10.2%	49	6.7%
コミュニティ政策学科	20	7.1%	0	—	18	11.5%	1	0.7%	39	5.4%
看護学科	7	2.5%	1	0.7%	1	0.6%	3	2.2%	12	1.7%
栄養学科	3	1.1%	4	2.8%	6	3.8%	10	7.3%	23	3.2%
こども教育学科	103	36.7%	80	55.6%	73	46.8%	57	41.6%	313	43.1%
地域創生学科	2	0.7%	0	—	0	—	0	—	2	0.3%
経営学科	3	1.1%	7	4.9%	1	0.6%	0	—	11	1.5%
観光経営学科	29	10.3%	9	6.3%	5	3.2%	1	0.7%	44	6.1%
表現学科	3	1.1%	5	3.5%	6	3.8%	13	9.5%	27	3.7%
歴史学科	3	1.1%	3	2.1%	2	1.3%	3	2.2%	11	1.5%
人間科学科	46	16.4%	0	—	0	—	0	—	46	6.3%

(5) 幼稚園保護者

幼稚園保護者の回答者 120 人の個人属性を表 1-11 および表 1-12 に示す。回答者は母親が大半であり 114 人 (95.0%)、父親は 6 人 (5.0%) であった。

子どもの学齢 (年少・年中・年長) はほぼ均等である。子どもの人数は 2 人が最多で 62.5%、次いで 1 人 (25.8%)、3 人 (10.8%) の順である。子ども以外の同居家族 (複数回答可) は、「きょうだい」が 36.7%、祖父 4.2%、祖母 (義理の母) 4.2%、祖父 (義理の父) 3.3%、祖母 3.3%であり、「同居人はいない (親子のみ家庭)」は 0.8%であった。

住所は、淑徳幼稚園は 94.1%が東京都 23 区内、淑徳与野幼稚園は 100%が埼玉県である。住居形態は、一戸建てが 49.2% (淑徳幼稚園 44.1%、淑徳与野幼稚園 51.2%)、集合住宅が 50.8%である。

表 1-11 幼稚園保護者の子どもの学齢別回答者数 (人)

学校 \ 学年	年少		年中		年長		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
淑徳幼稚園	8	23.5%	12	35.3%	14	41.2%	34
淑徳与野幼稚園	34	39.5%	24	27.9%	28	32.6%	86
合計	42	35.0%	36	30.0%	42	35.0%	120

表 1-12 幼稚園保護者の子どもの人数 (人)

学校	1 人		2 人		3 人		4 人		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
淑徳幼稚園	12	35.3%	19	55.9%	3	8.8%	0	—	34
淑徳与野幼稚園	19	22.1%	56	65.1%	10	11.6%	1	1.2%	86
合計	31	25.8%	75	62.5%	13	10.8%	1	0.83%	120

(6) 小学生保護者

小学生保護者の回答者 452 人（小学生も回答している 4～6 年生の保護者は 229 人）の個人属性を表 1-13 および表 1-14 に示す。回答者は母親が大半であり 382 人（84.5%）、父親は 69 人（15.3%）、その他は 1 人であった。このうち、両親とも回答しているのは 9 家庭である。

子どもの学年はほぼ均等である。子どもの人数は 2 人が最多で 48.9%、次いで 1 人（38.3%）、3 人（11.7%）の順である。子ども以外の同居家族（複数回答可）は、「きょうだい」が 28.3%、祖母 4.9%、祖父 3.3%、祖母（義理の母） 3.1%、祖父（義理の父） 2.2%であり、「同居人はいない（親子のみ家庭）」は 3.5%であった。

住所は、東京都 23 区内が 80.1%、埼玉県が 19.0%、東京都 23 区外が 0.9%であり、その他はいない。住居形態は、一戸建てが 54.9%、集合住宅が 44.5%、その他が 0.7%である。

表 1-13 小学生保護者の子どもの学年別回答者数（人）

学校名	学年 続柄	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合 計	
		淑徳 小学校	母親	69	60	56	62	56	79
父親	13		11	13	14	8	10	69	15.3%
その他	1		0	0	0	0	0	1	0.2%
合 計	83		71	69	76	64	89	452	—
		18.4%	15.7%	15.3%	16.8%	14.2%	19.7%	100%	—

表 1-14 小学生保護者の住所（人）

住所	学校 淑徳小学校	
東京都（23 区内）	362	80.1%
東京都（23 区以外）	4	0.9%
埼玉県	86	19.0%
その他	0	0.0%

(7) 中学生保護者

中学生保護者の回答者 313 人の個人属性を表 1-15 および表 1-16 に示す。回答者は母親が大半であり 277 人 (88.5%)、父親は 36 人 (11.5%)、その他は 0 人であった。このうち、両親とも回答しているのは 1 家庭である。

子どもの学年は 1 年生がもっとも多く (41.5%)、2 年生 (30.4%)、3 年生 (28.1%) と続く。子どもの人数は 2 人が最多で 57.5%、次いで 1 人 (26.2%)、3 人 (14.1%) の順である。子ども以外の同居家族 (複数回答可) は、3 校合計で、「きょうだい」が 33.2%、祖母 5.1%、祖母 (義理の母) 3.2%、祖父 2.6%、祖父 (義理の父) 1.9% であり、「同居人はいない (親子のみ家庭)」は 3.8% であった。

住所は、どの学校も東京都 23 区内と埼玉県が多い。3 校合計では、東京都 23 区内が 51.4%、埼玉県が 40.6% であり、中学生の回答と類似している。住居形態は、一戸建てが 53.7% (淑徳中 55.7%、淑徳巣鴨中 52.6%、淑徳与野中 53.3%)、集合住宅が 46.0%、その他が 0.3% である。

表 1-15 中学生保護者の子どもの学年別回答者数 (人)

学校名	続柄	学年			合 計	
		1 年生	2 年生	3 年生		
淑徳 中学校	母親	27	25	15	67	84.8%
	父親	7	3	2	12	15.2%
	小 計	34	28	17	79	—
		43.0%	35.4%	21.5%	100%	—
淑徳巣鴨 中学校	母親	43	33	23	99	86.8%
	父親	5	4	6	15	13.2%
	小 計	48	37	29	114	—
		42.1%	32.5%	25.4%	100%	—
淑徳与野 中学校	母親	43	28	40	111	92.5%
	父親	5	2	2	9	7.5%
	小 計	48	30	42	120	—
		40.0%	25.0%	35.0%	100%	—
全中学校 (合計)	母親	113	86	78	277	88.5%
	父親	17	9	10	36	11.5%
	合 計	130	95	88	313	—
		41.5%	30.4%	28.1%	100%	—

表 1-16 中学生保護者の住所 (人)

住所	淑徳中学校		淑徳巣鴨中学校		淑徳与野中学校		全校合計
東京都 (23 区内)	43	54.4%	83	72.8%	35	29.2%	51.4%
東京都 (23 区以外)	0	0.0%	6	5.3%	3	2.5%	2.9%
埼玉県	34	43.0%	17	14.9%	76	63.3%	40.6%
千葉県	1	1.3%	4	3.5%	1	0.8%	1.9%
神奈川県	0	0.0%	3	2.6%	2	1.7%	1.6%
その他	1	1.3%	1	0.9%	3	2.5%	1.6%

(8) 高校生保護者

高校生保護者の回答者 828 人の個人属性を表 1-17 および 18 に示す。回答者は母親が大半であり 752 人 (90.8%)、父親は 75 人 (9.1%)、その他は 1 人であった。このうち、両親とも回答しているのは 5 家庭である。

子どもの学年は 2 年生がもっとも多く (37.4%)、1 年生 (35.5%)、3 年生 (27.1%) と続く。子どもの人数は 2 人が最多で 56.6%、次いで 1 人 (24.0%)、3 人 (17.5%) の順である。子ども以外の同居家族 (複数回答可) は、3 校合計で、「きょうだい」が 34.3%、祖母 5.3%、祖父 2.9%、祖母 (義理の母) 2.8%、祖父 (義理の父) 1.7% であり、「同居人はいない (親子のみ家庭)」は 5.8% であった。

住所は、東京都 23 区内と埼玉県が多い。3 校合計では、東京都 23 区内が 48.1%、埼玉県が 46.6% であり、高校生の回答より埼玉県の割合が若干増えている。住居形態は、一戸建てが 58.1% (淑徳高 51.1%、淑徳巣鴨高 51.5%、淑徳与野高 69.5%)、集合住宅が 40.9%、その他が 1.0% である。

表 1-17 高校生保護者の子どもの学年別回答者数 (人)

学校名	続柄	学年			合 計	
		1 年生	2 年生	3 年生		
淑徳 高校	母親	31	51	38	120	85.1%
	父親	7	9	5	21	14.9%
	小 計	38	60	43	141	—
		27.0%	42.6%	30.5%	100%	—
淑徳巣鴨 高校	母親	116	133	89	338	89.2%
	父親	16	14	11	41	10.8%
	小 計	132	147	100	379	—
		34.8%	38.8%	26.4%	100%	—
淑徳与野 高校	母親	117	99	78	294	95.5%
	父親	7	3	3	13	4.2%
	その他	0	1	0	1	0.3%
	小 計	124	103	81	308	—
40.3%		33.4%	26.3%	100%	—	
全高校 (合計)	母親	264	283	205	752	90.8%
	父親	30	26	19	75	9.1%
	その他	0	1	0	1	0.1%
	合 計	294	310	224	828	—
35.5%		37.4%	27.1%	100%	—	

表 1-18 高校生保護者の子どもの学年別回答者数 (人)

住所	淑徳高校		淑徳巣鴨高校		淑徳与野高校		全校合計
東京都 (23 区内)	76	53.9%	296	78.1%	26	8.4%	48.1%
東京都 (23 区以外)	5	3.5%	12	3.2%	3	1.0%	2.4%
埼玉県	55	39.0%	62	16.4%	269	87.3%	46.6%
千葉県	1	0.7%	4	1.1%	2	0.6%	0.8%
神奈川県	2	1.4%	4	1.1%	0	0.0%	0.7%
その他	2	1.4%	1	0.3%	8	2.6%	1.3%

2. 調査結果

2-1. コロナ禍における認識・現在の感染予防行動

(1) コロナ禍における認識

① 全体の結果

コロナ禍（2022年4月7日から2023年5月7日まで）について今感じていることを、小学生、中学生、高校生、大学生・院生、保護者に対して同様に5件法で聞いた。結果を図2-1に示す。

どの対象者層においても「とても大変だった」「我慢が多かった」は「あてはまる」側が過半数であり、また、「やる気が出づらかった」も「あてはまる」側が「あてはまらない」側を上回った。この結果からは、どの層もコロナ禍のネガティブな影響を受けているといえる。ただし、その反面、どの層においても「人とかかわることもできた」等ポジティブな項目で「あてはまる」側が過半数であること、孤独・自尊心低下に関する項目で「あてはまらない」側が「あてはまる」側を上回っていることから、人との関わりや孤独感等に関してはネガティブな影響を受けていない人の方が多いといえる。

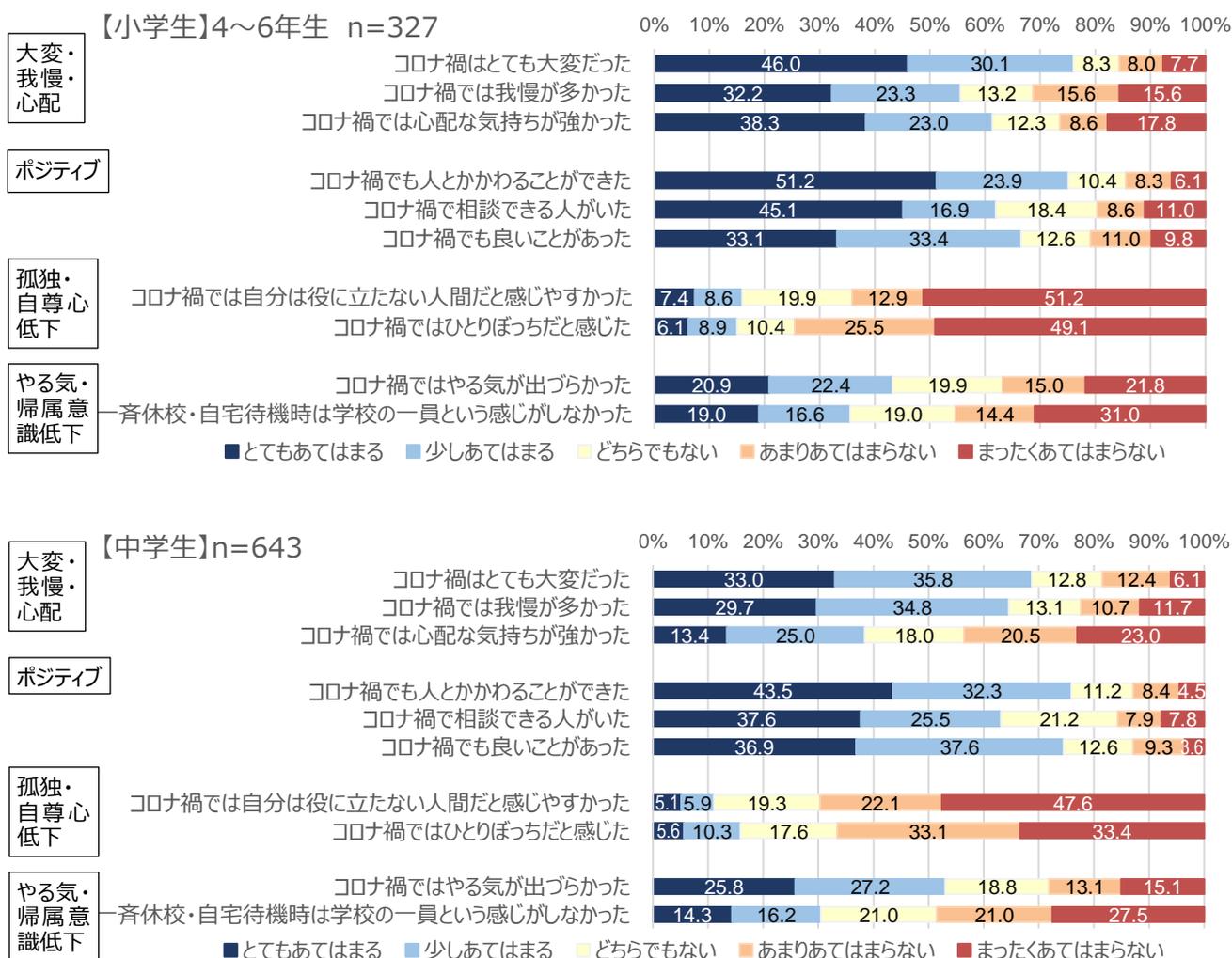


図 2-1-1 コロナ禍について今感じていること (%)【全体】

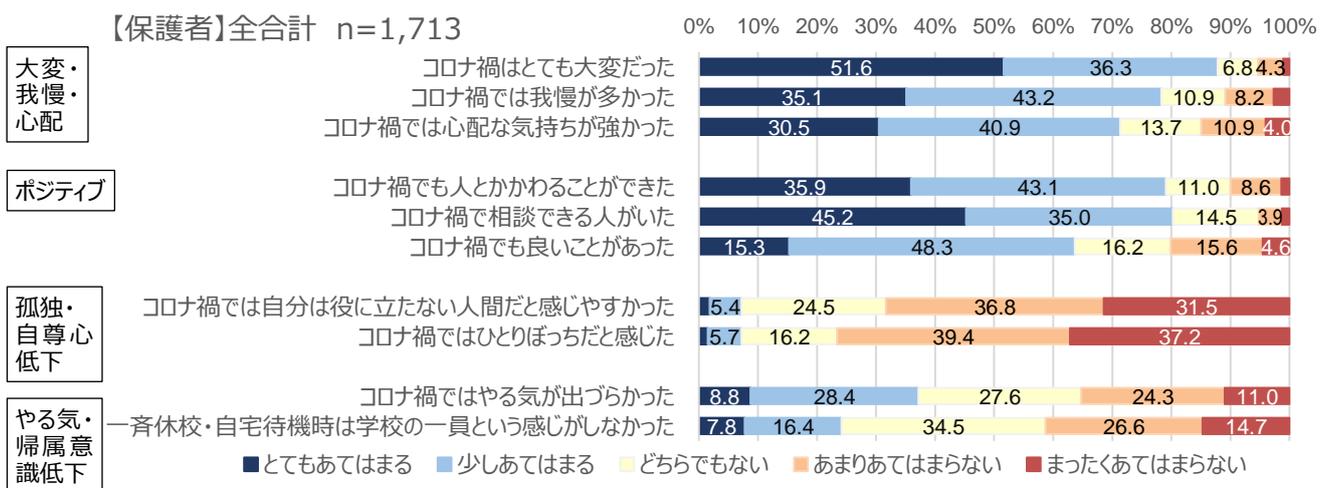
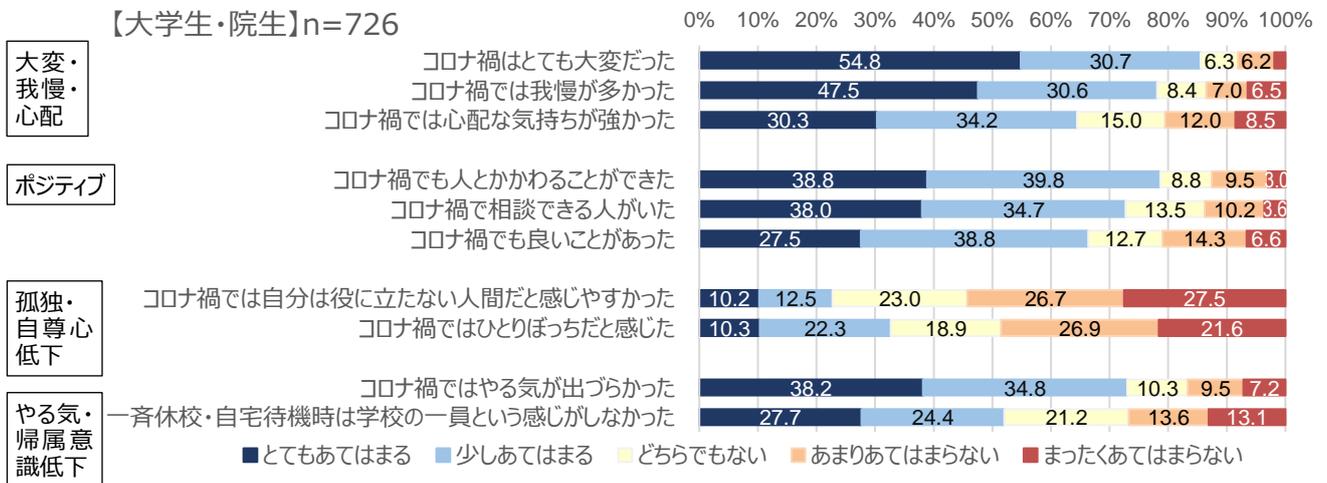
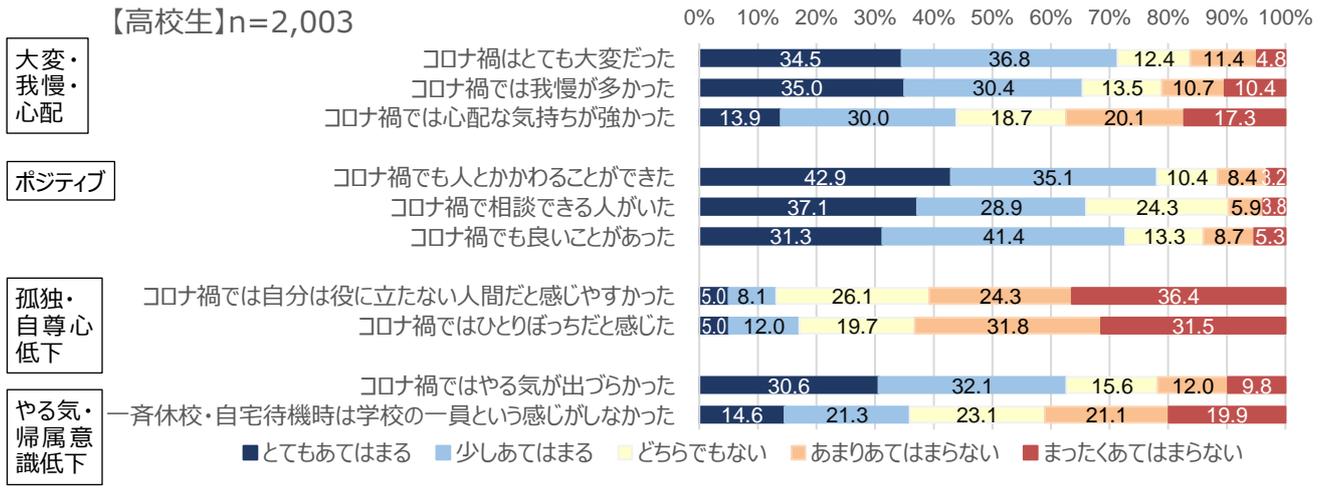


図 2-1-2 コロナ禍について今感じていること (%) 【全体】 (続き)

対象者層別の結果を比較のため、「とてもあてはまる」を5点、「まったくあてはまらない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを作成した（図2-2）。

図2-1および2-2からは、コロナ禍によってネガティブな影響をもっとも大きく受けた層は大学生・院生だといえる。大学生・院生は、とくに、孤独・自尊心低下、やる気・帰属意識低下の項目において他の対象者層よりも「あてはまる」割合が顕著に高かった。これらの項目において大学生・院生に次いで「あてはまる」割合が高いのは高校生である。対象者層別の結果が分かれた「やる気が出づらかった」では、「あてはまる」割合が高いほうから、大学生・院生、高校生、中学生、小学生、保護者の順であった。大学生・院生は、大変・我慢・心配に関する項目に関する項目においても、保護者と並んで「あてはまる」割合が高かった。

保護者の結果も特徴的である。保護者は、大学生・院生と並んで「大変だった」「我慢が多かった」「心配な気持ちが強かった」が、孤独・自尊心低下、やる気・帰属意識低下の項目においては他の対象者層よりも「あてはまる」割合が低かった。

なお、「人とかかわることもできた」等ポジティブな項目では、対象者層別に顕著な差はみられなかった。

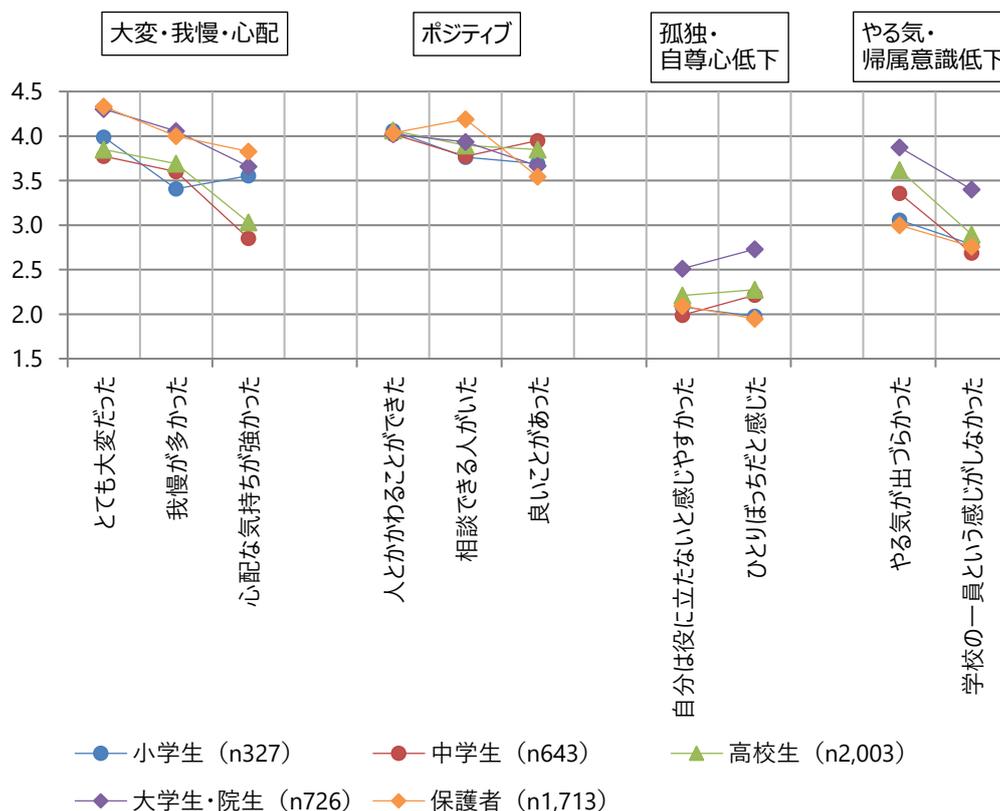


図2-2 コロナ禍について今感じていること 対象者層別平均点

② 児童・生徒と保護者の結果比較

図 2-3 および 2-4 に、小学生 4～6 年生とその保護者との結果を比較して示す。図 2-4 は「とてもあてはまる」を 5 点、「まったくあてはまらない」を 1 点として数値化した上で算出した平均点のグラフである。

「とても大変だった」「我慢が多かった」「心配な気持ちが強かった」では、保護者の方が「あてはまる」側の回答が多く、保護者の方が小学生よりもコロナ禍の大変さを実感しているといえる。しかし、一方で、「相談できる人がいた」では保護者の方が「あてはまる」側の回答割合が高く、「あてはまらない」側の回答はほとんどなかった。

「良いことがあった」「人と関わることができた」では、保護者よりも小学生の方が「あてはまる」側の回答割合が高かった。

【淑徳小学校】小学生 (n=327) / 4～6年生の保護者 (n=229)

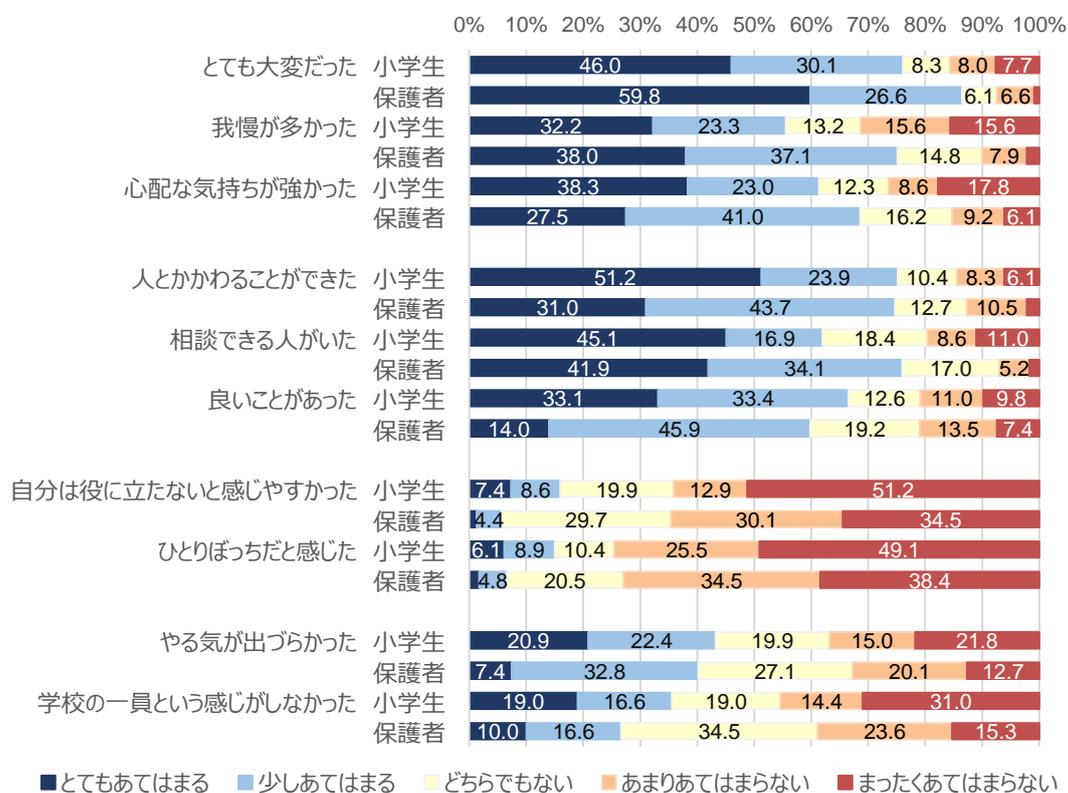


図 2-3 コロナ禍について今感じていること (%) 小学生と保護者の比較 【小学校】

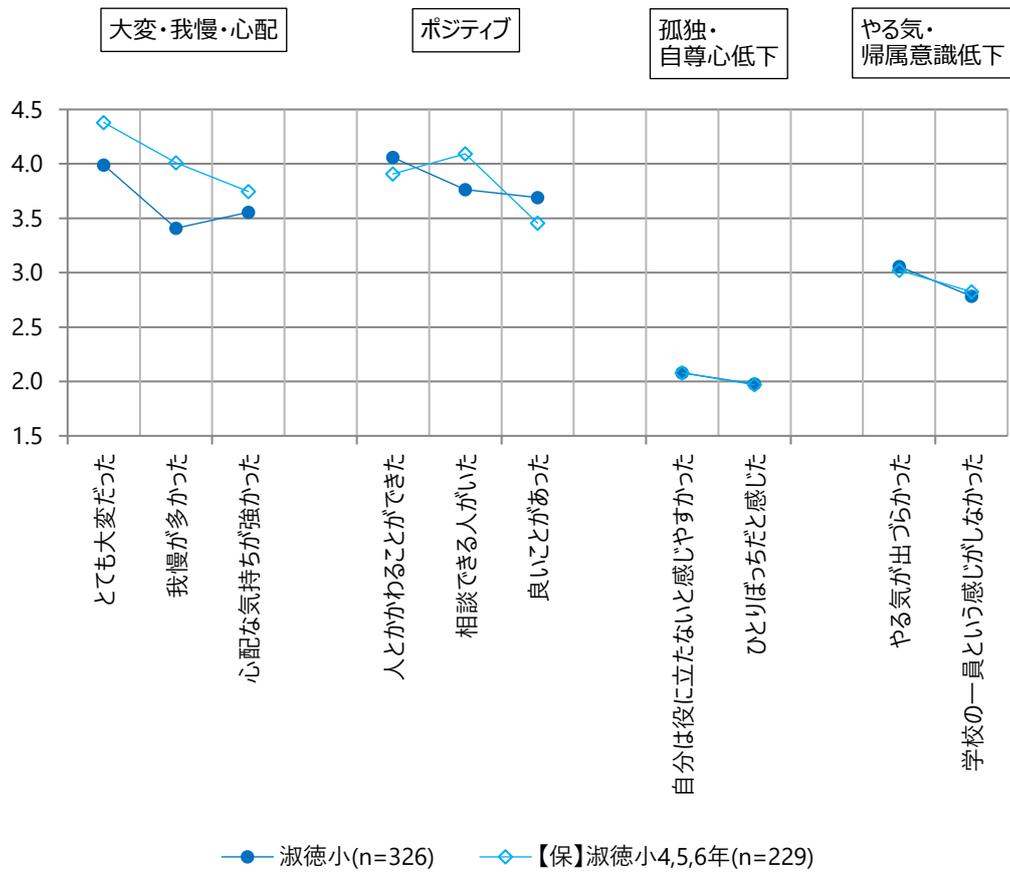


図 2-4 コロナ禍について今感じていること 小学生と保護者の平均点比較 【小学校】

図 2-5 および 2-6 に、中学生とその保護者との結果を学校別に比較して示す。図 2-6 は「とてもあてはまる」を 5 点、「まったくあてはまらない」を 1 点として数値化した上で算出した平均点のグラフである。

「とても大変だった」「我慢が多かった」「心配な気持ちが強かった」では、どの学校においても保護者の方が「あてはまる」側の回答が多く、保護者の方が中学生よりもコロナ禍の大変さを実感しているといえる。しかし、一方で、「相談できる人がいた」では保護者の方が「あてはまる」側の回答割合が高く、「あてはまらない」側の回答はどの学校においてもほとんどなかった。なお、「良いことがあった」では、どの中学校でも保護者より中学生の方が「あてはまる」側の回答割合が高かった。以上は、小学校の場合と同様の傾向である。

小学校と異なるのは、「やる気が出づらかった」「ひとりぼっちだと感じた」等で、どの学校においても、中学生の方が保護者よりも「あてはまる」側の回答が多いことである。これらの回答割合は、小学生よりも中学生の方が学校を問わず高かった。

中学生の回答で、学校別にとくに違いがあったのは「相談できる人がいた」である。もっとも肯定的な回答割合が高かったのは淑徳与野中学校、次いで淑徳巣鴨中学校、淑徳中学校であった。

【淑徳中学校】 中学生 (n=242) / 保護者 (n=79)

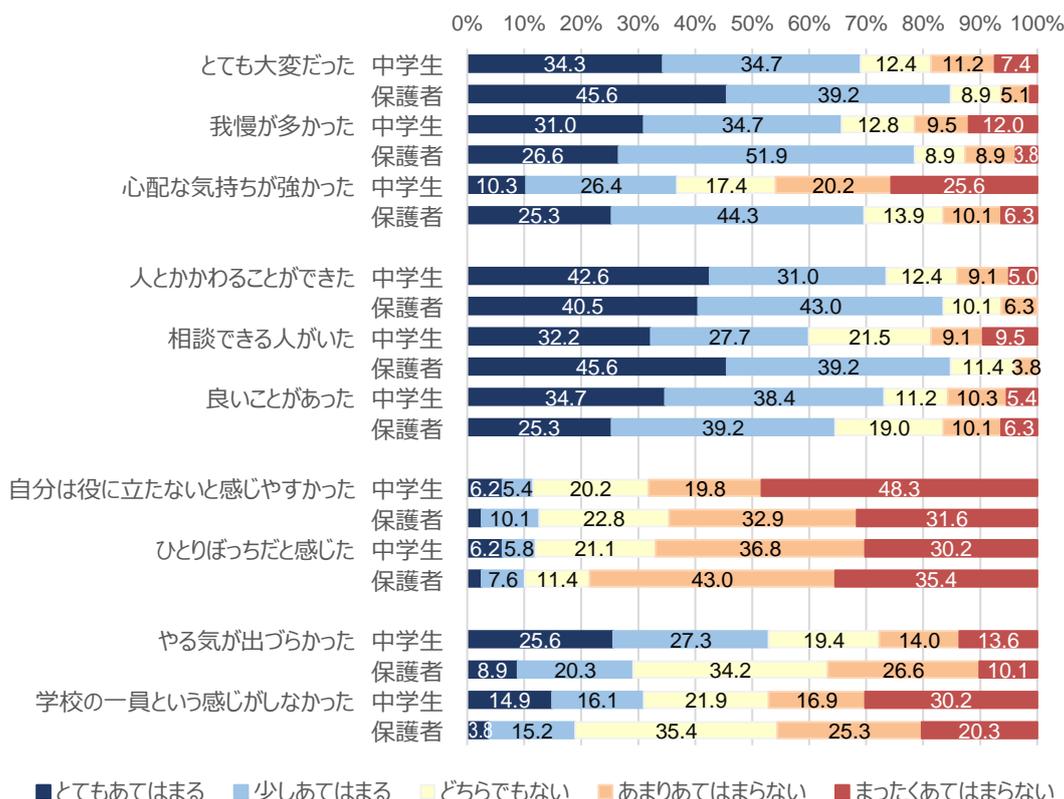
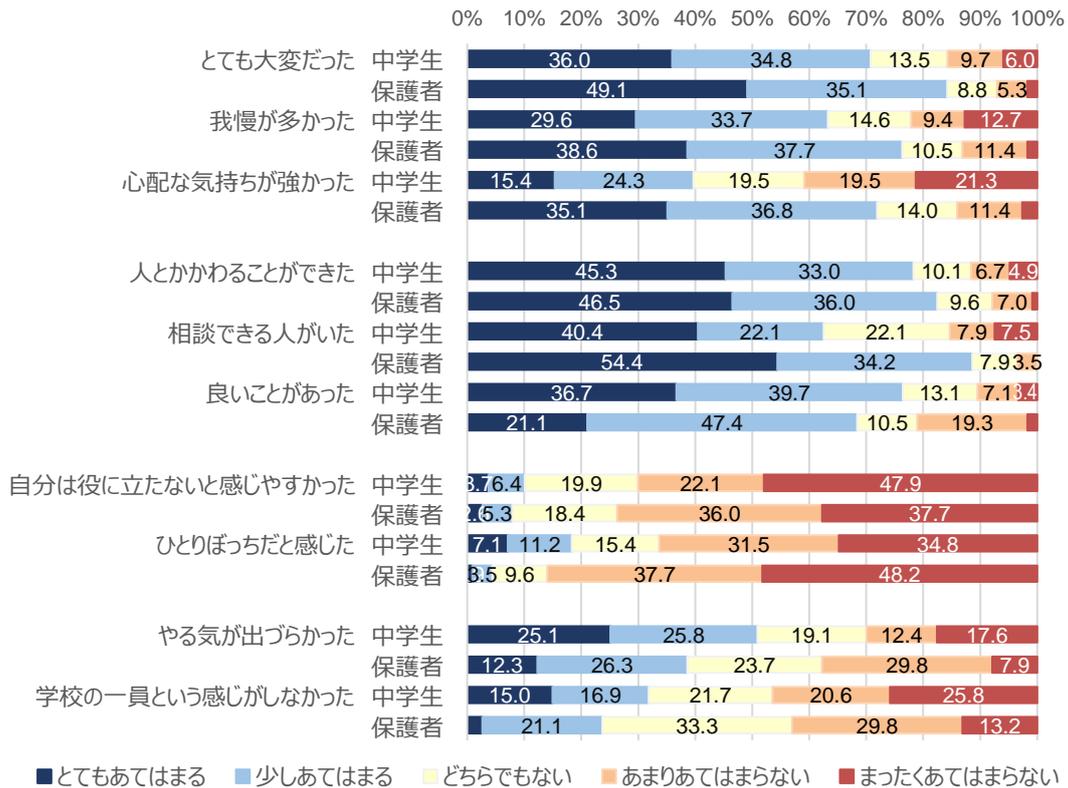


図 2-5-1 コロナ禍について今感じていること (%) 中学生と保護者の比較 【中学校：学校別】

【淑徳巣鴨中学校】 中学生 (n=267) / 保護者 (n=114)



【淑徳与野中学校】 中学生 (n=134) / 保護者 (n=120)

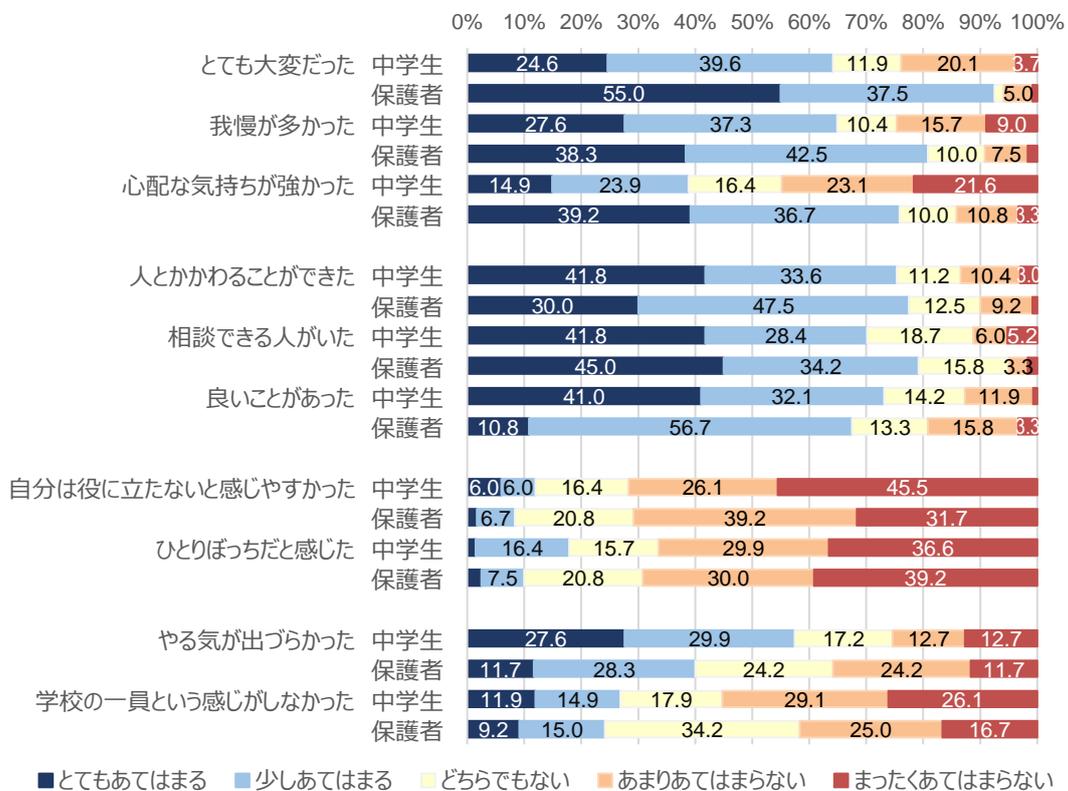


図 2-5-2 コロナ禍について今感じていること (%) 中学生と保護者の比較 【中学校：学校別】 (続き)

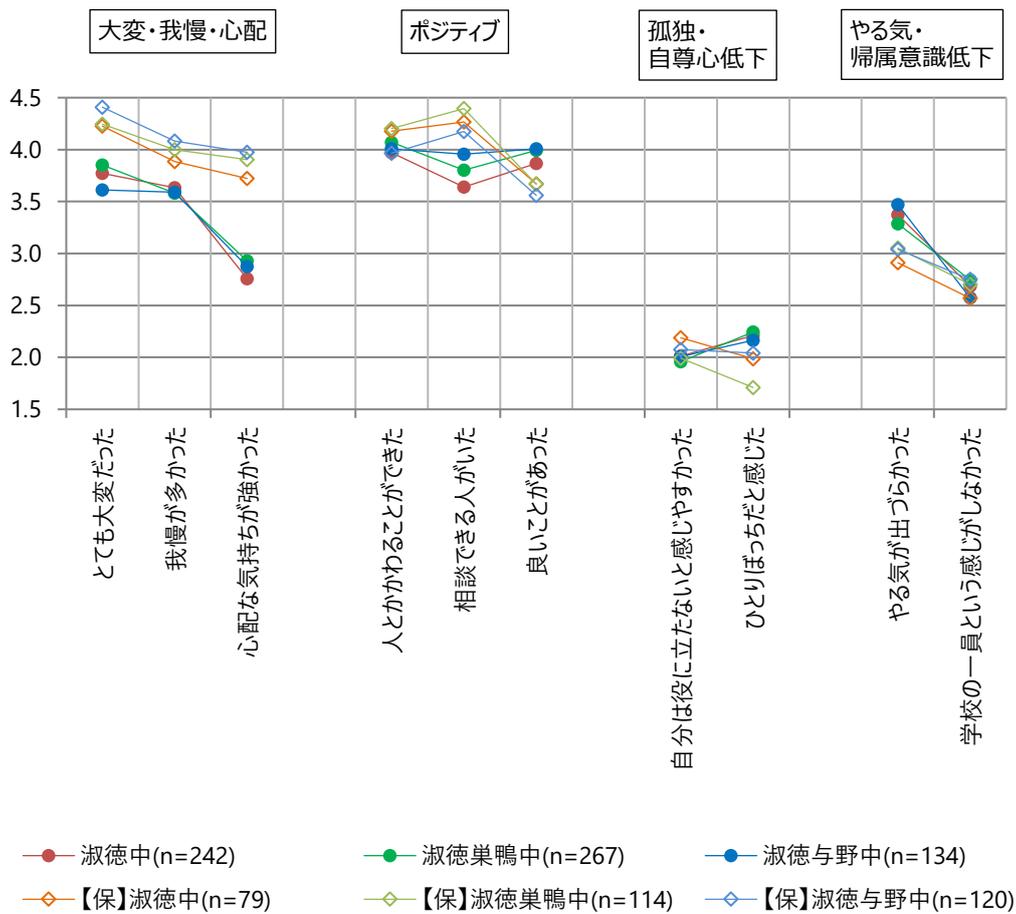


図 2-6 コロナ禍について今感じていること 中学生と保護者の平均点比較 【中学校：学校別】

図 2-7 および 2-8 に、高校生とその保護者との結果を学校別に比較して示す。図 2-8 は「とてもあてはまる」を 5 点、「まったくあてはまらない」を 1 点として数値化した上で算出した平均点のグラフである。

「とても大変だった」「我慢が多かった」「心配な気持ちが強かった」では、どの学校においても保護者の方が「あてはまる」側の回答が多く、保護者の方が高校生よりもコロナ禍の大変さを実感しているといえる。しかし、一方で、「相談できる人がいた」では保護者の方が「あてはまる」側の回答割合が高く、「あてはまらない」側の回答はどの学校においてもほとんどなかった。なお、「良いことがあった」では、どの学校でも、保護者より中高年生の方が「あてはまる」側の回答割合が高かった。以上は、小中学校の場合と同様の傾向である。

「やる気が出づらかった」「ひとりぼっちだと感じた」等では、どの学校においても、高校生の方が保護者よりも「あてはまる」側の回答が多かった。この点も中学生と同じである。「やる気が出づらかった」は、小中学生よりも高校生の方が学校を問わず高かった。

高校生の回答における学校別の違いとしては、やる気低下・帰属意識の低下、孤独・自尊心の低下（「自分は役に立たないと感じやすかった」）の各項目において、淑徳巣鴨高校の「あてはまる」側の回答割合が他校に比べ高めであった点、および、大変・我慢・心配の各項目において、淑徳高校の同回答割合が低めであった点があげられる。

【淑徳高校】 高校生 (n=581) / 保護者 (n=141)

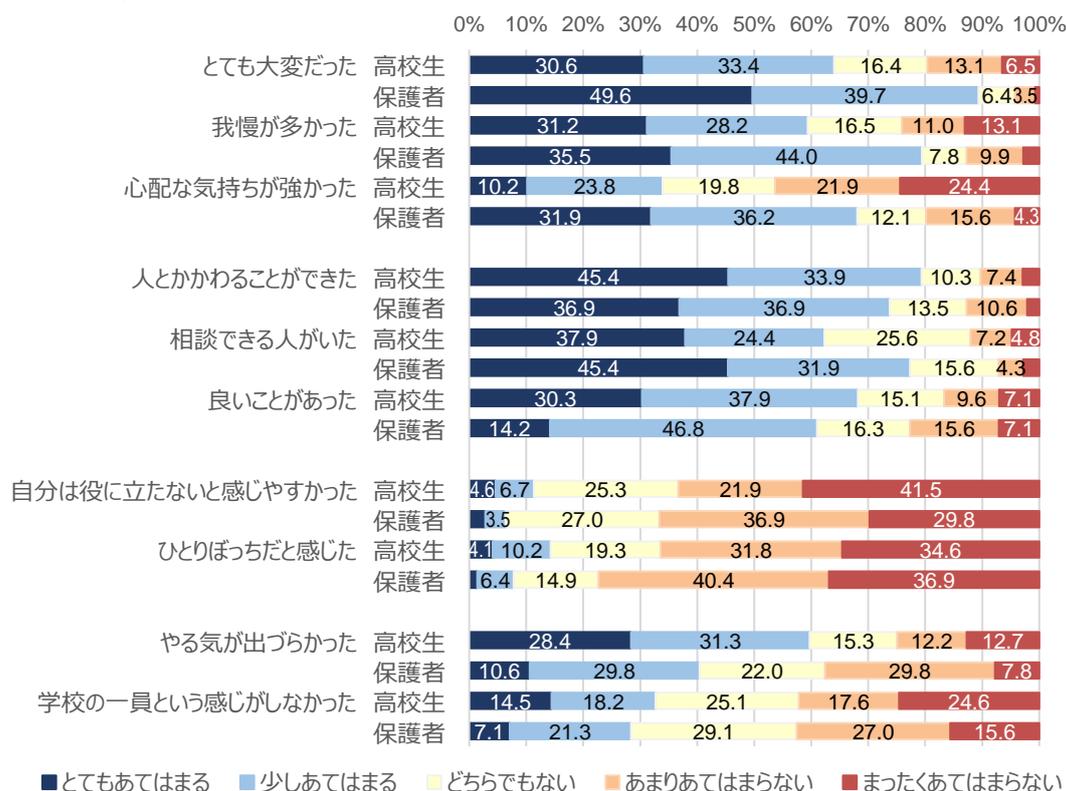
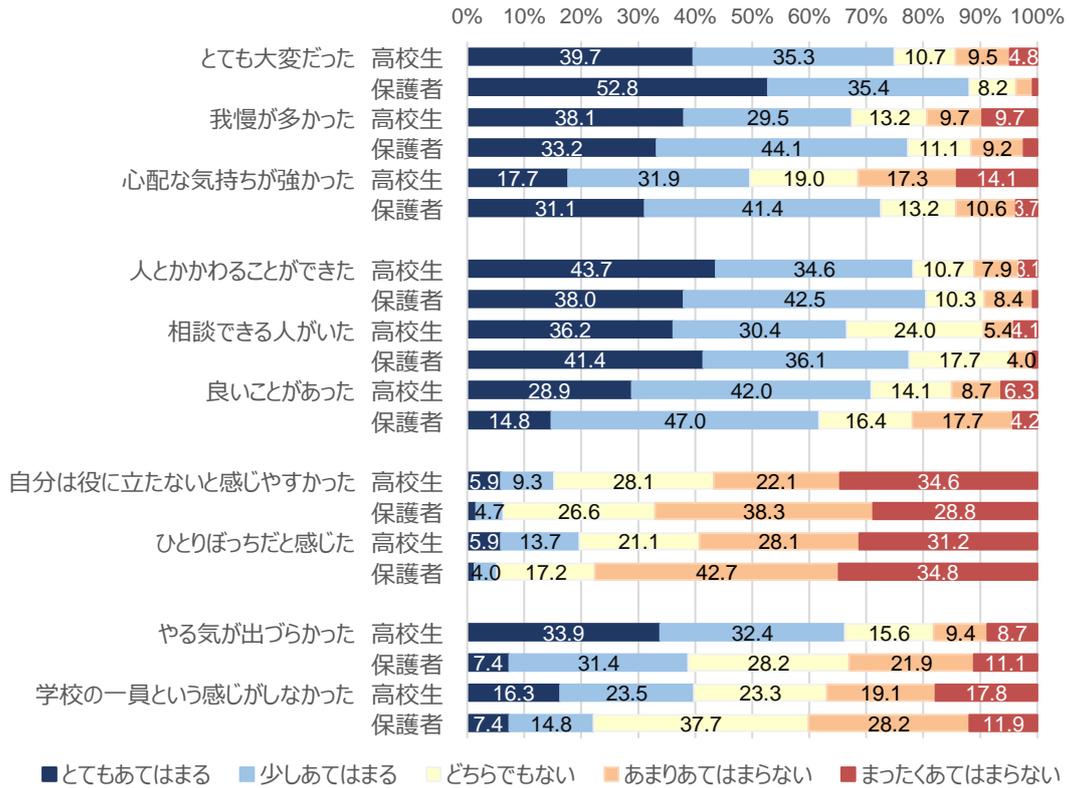


図 2-7-1 コロナ禍について今感じていること (%) 高校生と保護者の比較 【高校：学校別】

【淑徳巣鴨高校】 高校生 (n=859) / 保護者 (n=379)



【淑徳与野高校】 高校生 (n=563) / 保護者 (n=308)

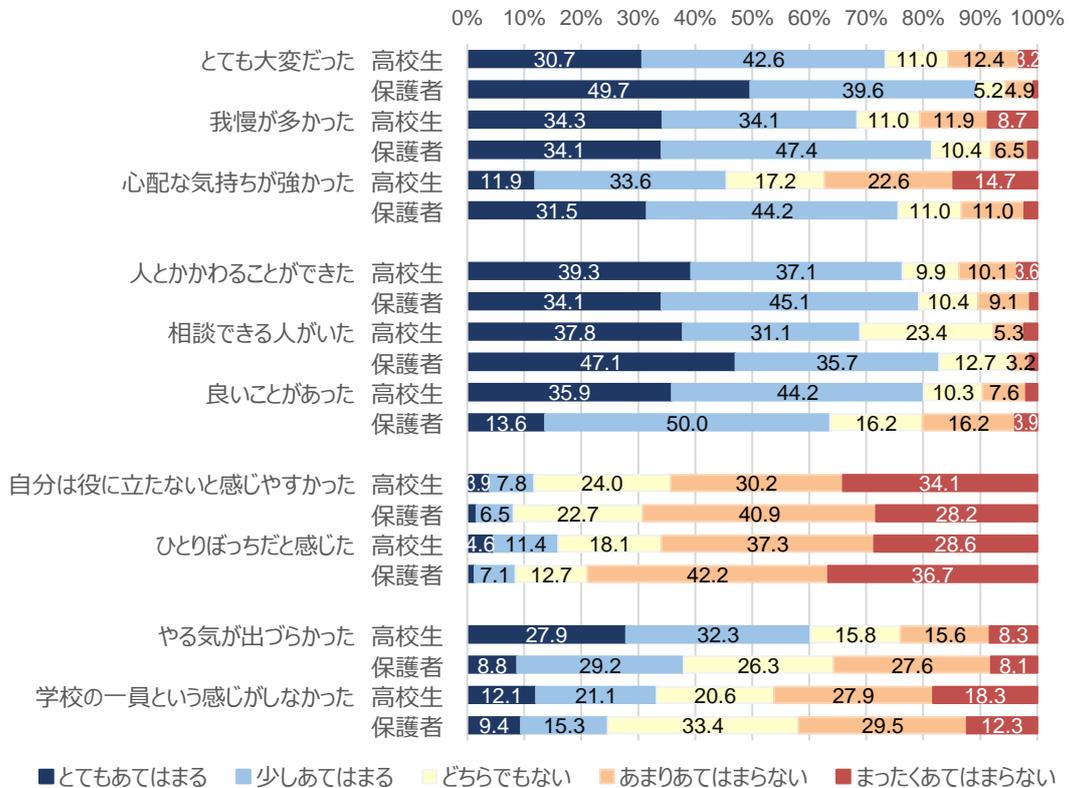


図 2-7-2 コロナ禍について今感じていること (%) 高校生と保護者の比較 【高校：学校別】(続き)

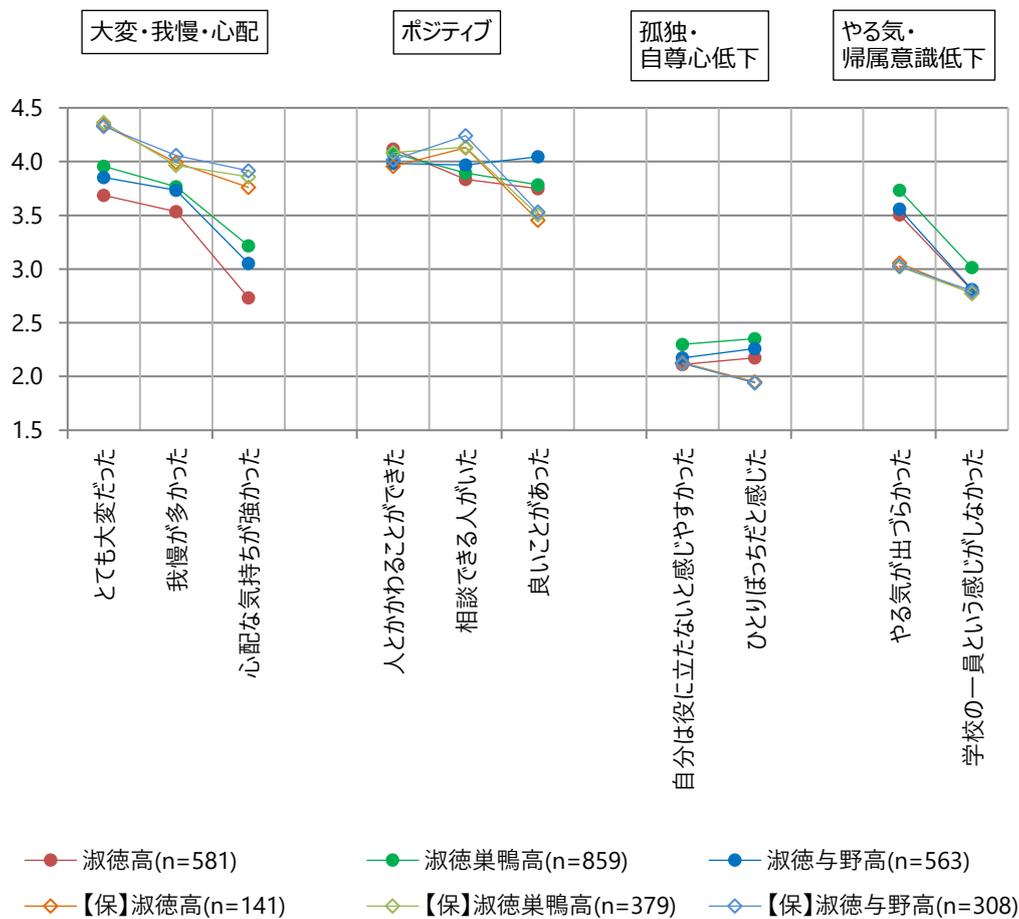


図 2-8 コロナ禍について今感じていること 高校生と保護者の平均点比較 【高校：学校別】

(2) 現在の感染予防行動

① 全体の結果

コロナ5類移行後（2023年5月8日以降）、新型コロナウイルス対策の感染予防行動をどの程度行っているかについて、小学生、中学生、高校生、大学生・院生、保護者に対して同様に5件法で聞いた。結果を図2-9に示す。

どの対象者層においても、マスク着用、消毒・換気・咳エチケットの項目に関しては「やっている」側が過半数であり、実行率は高いといえる。これに対し、人を避ける、会話発声・場所を選ぶ（換気が悪い場所には行かない）といった項目に関しては、どの層においても実行率が低い。

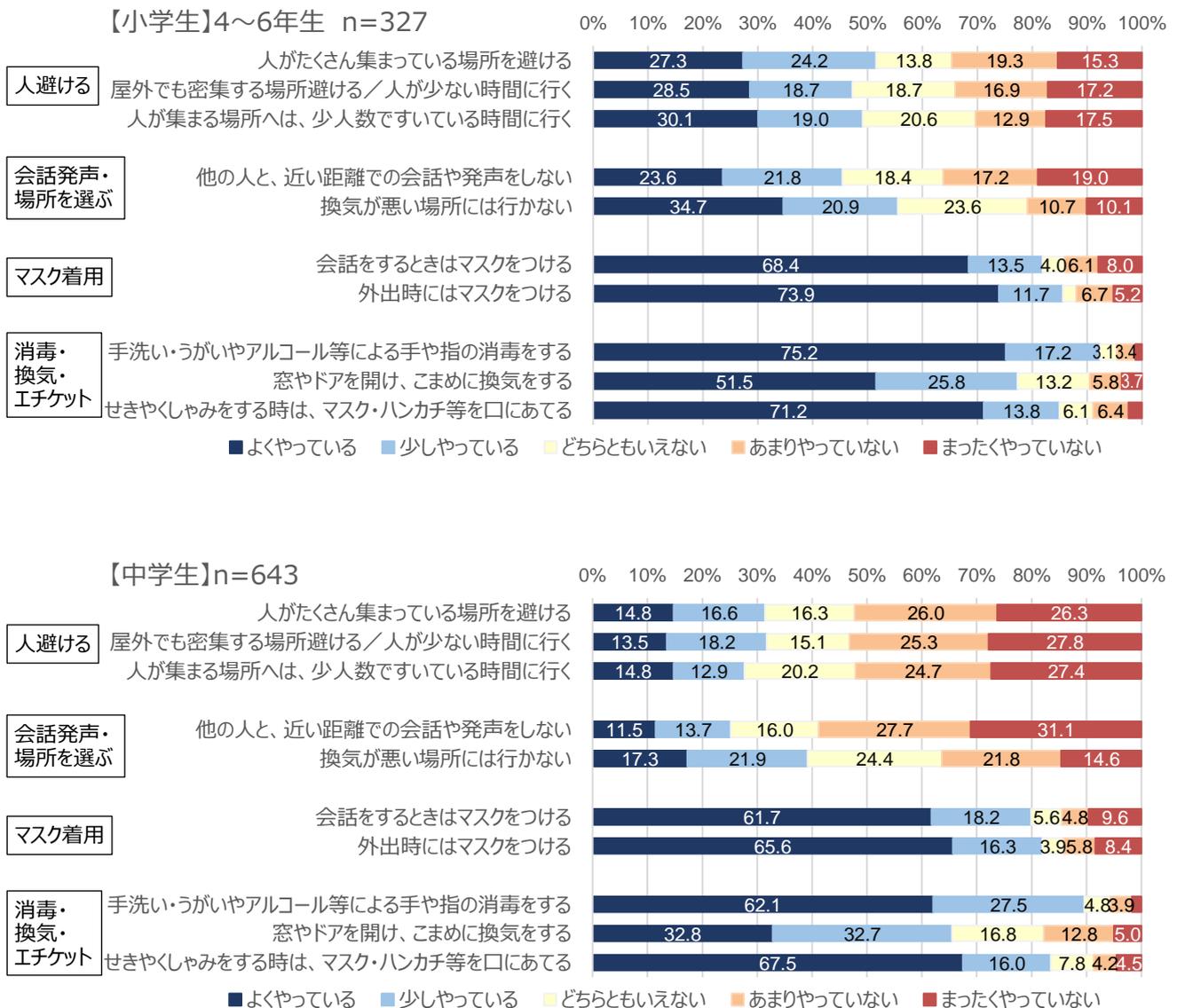


図 2-9-1 新型コロナウイルス対策の感染予防行動（%）【全体】

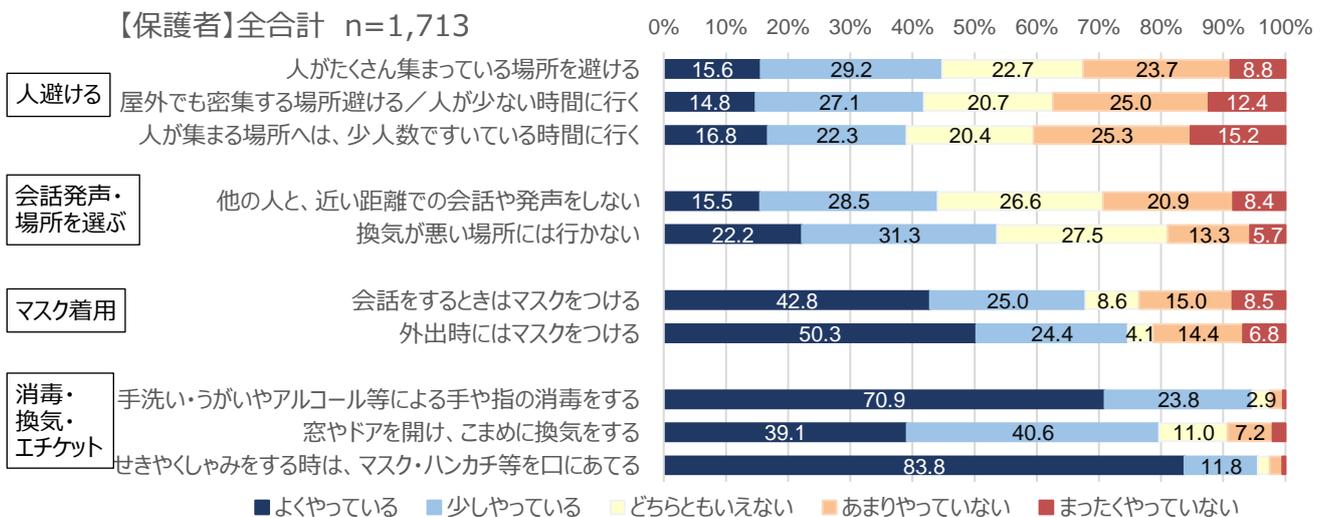
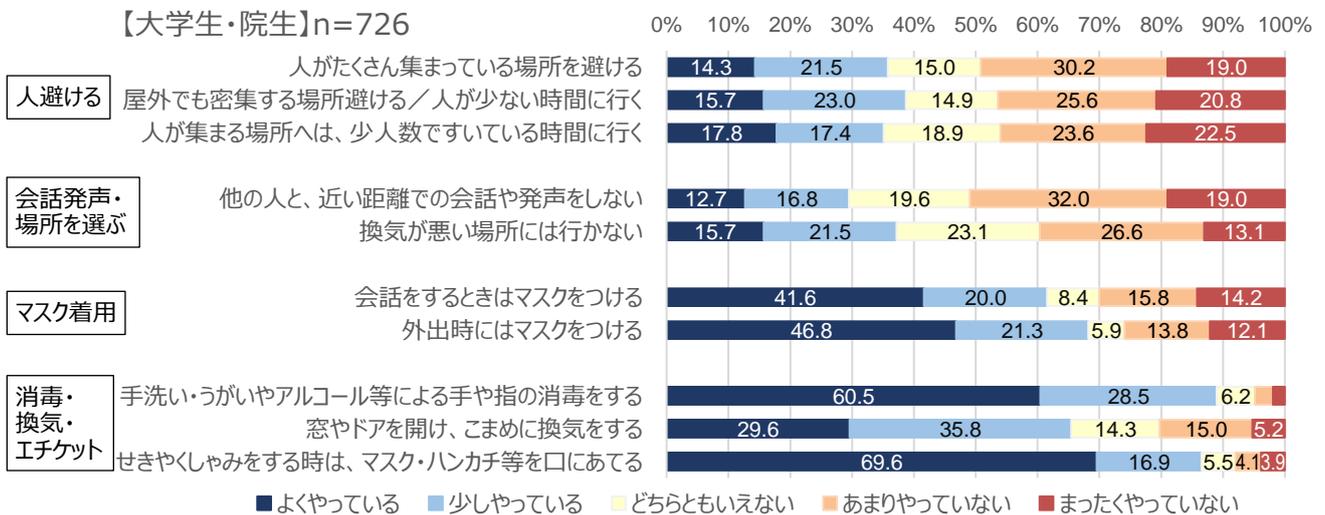
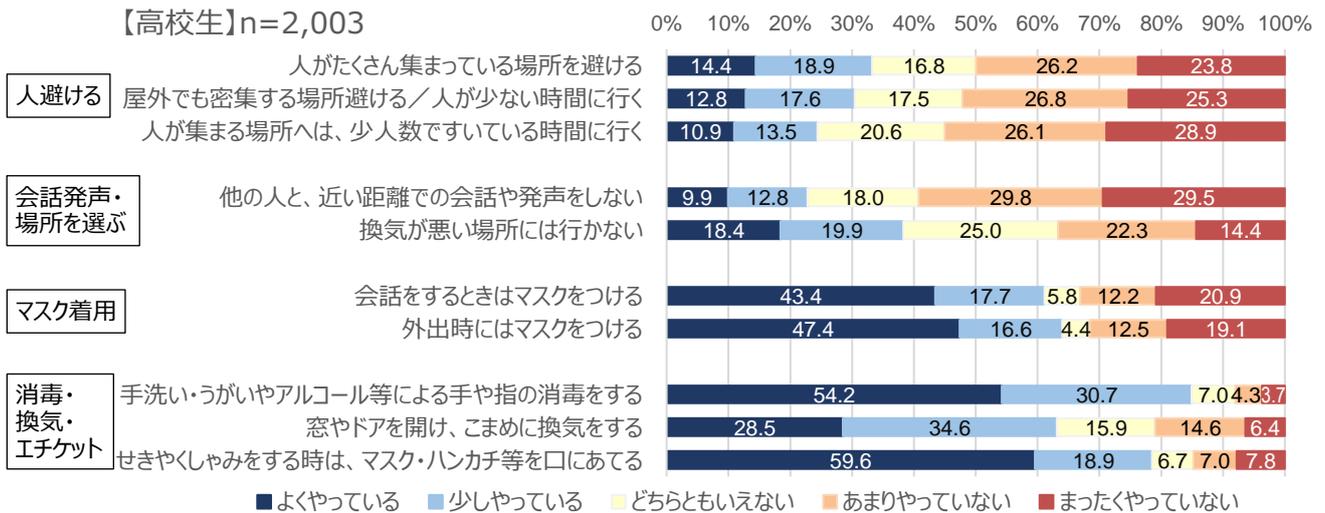


図 2-9-2 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 (%)【全体】(続き)

対象者層別の結果を比較のため、「よくやっている」を5点、「まったくやっていない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを作成した（図 2-10）。

図 2-9 および 2-10 からは、新型コロナウイルス対策の感染予防行動の実行率もっとも高い層は小学生、次いで保護者であり、もっとも低い層は高校生であるといえる。

小学生と保護者は、相対的に実行率が低い予防行動（人を避ける、会話発声・場所を選ぶに関する項目）についても「やっている」割合が高い。「手洗い・うがいやアルコール等による手や指の消毒をする」および「窓やドアを開け、こまめに換気をする」についても、他の層より実行率が高い。マスク着用の項目においては、中学生の実行率も高い。実行率が高い順に、小学生、中学生、保護者、大学生・院生、高校生である。

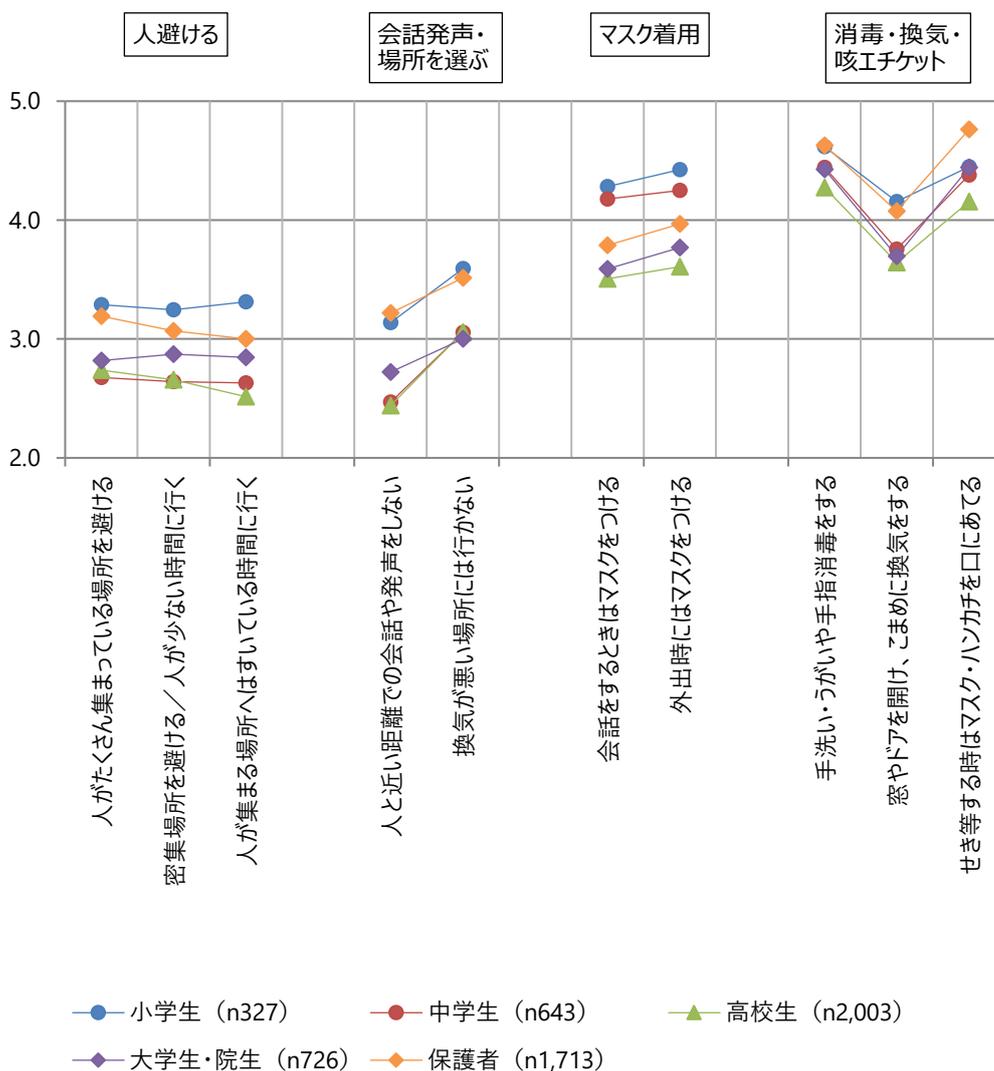


図 2-10 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 対象者層別平均点

② 児童・生徒と保護者の結果比較

図 2-11 および 2-12 に、小学生 4～6 年生とその保護者との結果を比較して示す。図 2-12 は「よくやっている」を 5 点、「まったくやっていない」を 1 点として数値化した上で算出した平均点のグラフである。

前述の通り、小学生と保護者は、新型コロナウイルス対策の感染予防行動の実行率が相対的に高いが、図 2-10 と 12 を比較すると、保護者の中でも、小学生の保護者はさらに実行率が高いことが分かる。

【淑徳小学校】小学生 (n=327) / 4～6年生の保護者 (n=229)

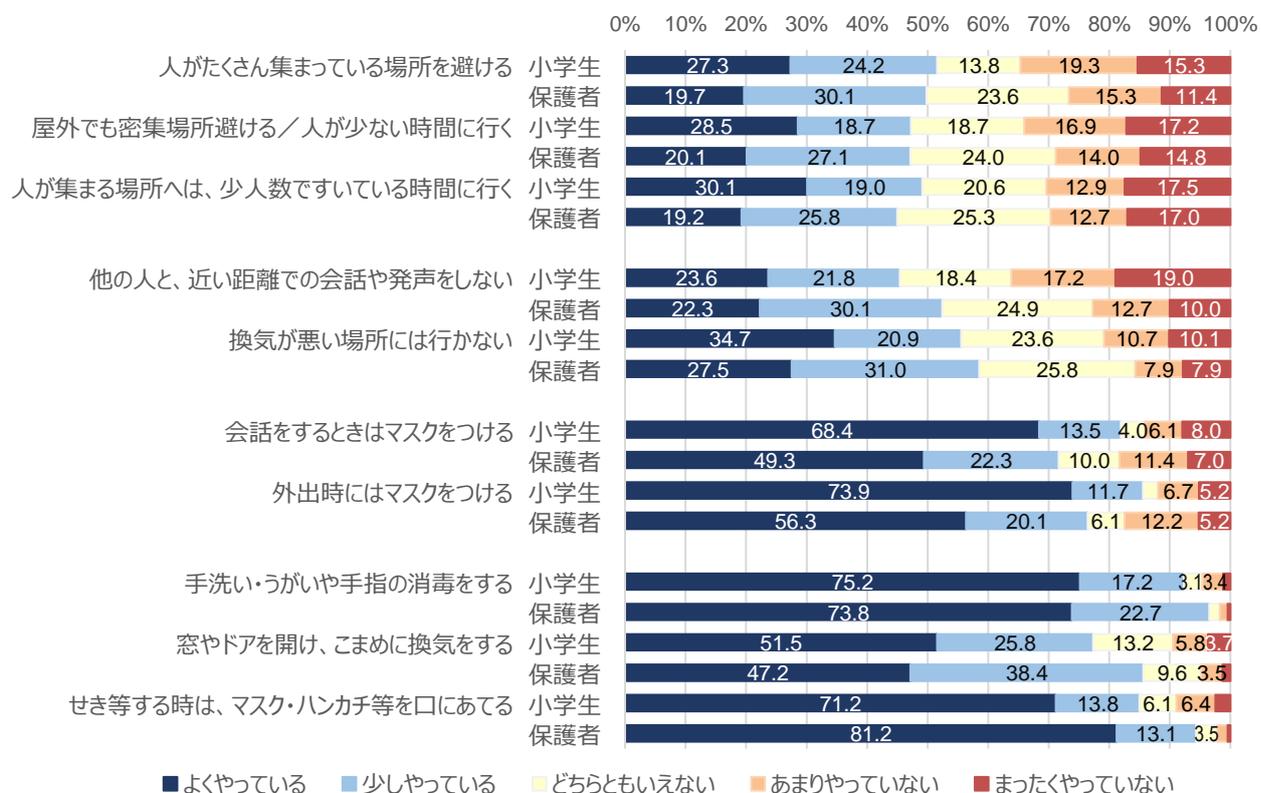


図 2-11 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 (%) 小学生と保護者の比較 【小学校】

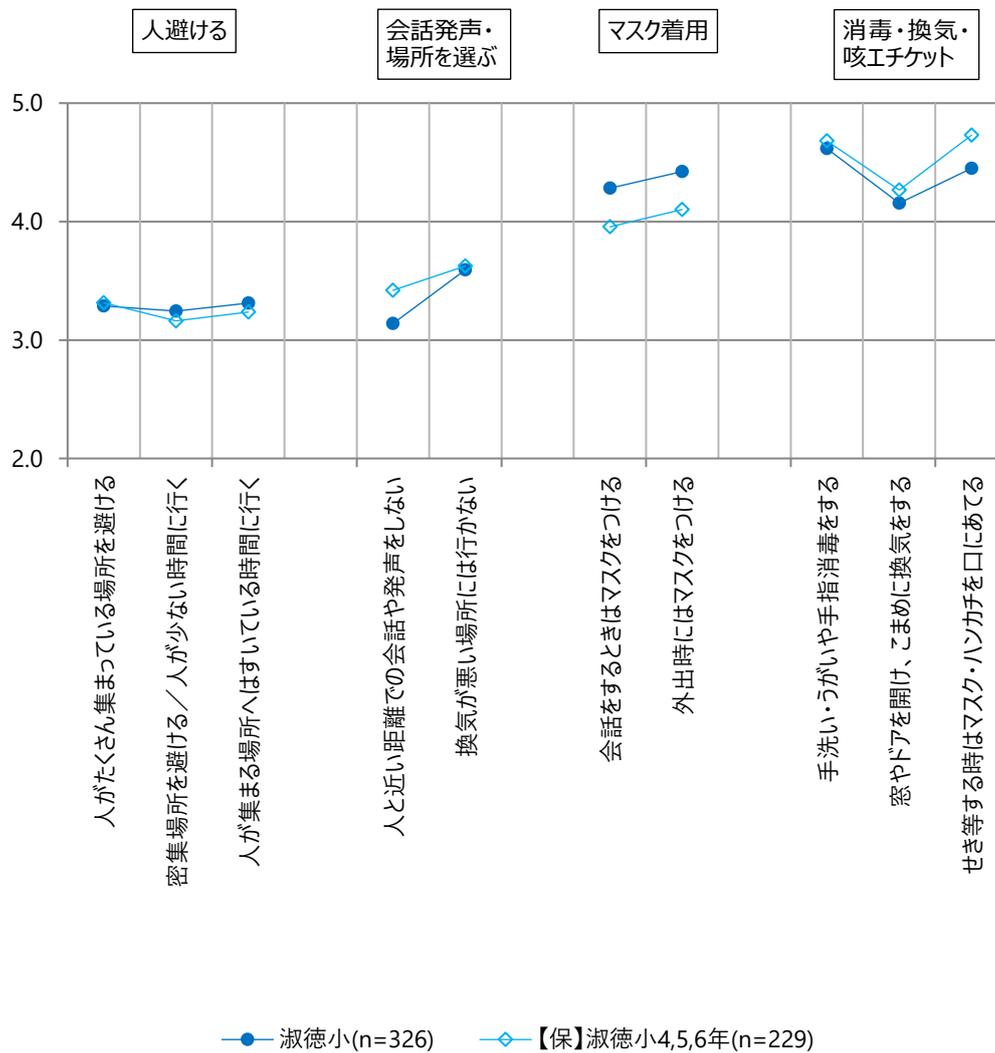


図 2-12 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 小学生と保護者の平均点比較 【小学校】

図 2-13 および 2-14 に、中学生とその保護者との結果を学校別に比較して示す。図 2-14 は「よくやっている」を 5 点、「まったくやっていない」を 1 点として数値化した上で算出した平均点のグラフである。

いずれの学校においても、マスクの着用以外は、中学生よりも保護者の予防行動実行率が高いという傾向は変わらない。

中学生の予防行動実行率は、学校ごとに異なる。もっとも高いのは淑徳与野中学校であり、「窓やドアを開け、こまめに換気をする」以外、すべての項目において他の学校よりも「やっている」側の回答割合が高い。とくに、マスク着用、手洗い・うがいや手指消毒、および咳エチケットの実行率は 90% 前後と顕著に高い。

なお、中学生に比べると、保護者の学校ごとの違いは小さい。

【淑徳中学校】中学生 (n=242) / 保護者 (n=79)

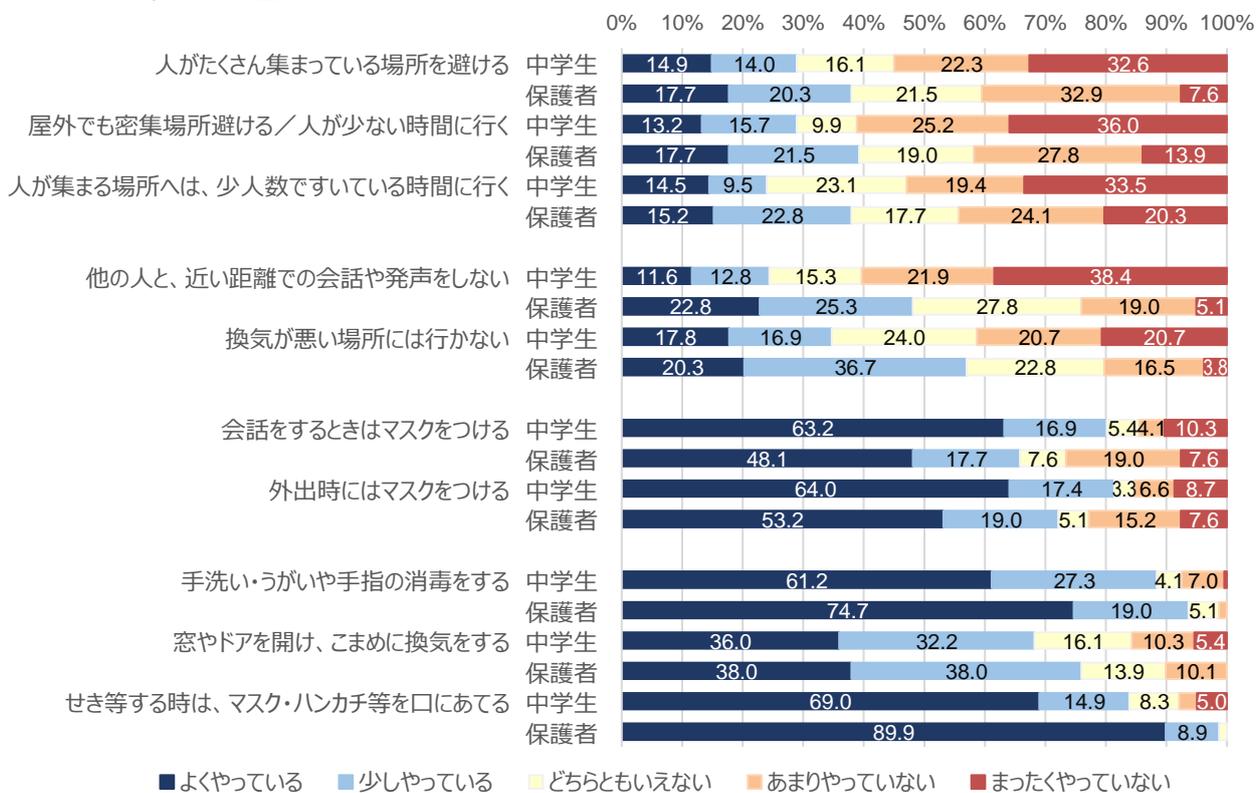
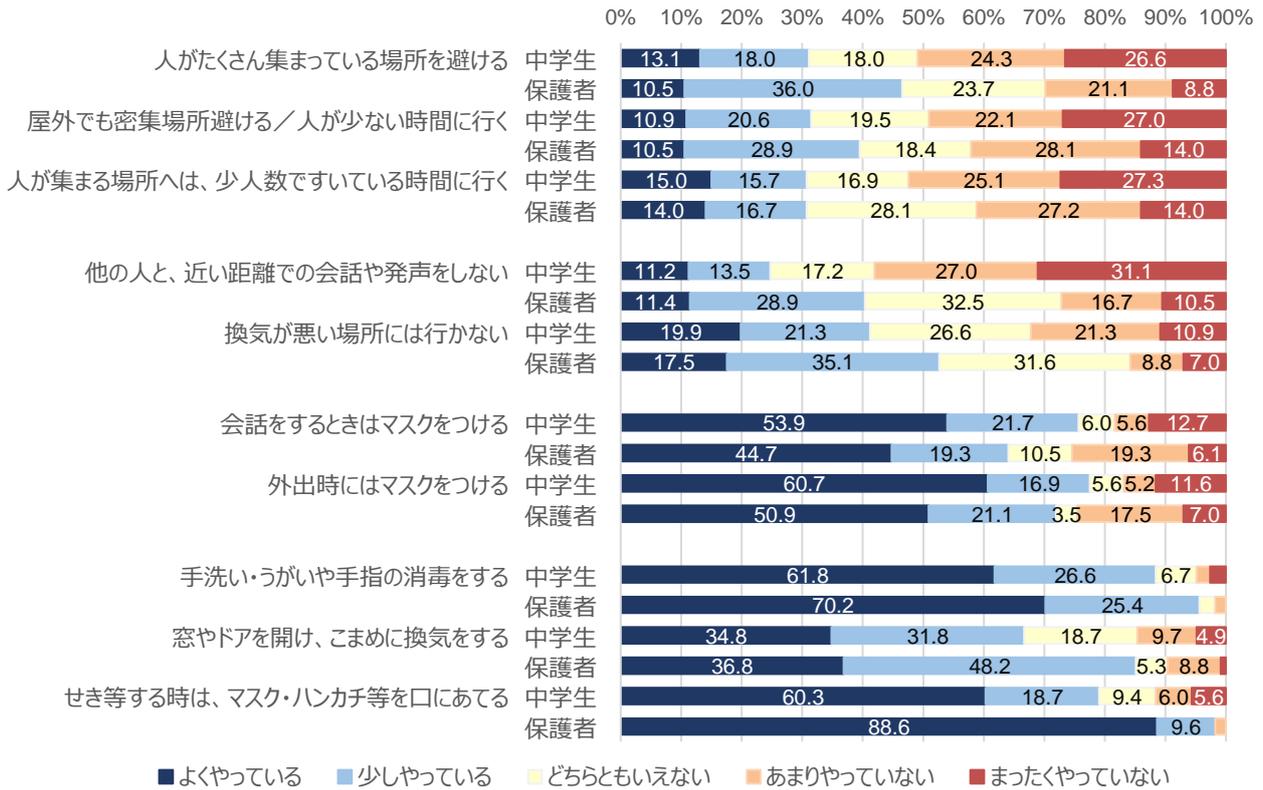


図 2-13-1 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 (%) 中学生と保護者の比較 【中学校：学校別】

【淑徳巣鴨中学校】 中学生 (n=267) / 保護者 (n=114)



【淑徳与野中学校】 中学生 (n=134) / 保護者 (n=120)

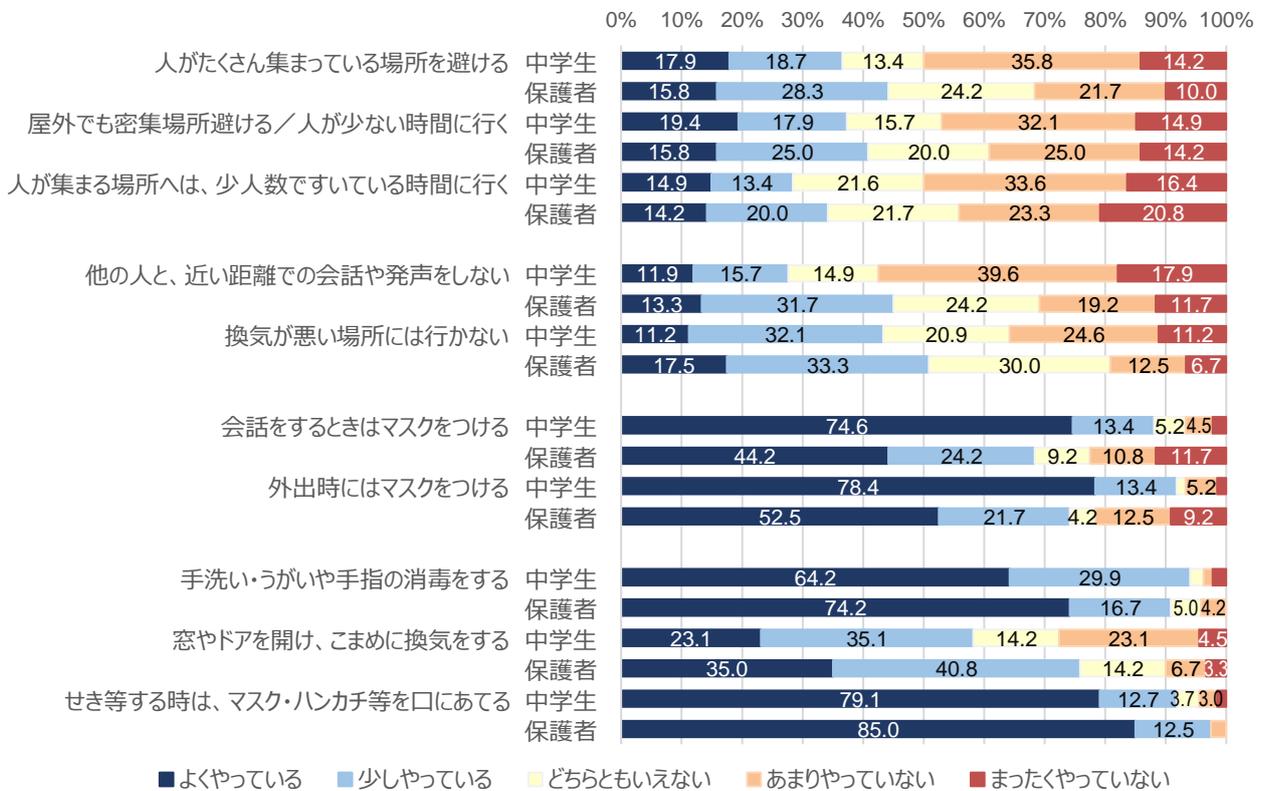


図 2-13-2 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 (%) 中学生と保護者の比較 【中学校：学校別】 (続き)

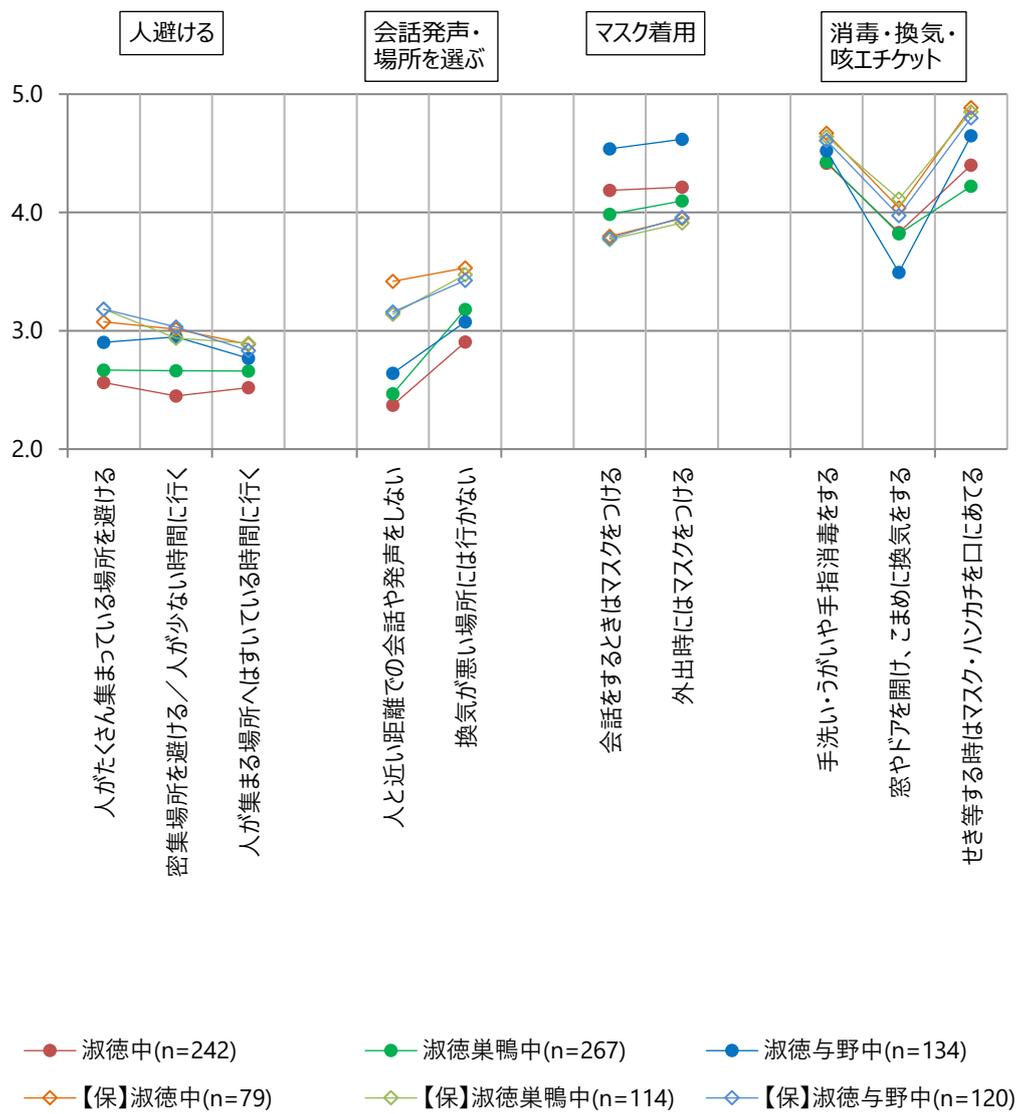


図 2-14 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 中学生と保護者の平均点比較 【中学校：学校別】

図 2-15 および 2-16 に、高校生とその保護者との結果を学校別に比較して示す。図 2-16 は「よくやっている」を 5 点、「まったくやっていない」を 1 点として数値化した上で算出した平均点のグラフである。

高校生の予防行動実行率は、中学生と同様に、学校ごとに大きく異なる。もっとも高いのは淑徳与野高校であり、「窓やドアを開け、こまめに換気をする」以外、すべての項目において他の学校よりも実行率が高い。とくに、顕著に異なるのはマスク着用率である。前述のとおり、高校生のマスク着用率は他の対象者層に比べて低い。淑徳与野高校では、保護者層よりも高くなっている。人を避ける行動についても、他の高校と異なり、保護者層に並ぶ実行率の高さである。

なお、高校生に比べると保護者の学校ごとの違いは小さいが、マスク着用率に関しては、やはり淑徳与野高校の保護者の実行率が他校よりも高い傾向がみられた。

【淑徳高校】 高校生 (n=581) / 保護者 (n=141)

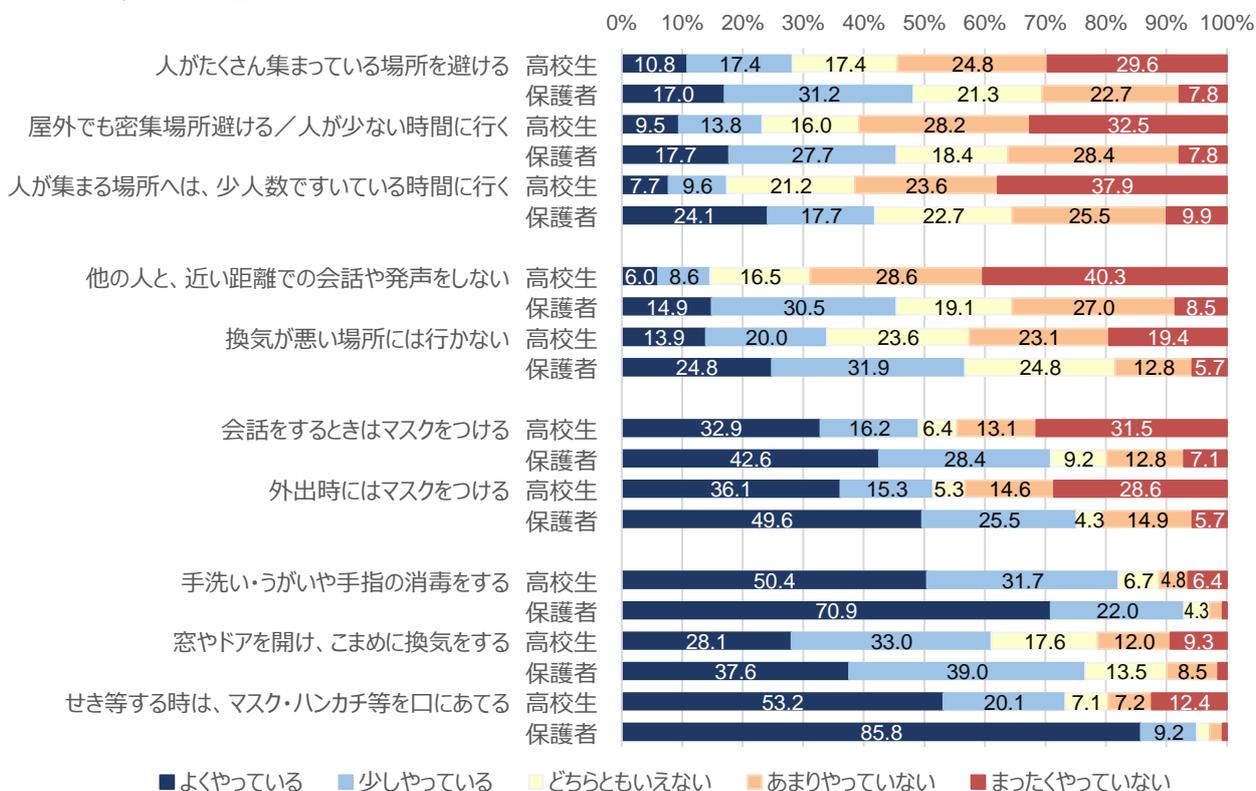
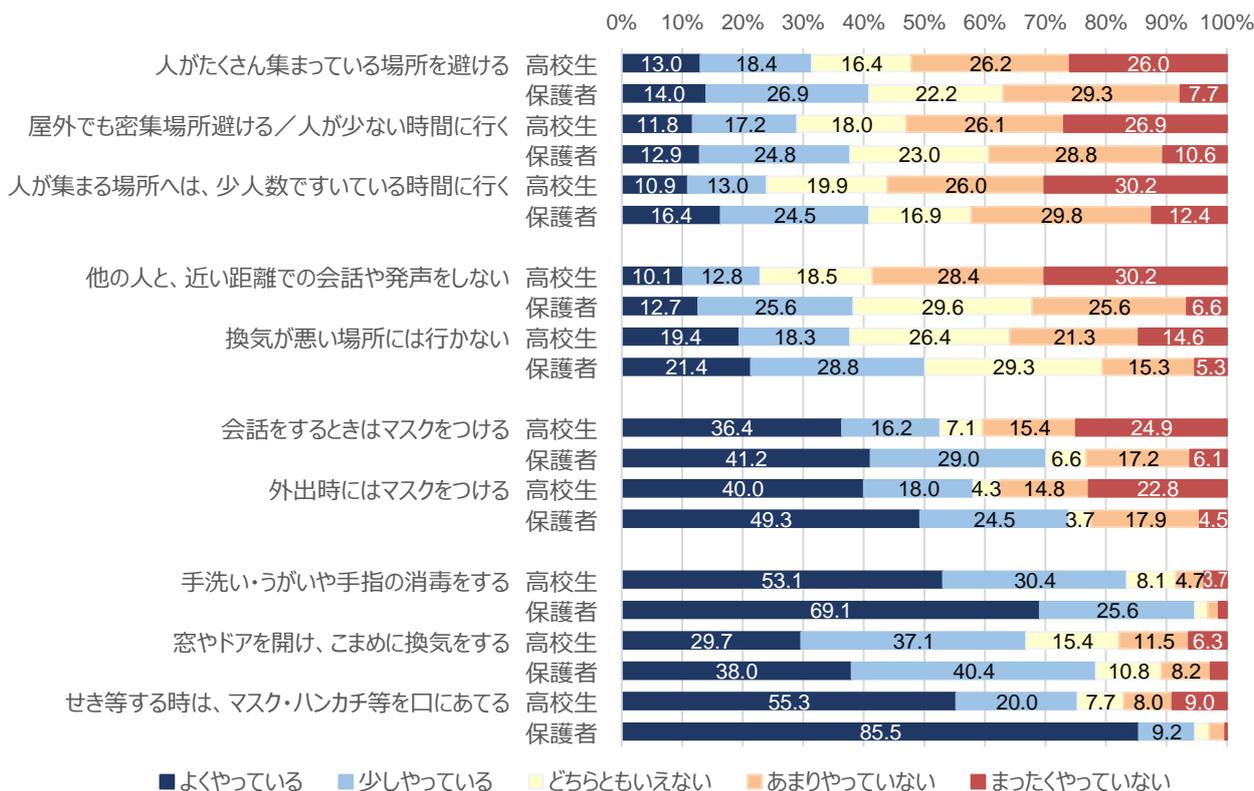


図 2-15-1 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 (%) 高校生と保護者の比較 【高校：学校別】

【淑徳巣鴨高校】 高校生 (n=859) / 保護者 (n=379)



【淑徳与野高校】 高校生 (n=563) / 保護者 (n=308)

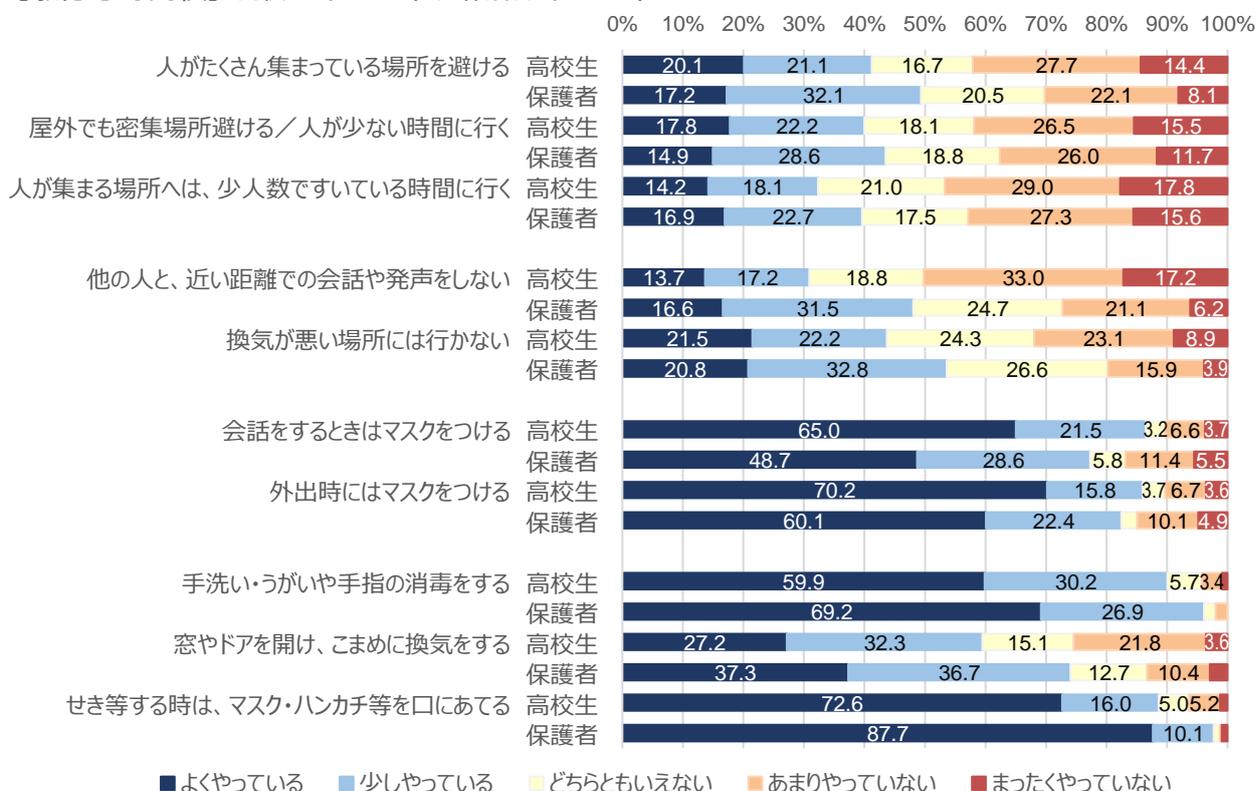


図 2-15-2 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 (%) 高校生と保護者の比較 【高校：学校別】 (続き)

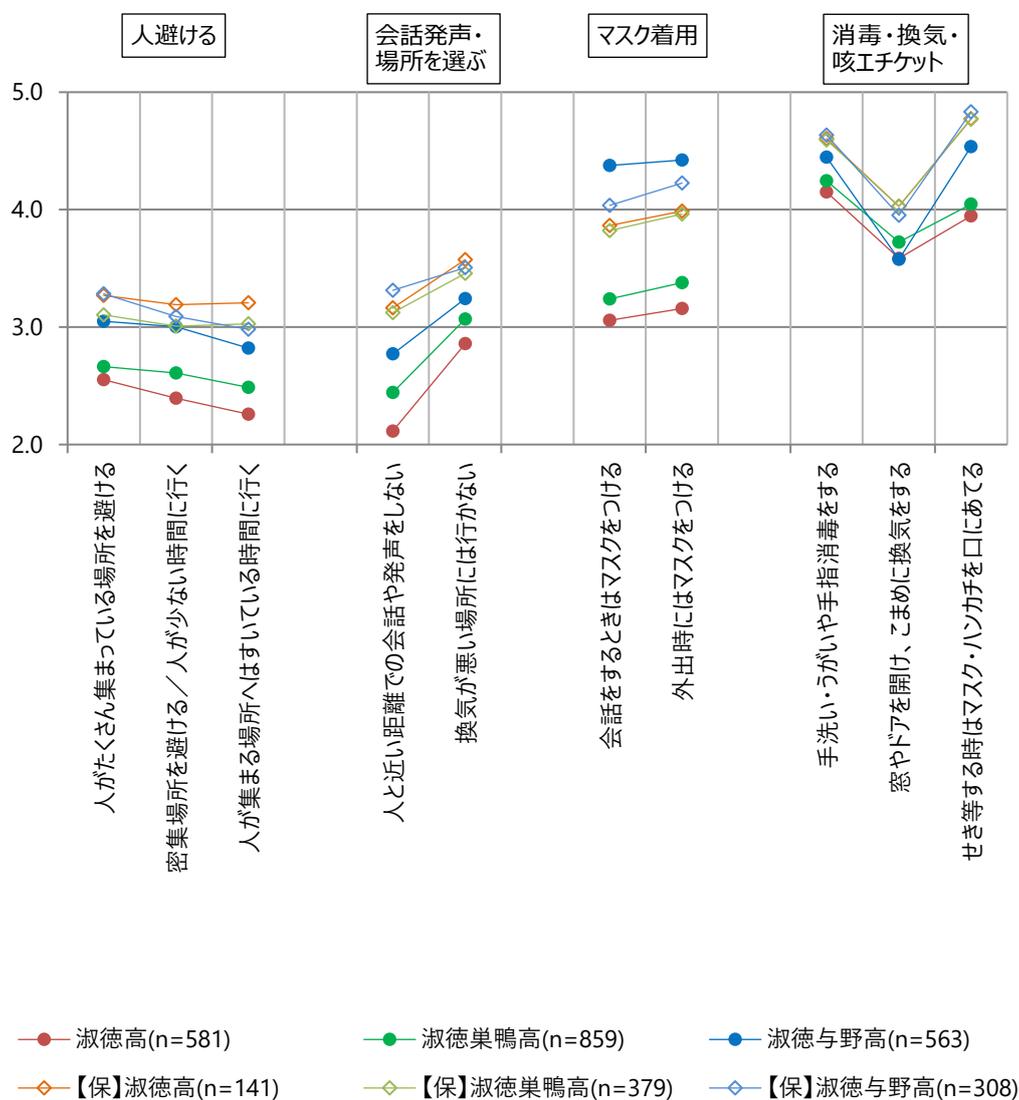


図 2-16 新型コロナウイルス対策の感染予防行動 高校生と保護者の平均点比較 【高校：学校別】

2-2. 健康

(1) 身体的健康

小学生、中学生、高校生、大学生・院生に対して、現在の自身の身体的健康等に関する10項目をあげ、「困っている」「どちらともいえない」「困っていない」の選択肢で回答してもらった。また、保護者に対しては、同様の10項目について、自分の子どもに対してどの程度あてはまるかを同様に尋ねた。結果を図2-17および2-18に示す。

小・中・高校生、大学生・院生で「困っている」割合が比較的高い項目は、体力低下や運動不足、朝起きられないことであり、同割合が低いのは外出や友達、食欲が出ないことである。保護者層でも同様の傾向がみられるが、保護者層は他の層に比べるといずれの項目においても明らかに「困っている」割合が低くなっている。

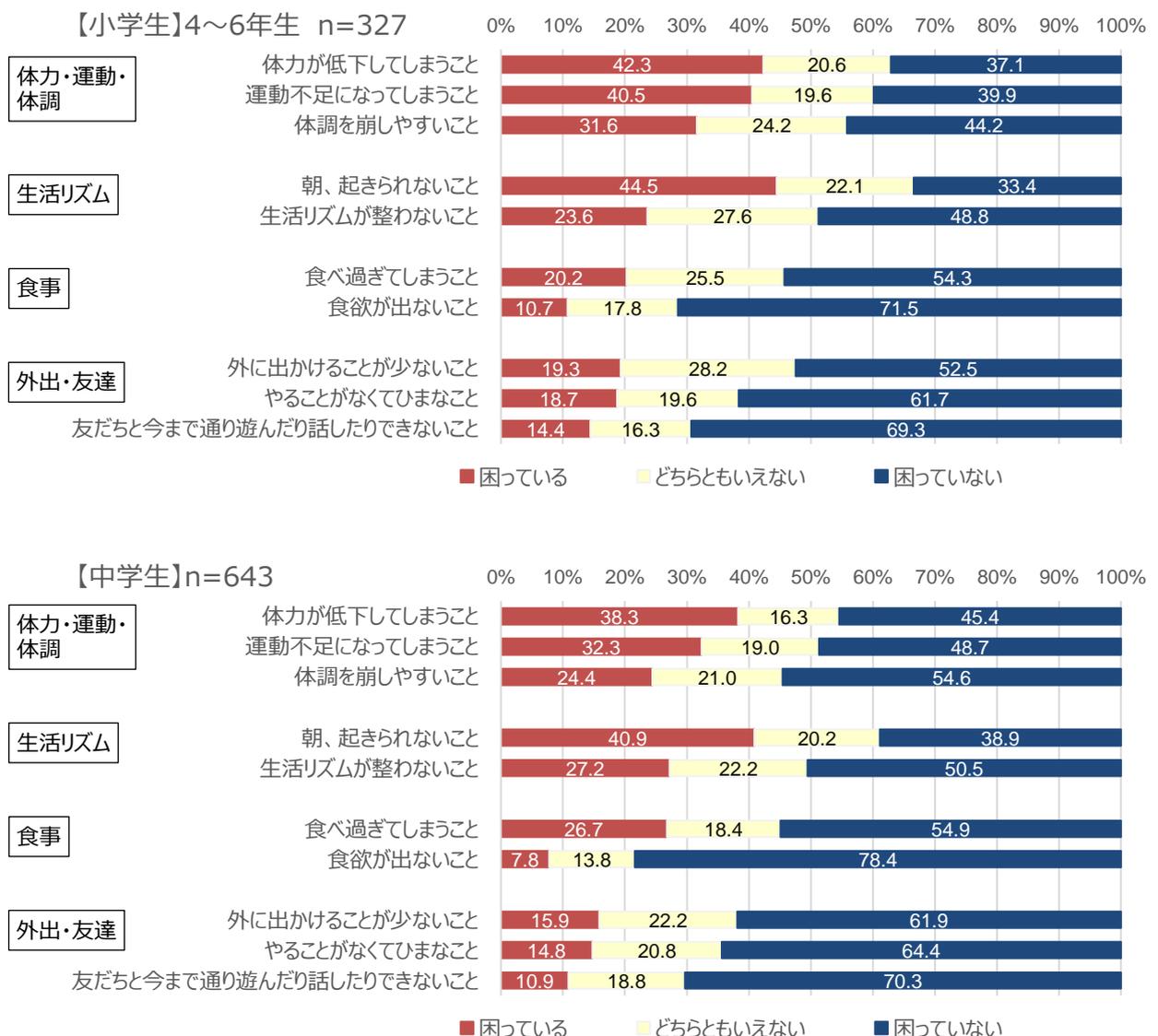


図 2-17-1 身体的健康等に関する困り事 (%) 【小学生～大学生・院生】

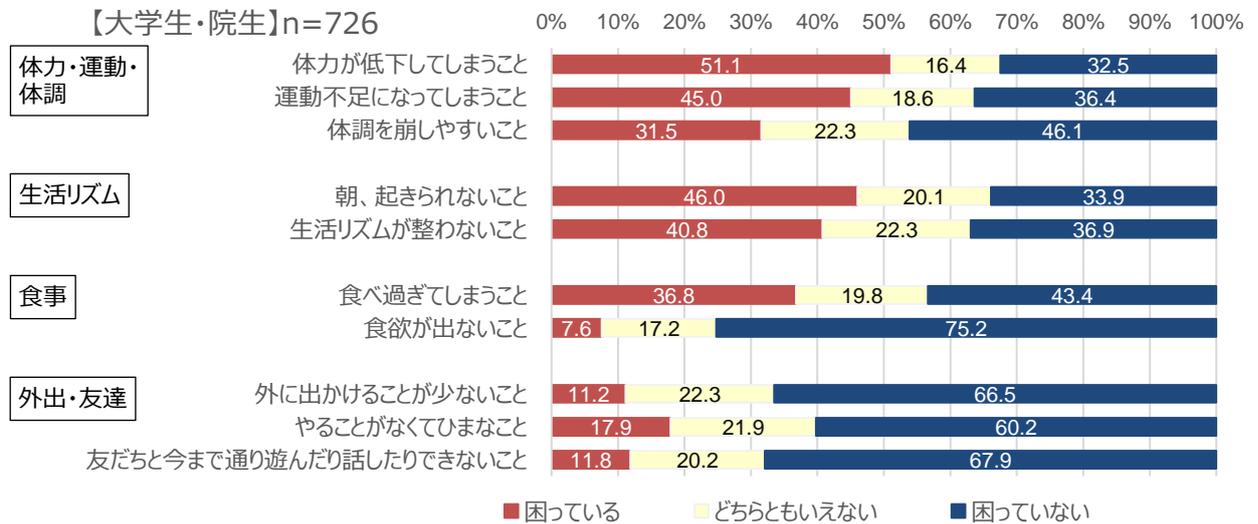
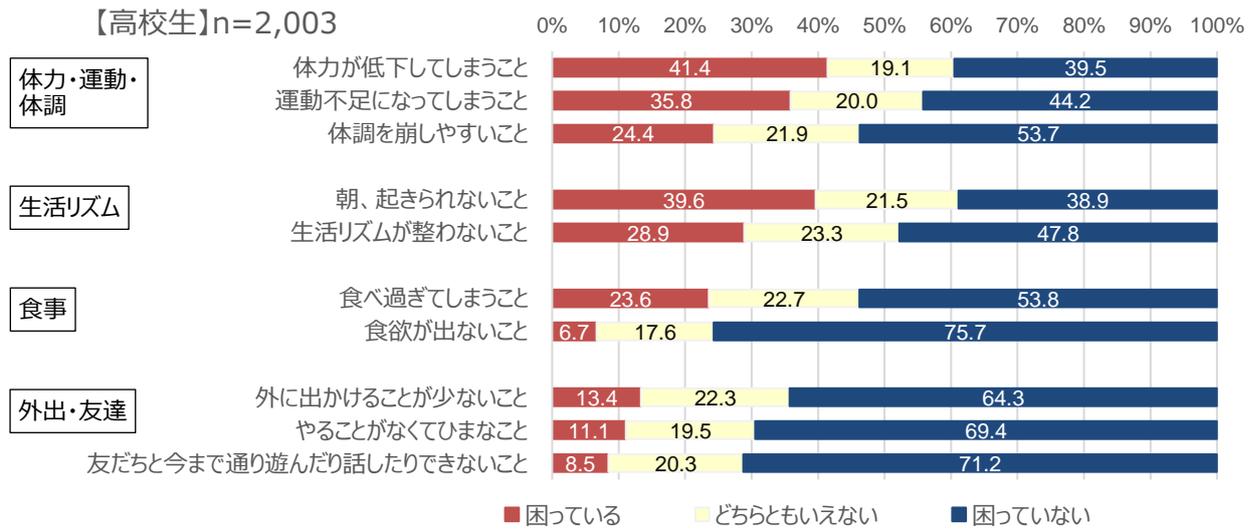


図 2-17-2 身体的健康等に関する困り事 (%) 【小学生～大学生・院生】(続き)

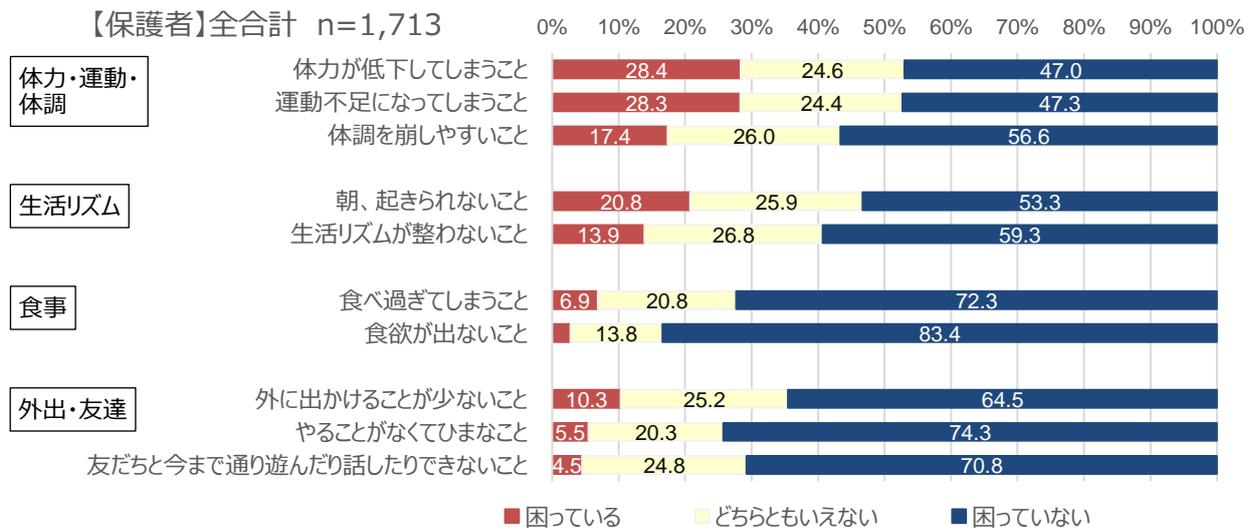


図 2-18 子どもの身体的健康等に関する困り事 (%) 【保護者】

対象者層別の結果を比較のため、「困っている」を3点、「困っていない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを作成した（図 2-19）。

図 2-17、18 および 19 からは、もっとも多くの困り事がある層は大学生・院生であるといえる。大学生・院生は、とくに体力低下、運動不足、生活リズムの乱れ、食べすぎに関して、他の層に比べ「困っている」割合が高い。また、「体調を崩しやすいこと」「朝、起きられないこと」についても、小学生と並んで同割合が高い。

外出・友達に関する項目は、他に比べて困り事とは自覚されていないが、「外に出かけることが少ないこと」については、他の層に比べて小学生の「困っている」割合が若干高くなっている。

なお、本設問では、保護者は「自分の子どもに対して」どの程度あてはまるかを答えるものであるため、児童・生徒とその保護者の平均点を学校ごとに比較できるように図 2-20 を作成した。学校別にみても、いずれの項目においても保護者層は児童・生徒よりも「困っている」割合が低い傾向がある。

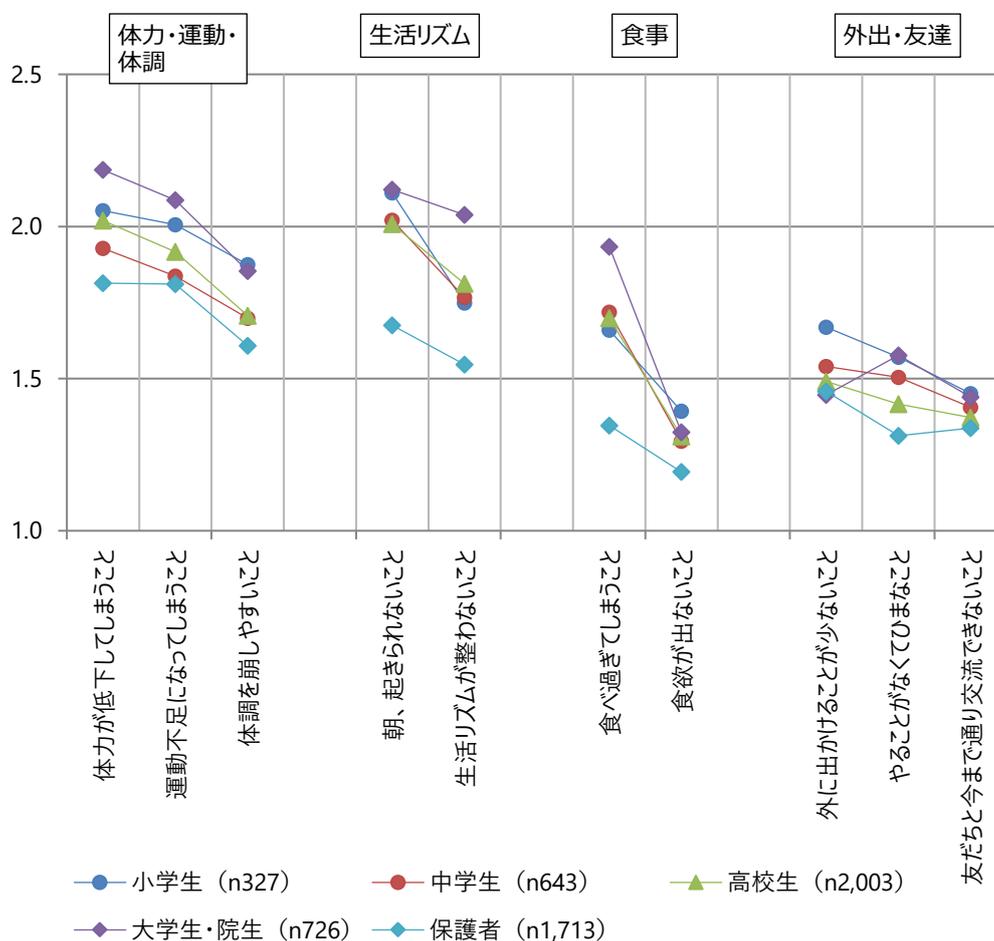


図 2-19 身体的健康等に関する困り事 対象者層別平均点（保護者は「子どもに関する困り事」）

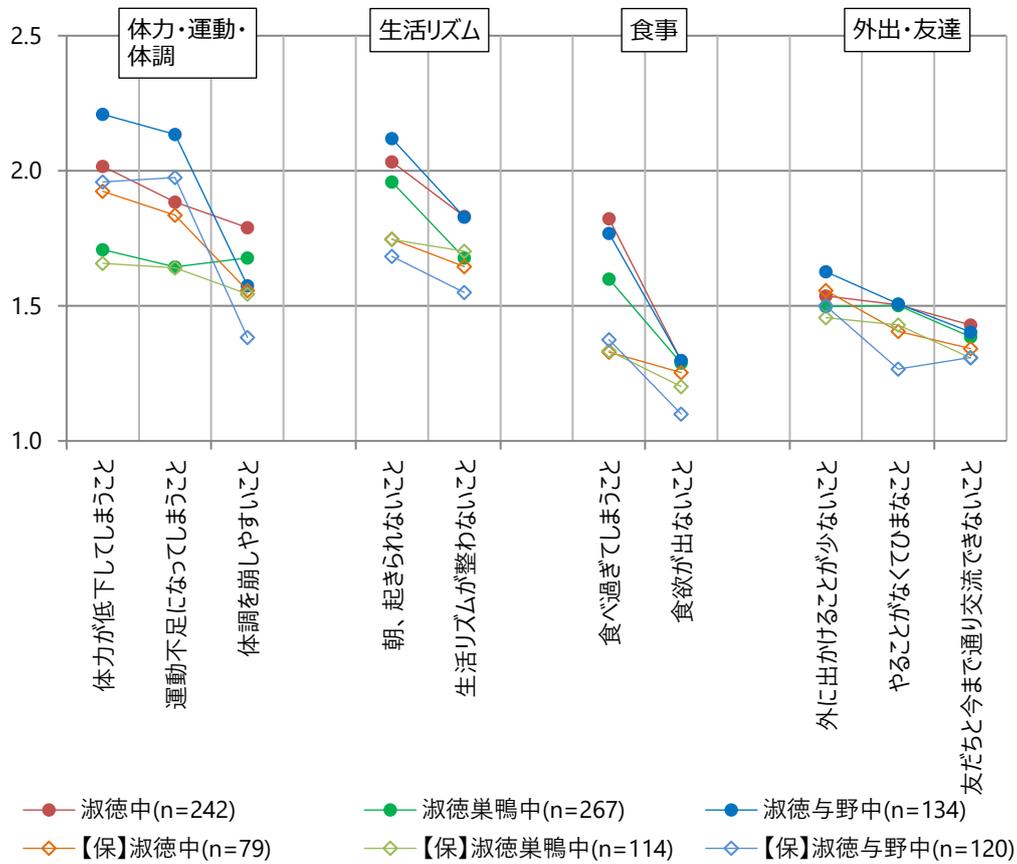
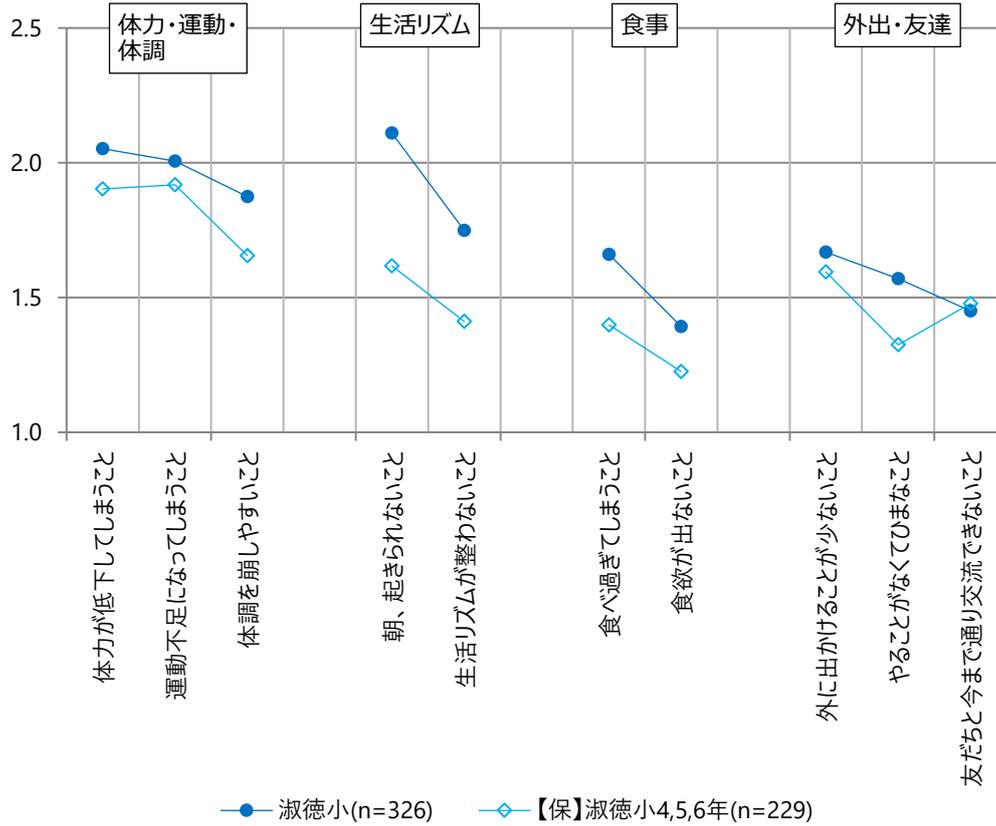


図 2-20-1 身体的健康等に関する困り事 児童・生徒と保護者の平均点比較 【学校別】

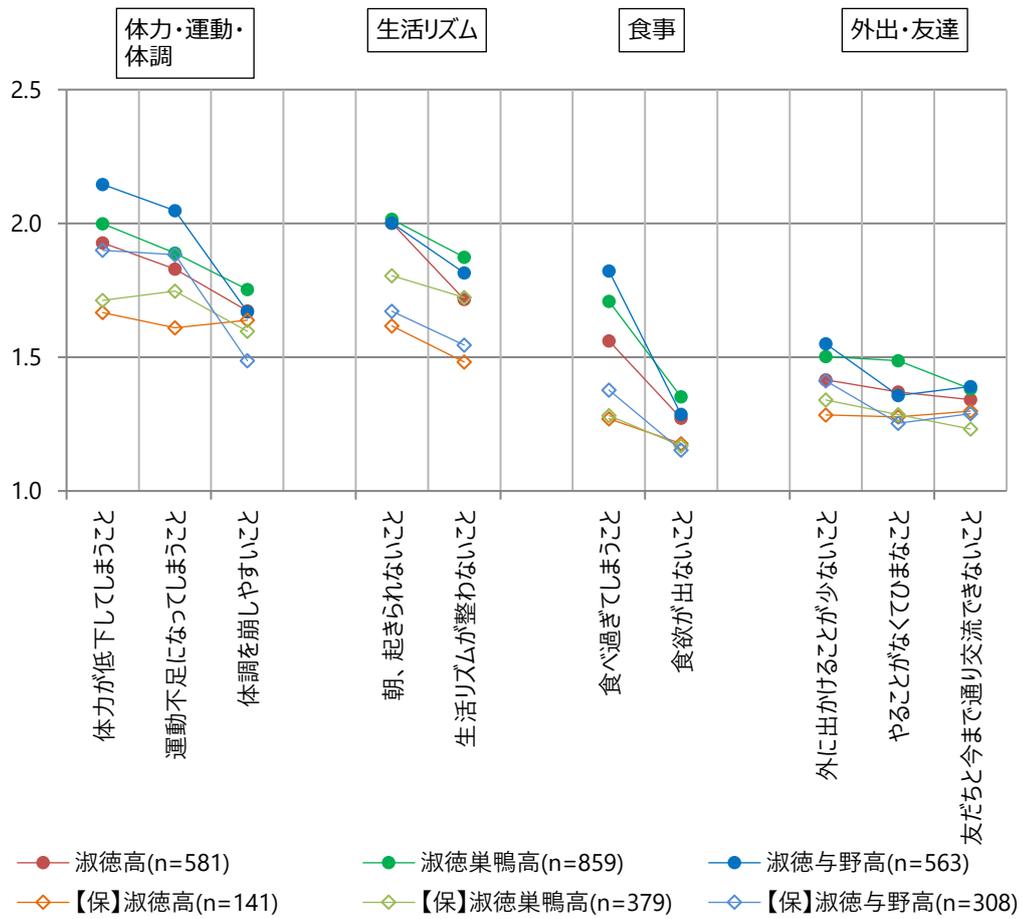


図 2-20-2 身体的健康等に関する困り事 児童・生徒と保護者の平均点比較 【学校別】 (続き)

(2) 精神的健康（公衆衛生）

中学生、高校生、大学生・院生、保護者に対して、過去1か月の間の精神的健康に関する6項目をあげ、「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」「まったくない」という選択肢で回答してもらった。結果を図2-21および22に示す。

全ての項目において「まったくない」が最多であったが、その割合は対象者層によって異なった。「まったくない」の回答割合が低いのは、いずれの項目においても大学生・院生であり、もっとも高いのは保護者であった。

中学生、高校生、大学生・院生については、項目による一貫した違いもみられた。中学生、高校生、大学生・院生では、「いつも」側の回答割合は、多い順に、「気分が沈み込んで気が晴れない」「落ち着きなく感じる」「神経過敏を感じる」「骨折りだと感じる」「絶望的だと感じる」「価値がない人間と感じる」であった。

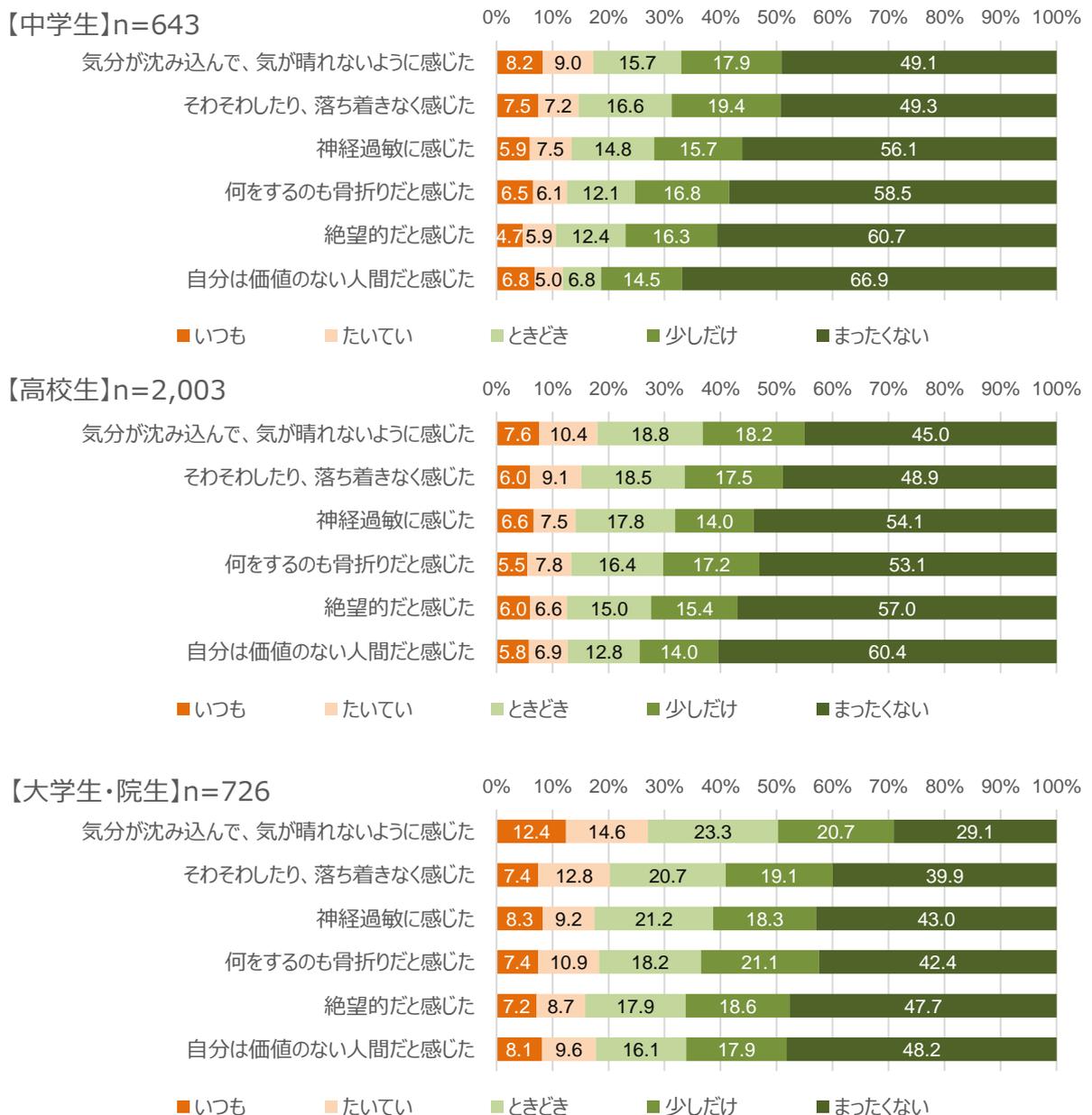


図 2-21 過去1か月の間の精神的健康（%）【中学生】【高校生】【大学生・院生】

【保護者】全合計 n=1,713

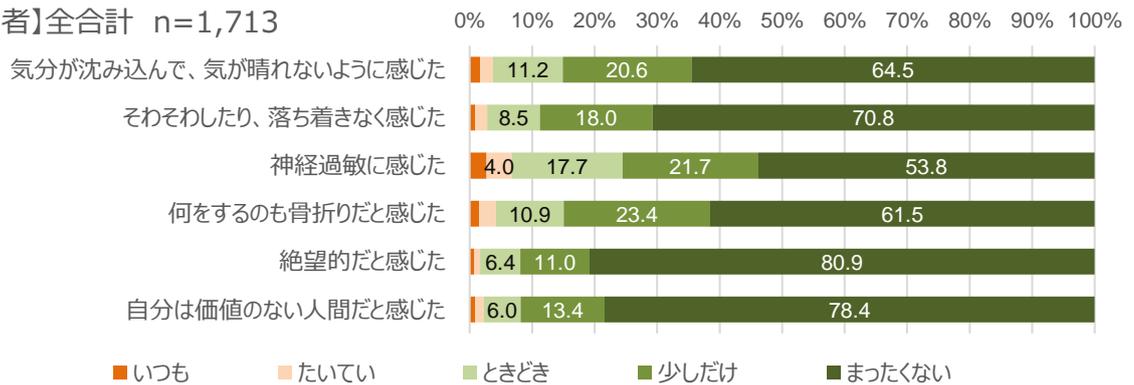


図 2-22 過去 1 か月間の精神的健康 (%)【保護者】

小学生に対しては、過去 1 週間の精神的健康に関する 16 項目をあげ、「いつもそうだ」「ときどきそうだ」「そんなことはない」という選択肢で回答してもらった。結果を図 2-23 に示す。

「元気いっぱい」「遊びに出かけるのが好きだ」等のポジティブな項目については、いずれの項目も「そんなことはない」という回答はごくわずかであり、肯定的な回答が多くを占める。

「こわい夢をみる」等のネガティブな項目については「そんなことはない」という回答が多いが、「いつもそうだ」という回答割合はいずれの項目についても 1 割前後となった。ネガティブな項目において、もっとも肯定的回答割合が高いのは「おなかがいたくなるようなことがある」であり、「いつもそうだ」と「ときどきそうだ」を足し合わせると過半数となった。

【小学生】4～6年生 n=327

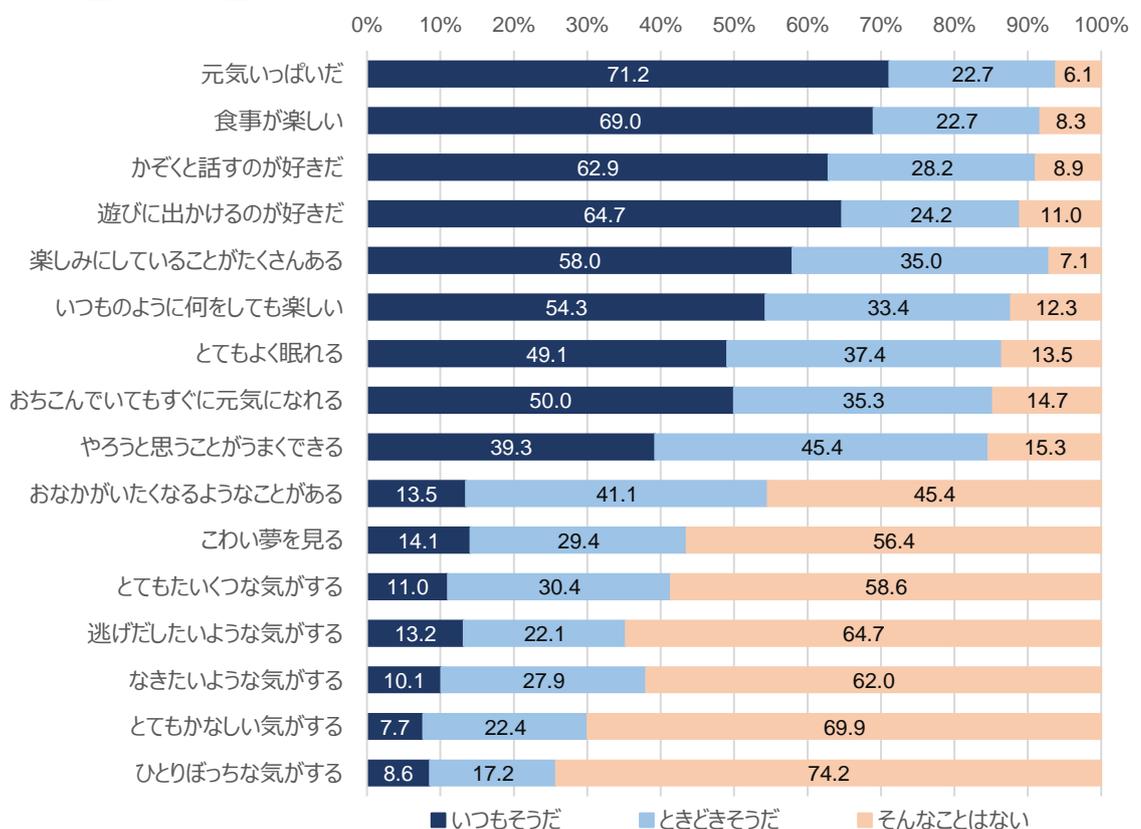


図 2-23 過去 1 週間の精神的健康 (%)【小学生】

2-3. 心理

(1) メンタルヘルス（臨床心理）

自分自身が今感じていること5項目をあげ、それぞれあてはまるか否かを、小学生、中学生、高校生、大学生・院生、保護者に対して同様に5件法で聞いた。結果を図2-24に示す。また、対象者別の結果比較のため、「とてもあてはまる」を5点、「困っていない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを図2-25に示す。

どの対象者層においても「普通に生活できるのが嬉しいと感じる」「皆と過ごせている感じがしている」では「あてはまる」側が8割を超える。「ストレス解消ができている」も「あてはまる」側が多い。これらに比べ、コロナ禍の影響に関する項目では「あてはまる」側の回答割合は低い。

対象者層によって顕著な差がみられたのは「今もコロナ禍のせいで自分の良い時期を失った気がしている」という項目である。もっとも「あてはまる」側の回答が多いのは、大学生・院生であり、回答割合は過半数を超える。次いで多いのは高校生、小学生、中学生、保護者の順である。

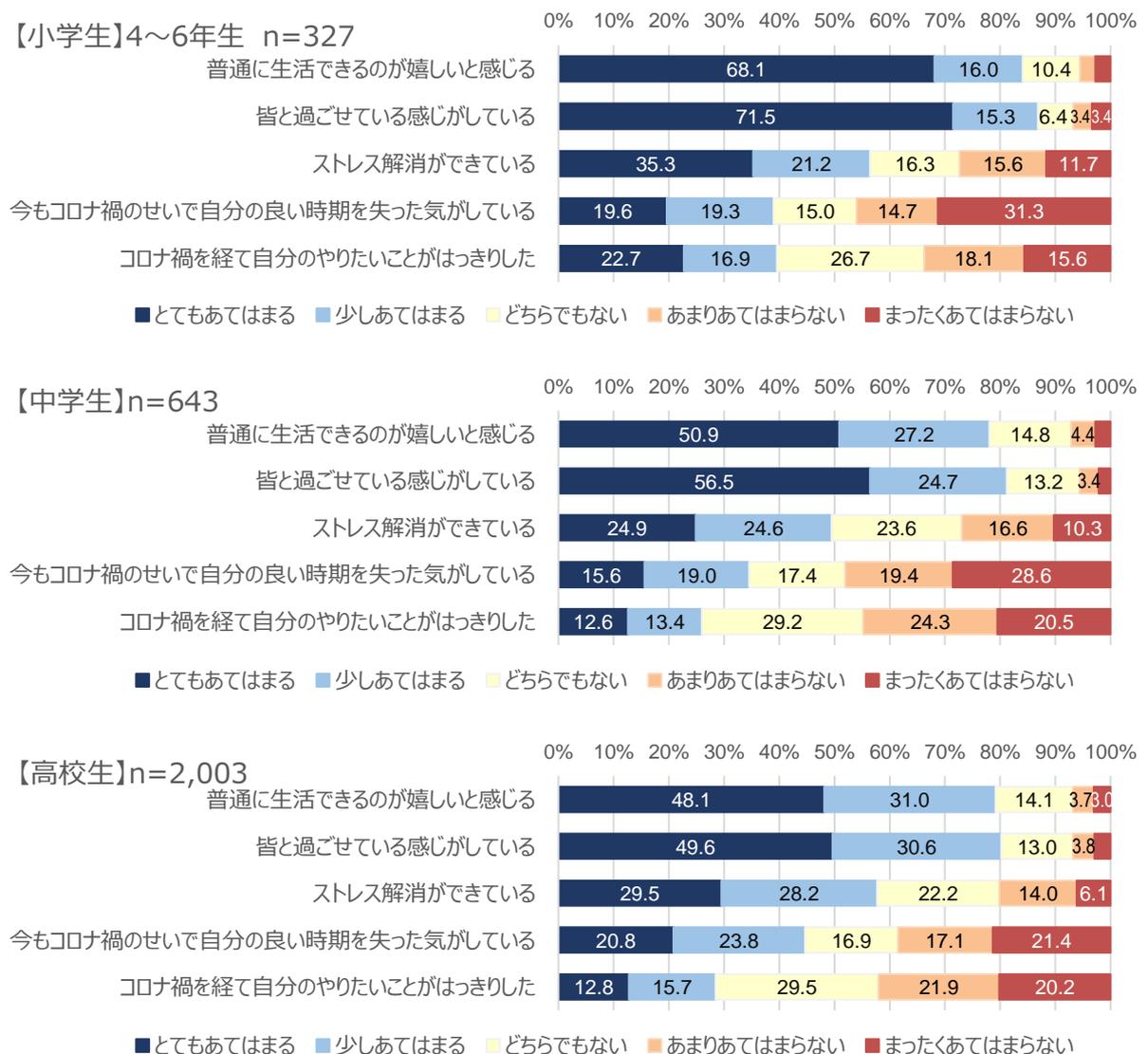


図 2-24-1 自分自身が今感じていること（メンタルヘルス）（%）【全体】

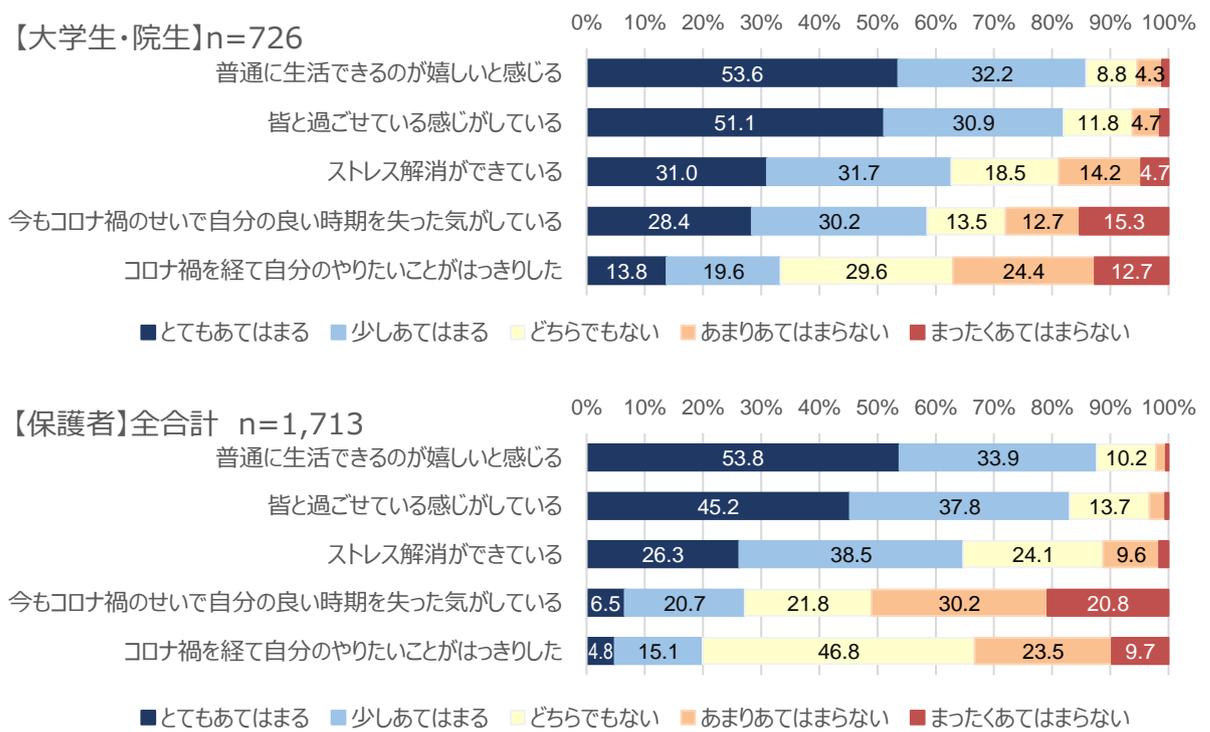


図 2-24-2 自分自身が今感じていること（メンタルヘルス）（%）【全体】（続き）

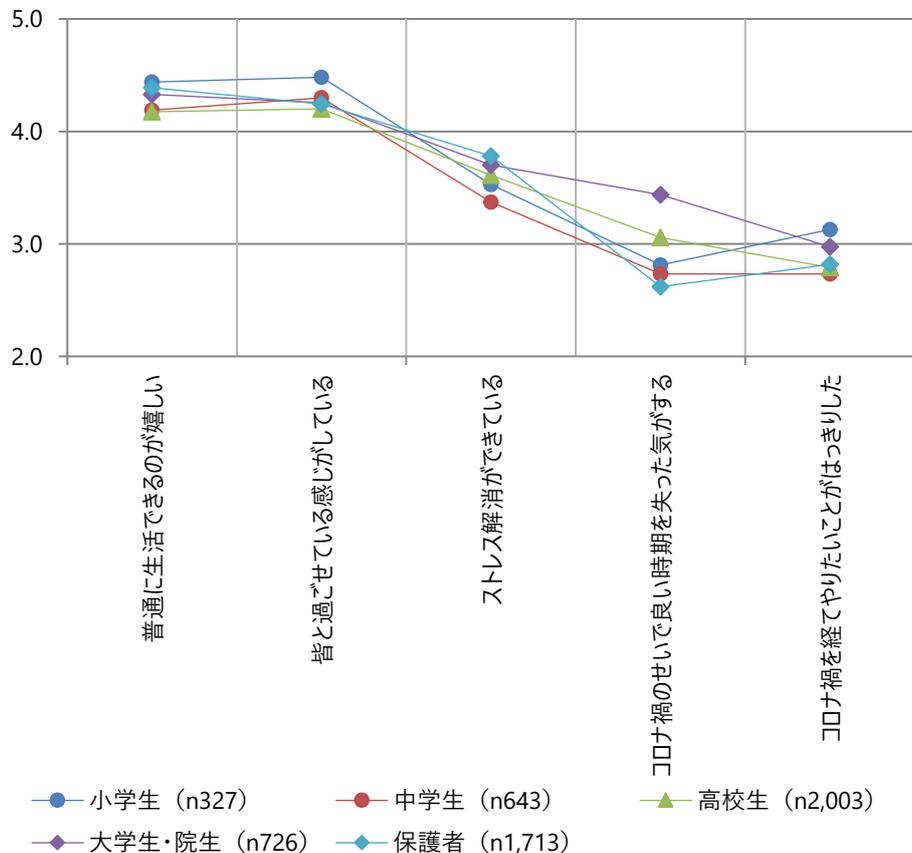


図 2-25 自分自身が今感じていること（メンタルヘルス） 対象者層別平均点

(2) 孤独感

小学生、中学生、高校生、大学生・院生および保護者に対し、孤独感等、日々の生活の感じ方について4項目をあげ、「決してない」「ほとんどない」「時々ある」「常にある」という頻度の選択肢で回答してもらった。結果を図2-26に示す。また、対象者別の結果比較のため、「常にある」を4点、「決してない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを図2-27に示す。

どの対象者層においても、項目間の差はほとんどなかった。ただし、「自分には人とのつきあいが無いと感じることがある」のみ若干差がある対象者層があった。この頻度が低い傾向（人とのつきあいは無いと感じない）があったのは中学生層、高い傾向（人とのつきあいは無いと感じる）があったのは保護者層である。

一方、対象者層による違いは大きく、一貫していた。すべての項目においてもっとも頻度が高い（孤独感が強い）のは大学生・院生であり、もっとも低いのは小学生であった。「取り残されていると感じる」「他の人から孤立していると感じる」「孤独であると感じる」に関しては、大学生・院生に次いで頻度が高いのは一貫して中学生であり、高校生、保護者、小学生と続く。

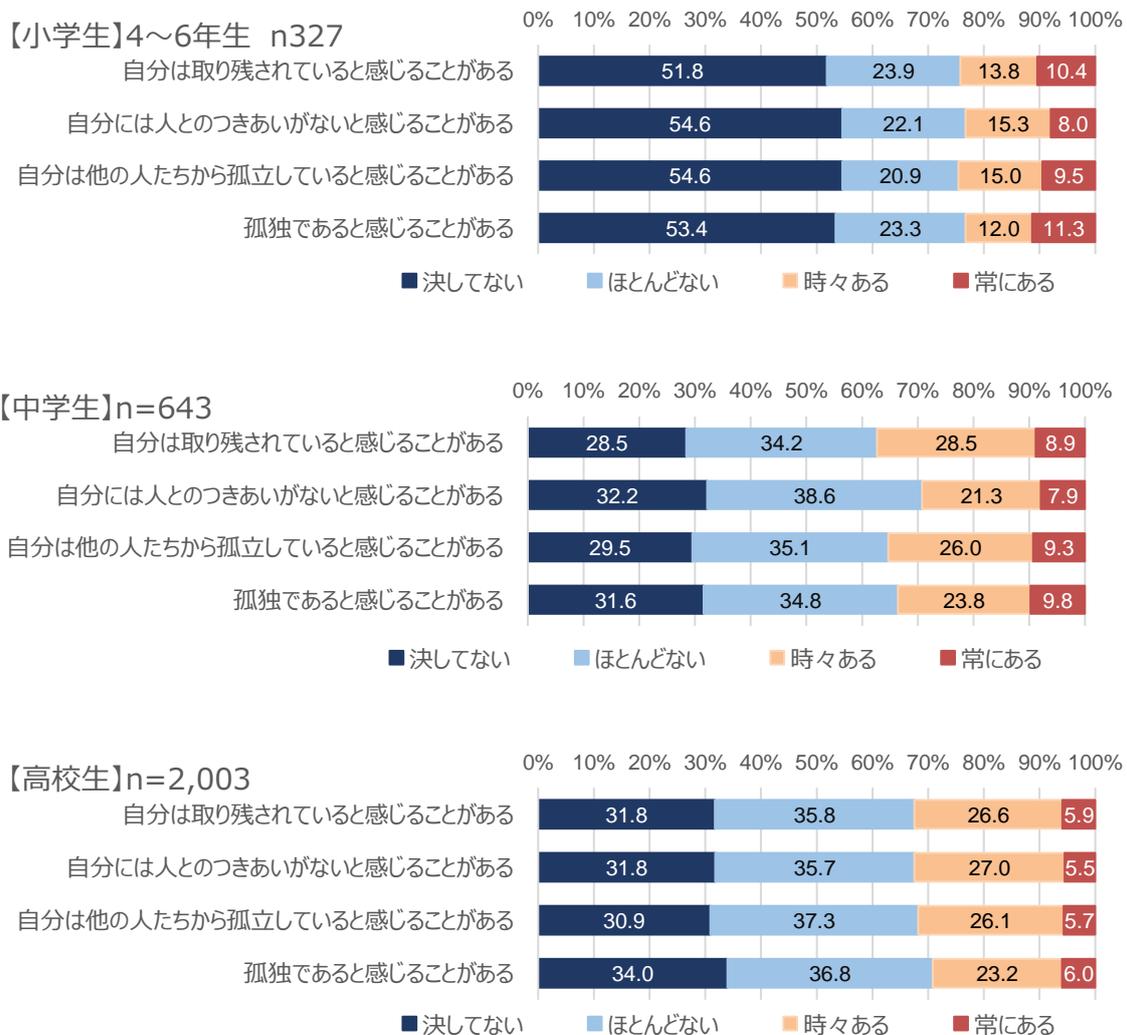
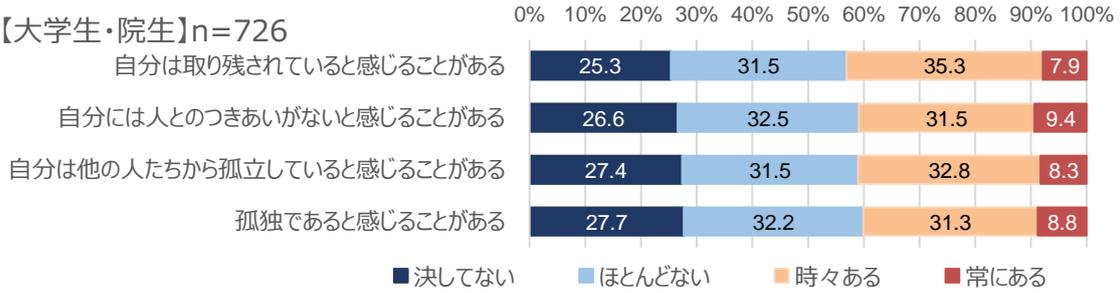


図 2-26-1 日々の生活の感じ方（孤独感等）（%）【全体】

【大学生・院生】n=726



【保護者】全合計 n=1,713

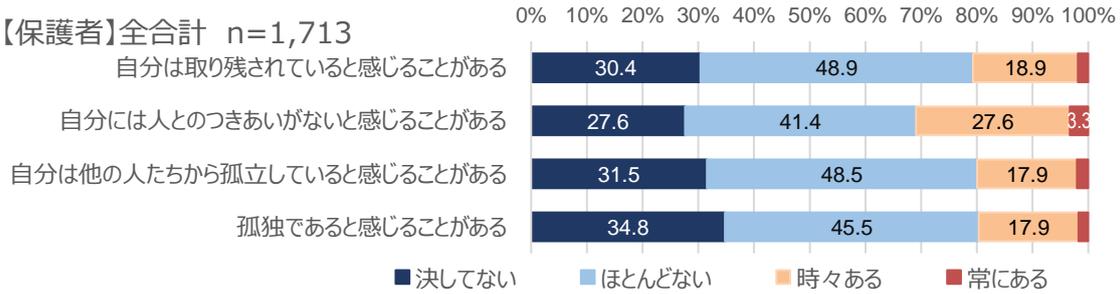


図 2-26-2 日々の生活の感じ方（孤独感等）（%）【全体】（続き）

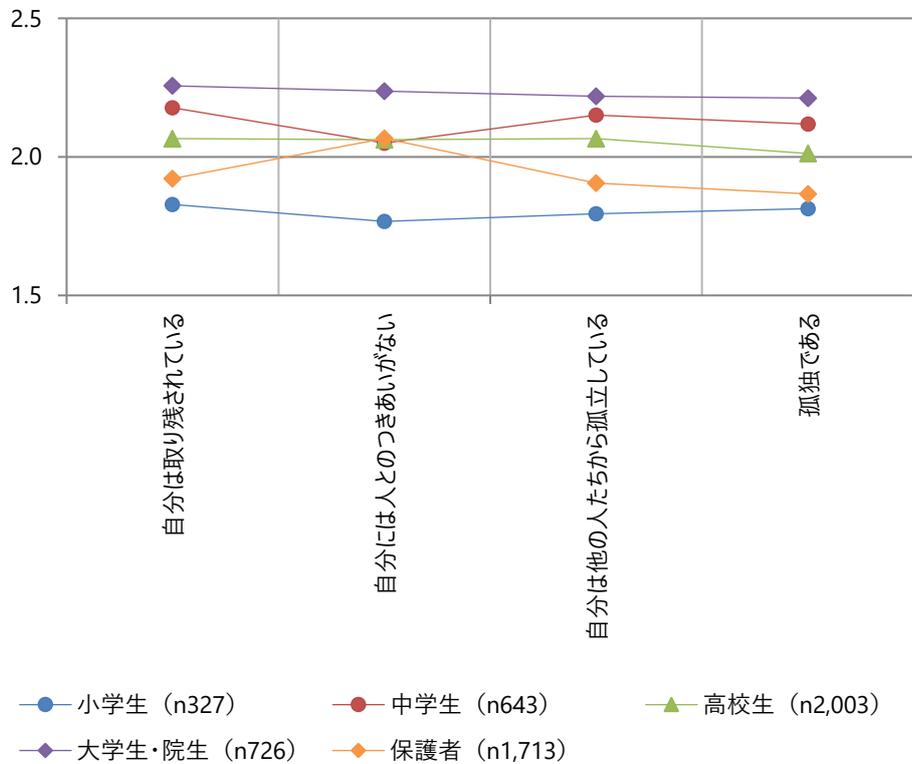


図 2-27 日々の生活の感じ方（孤独感等） 対象者層別平均点

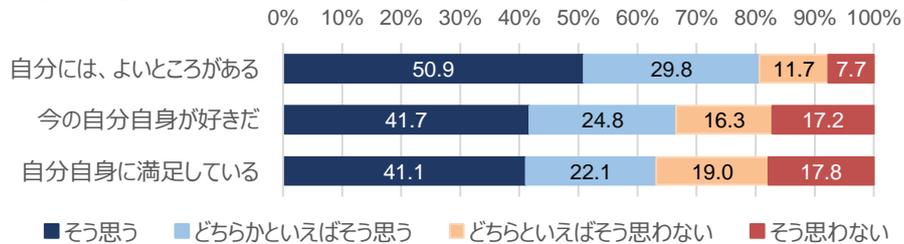
(3) 自己肯定感

自己肯定感について3項目をあげ、自分自身にどの程度あてはまるかを、小学生、中学生、高校生、大学生・院生および保護者に対して同様に4件法で聞いた。結果を図2-28に示す。また、対象者別の結果比較のため、「そう思う」を4点、「そう思わない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを図2-29に示す。

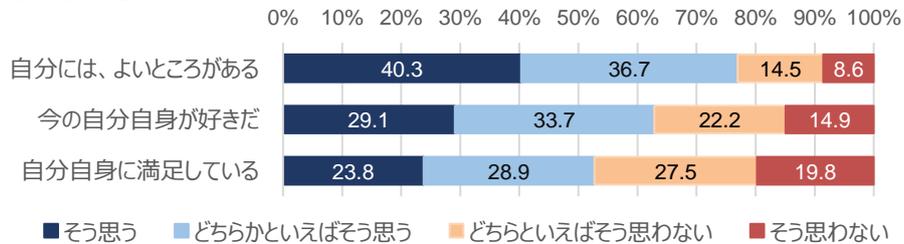
いずれの対象者層においても、肯定的回答の割合がもっとも高いのは「自分にはよいところがある」であり、否定的回答は2割前後と少ない。次いで、「今の自分自身が好きだ」「自分自身に満足している」と続くが、この傾向も対象者層を問わず一貫している。

対象者層による違いも概ね一貫している。自己肯定感が比較的高いのは小学生と保護者であり、低い傾向があるのは中学生等である。「自分自身に満足している」については、満足感が比較的高い層（小学生、保護者）と低い層（中学生、高校生、大学生・院生）に分かれた。

【小学生】4～6年生 n327



【中学生】n=643



【高校生】n=2,003

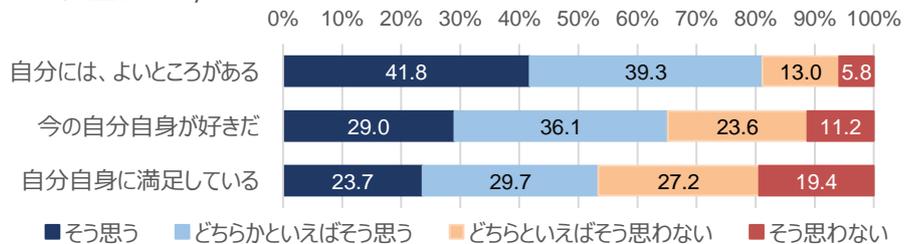
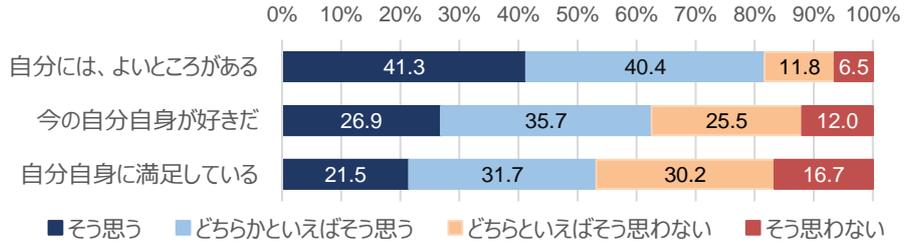


図 2-28-1 自己肯定感 (%)【全体】

【大学生・院生】n=726



【保護者】全合計 n=1,713

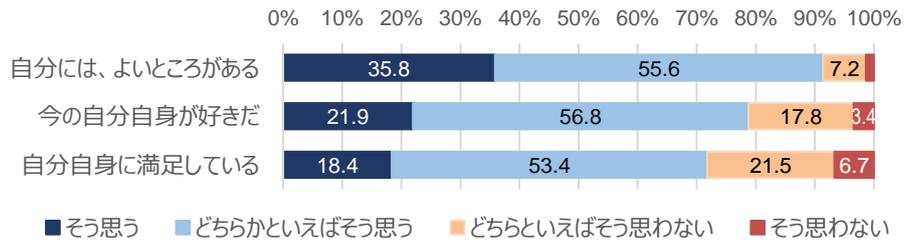


図 2-28-2 自己肯定感 (%) 【全体】 (続き)

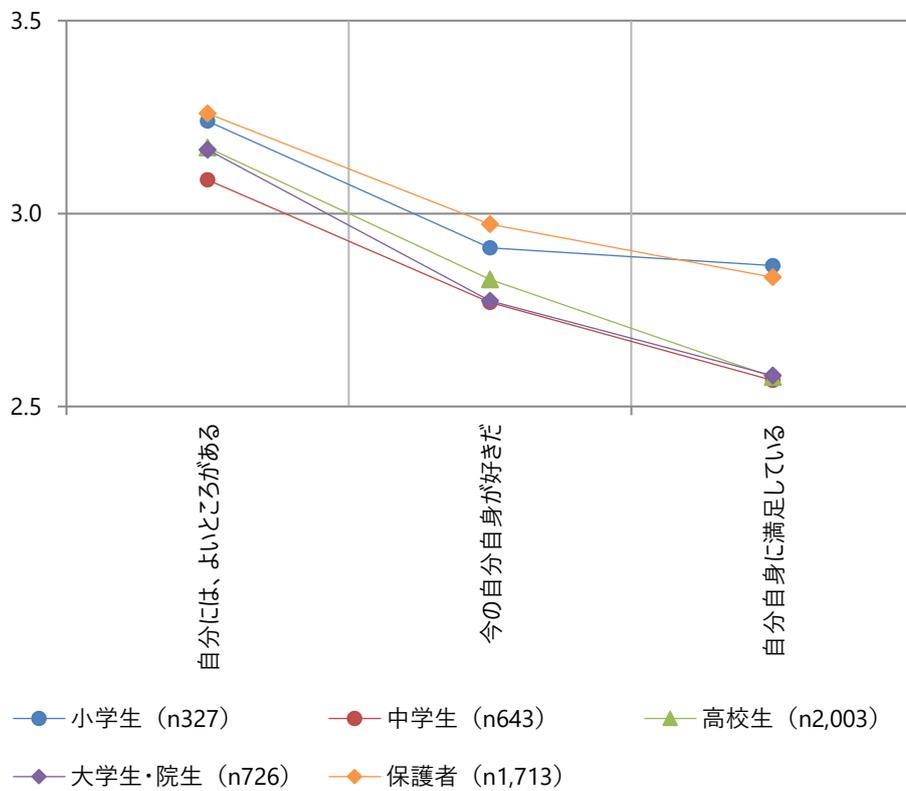


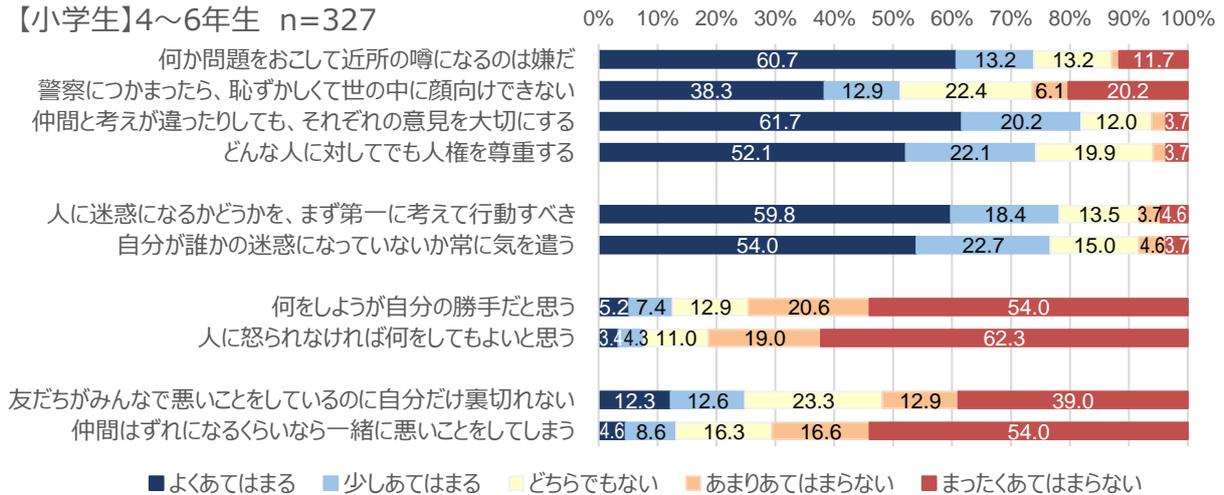
図 2-29 自己肯定感 対象者層別平均点

(4) 行動基準

街中や電車の中などで行動するときの考え方を、小学生、中学生、高校生、大学生・院生、保護者に対して同様に5件法で聞いた。結果を図2-30に示す。

どの対象者層においても、問題を起こすことや警察につかまるとを嫌う、異なる意見も大切にし人権を尊重する、人の迷惑になることを嫌い気を遣うといった項目については「あてはまる」側の回答がいずれも過半数であり、「あてはまらない」側は少数であった。何をしようが勝手だと思う、悪事でも仲間に合わせてしまうといった項目についてはその逆であり、「あてはまる」側の回答は少ない。

【小学生】4～6年生 n=327



【中学生】n=643

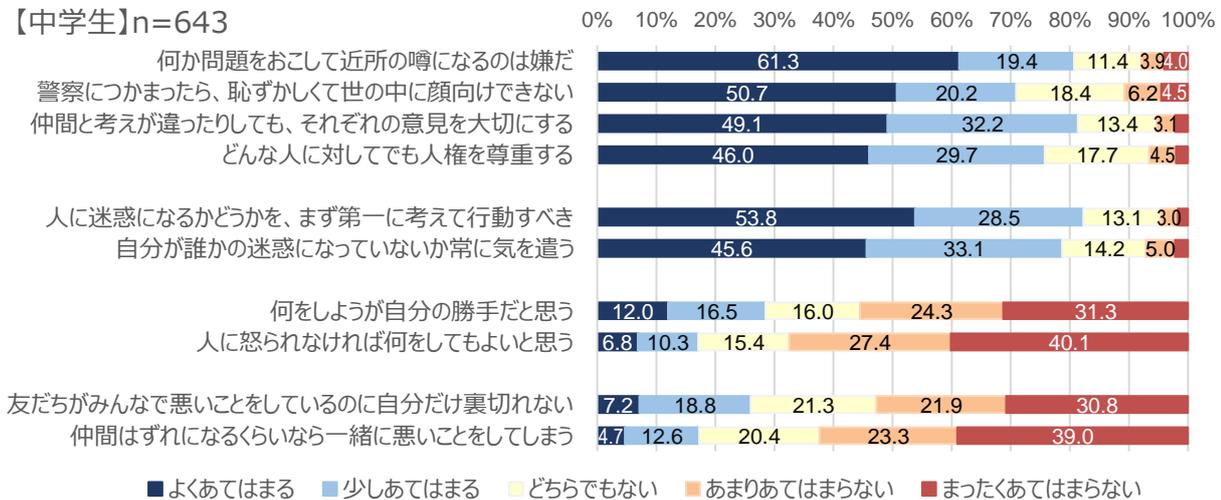
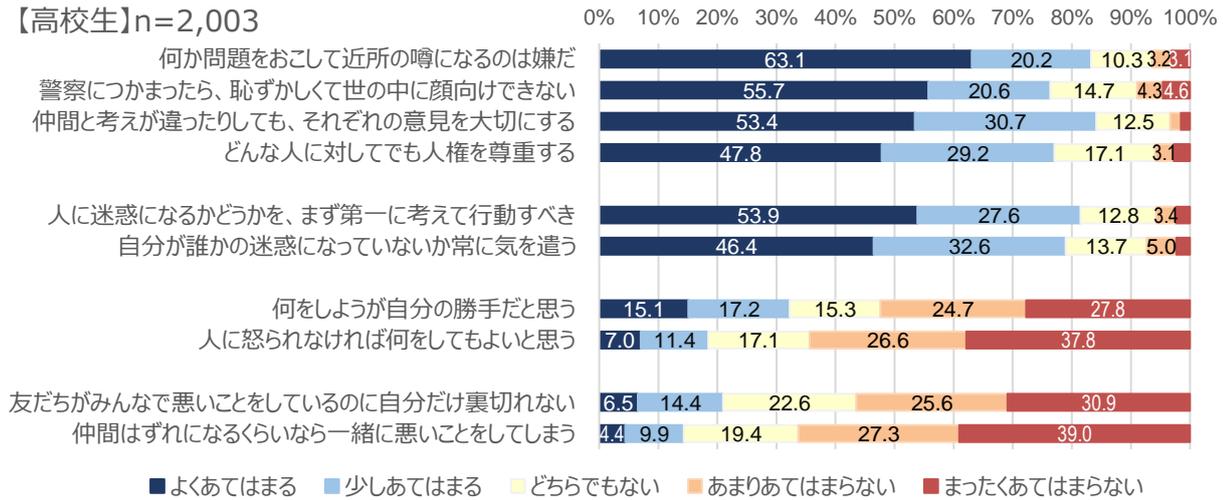
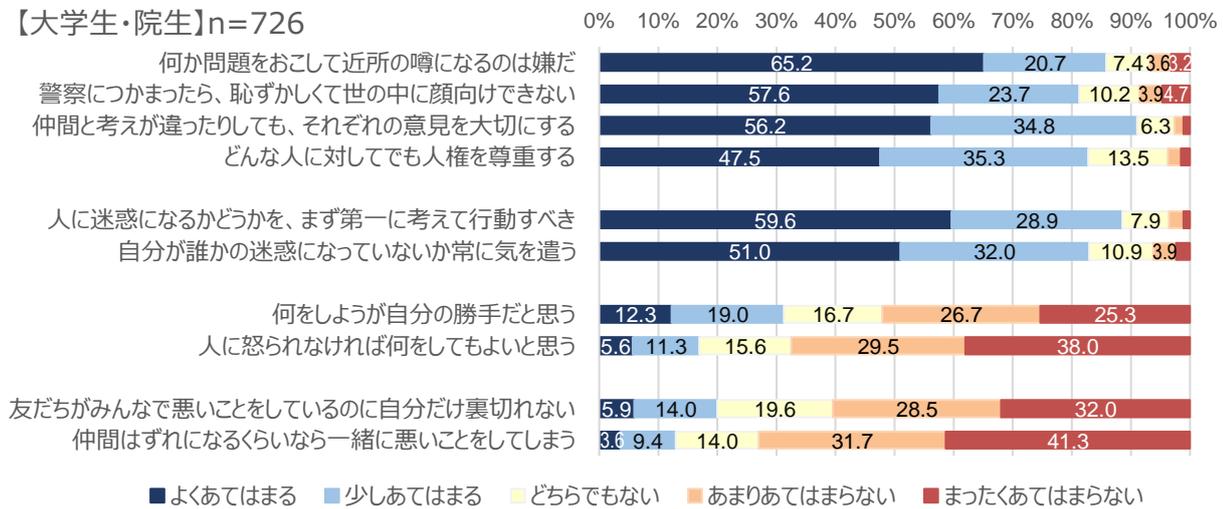


図 2-30-1 行動基準 (%)【全体】

【高校生】n=2,003



【大学生・院生】n=726



【保護者】全合計 n=1,713

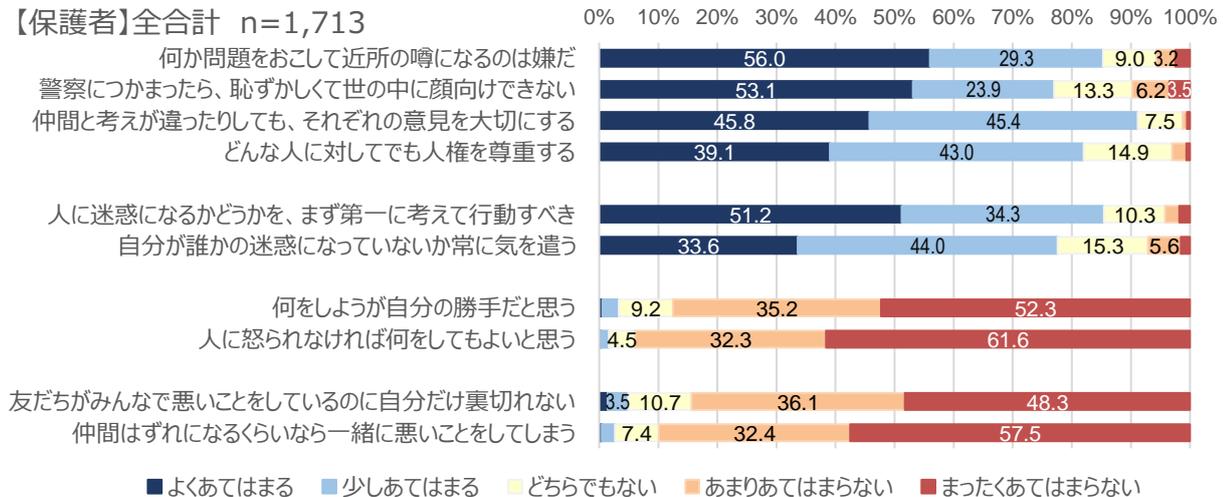


図 2-30-2 行動基準 (%)【全体】(続き)

対象者層別の結果を比較のため、「よくあてはまる」を5点、「まったくあてはまらない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを作成した（図2-31）。

図2-30 および2-31からは、中学生、高校生、大学生・院生の回答割合の傾向は非常に類似しているが、小学生、保護者は若干異なる傾向であることがわかる。

小学生は、「警察につかまったら、恥ずかしくて世の中に顔向けできない」といった意識は他の層に比べて低い。また、「何をしようが自分の勝手だと思う」「人に怒られなければ何をしてもよいと思う」という意識は、保護者同様、中高生や大学生に比べて低い。

保護者は、「何をしようが自分の勝手だと思う」「人に怒られなければ何をしてもよいと思う」、および「友だちがみんなで悪いことをしているのに自分だけ裏切れない」「仲間はずれになるくらいなら一緒に悪いことをしてしまう」という意識が、他の層に比べて顕著に低い。

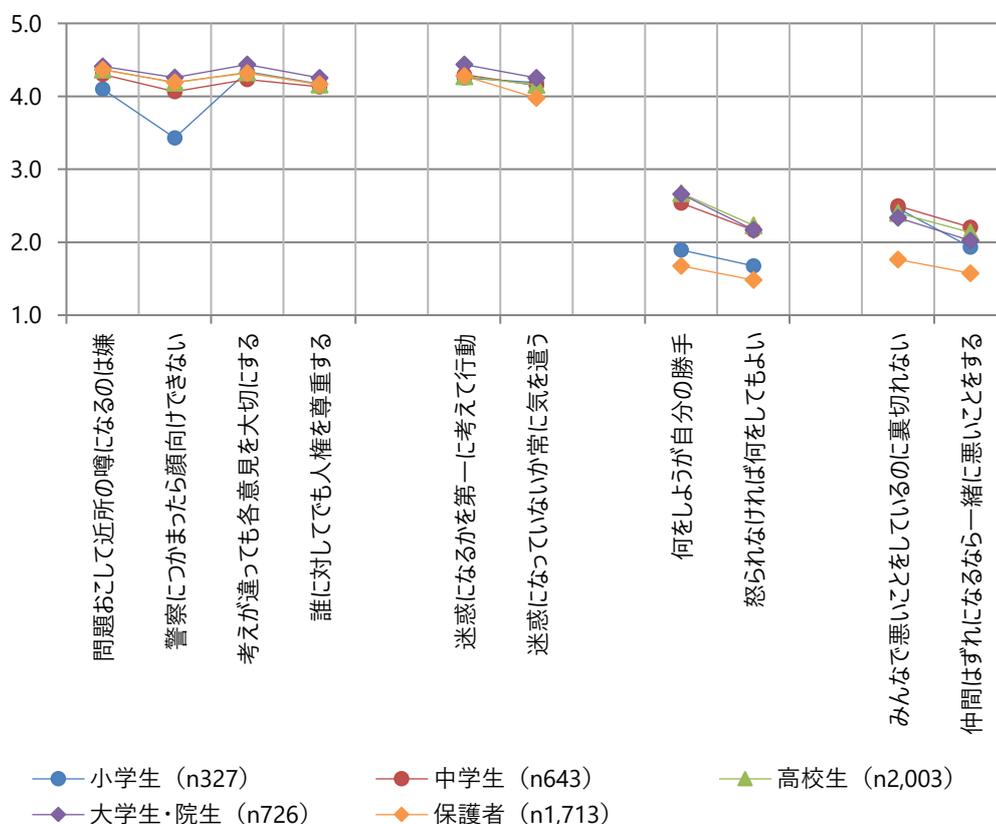


図2-31 行動基準 対象者層別平均点

2-4. 福祉

(1) ソーシャル・サポート

現在、自分を支えてくれる、励ましてくれる、話を聞いて認めてくれる人には誰がいるかを複数回答可で聞いた結果を図 2-32 に示す。選択肢は、小学生から大学生・院生までは共通であり、保護者のみ若干異なる。

小学生から大学生・院生まででどの層でももっとも多いのは「友だち」であり、いずれも 8 割前後である。小学生と高校生では「母」も「友だち」と並んでもっとも多い。父、祖父母、学校の先生、塾の先生は、小学生でもっとも多く、次いで高校生、中学生、大学生・院生の順である。一方、保護者層でもっとも多いのは「配偶者」、次いで「友だち」「実の母」であり、いずれも 6 割を超える。

「SNS の知り合い」はいずれの層も少ないが、児童・生徒等と保護者に差がみられた項目である。小学生、中学生、高校生、大学生・院生では 10%前後のところ、保護者は 1.7%とほとんどいない。保護者も含め、いずれの層も 5%もいないのは「心理カウンセラー」「医療や福祉で働く人」、および「そういう人はいない」である。

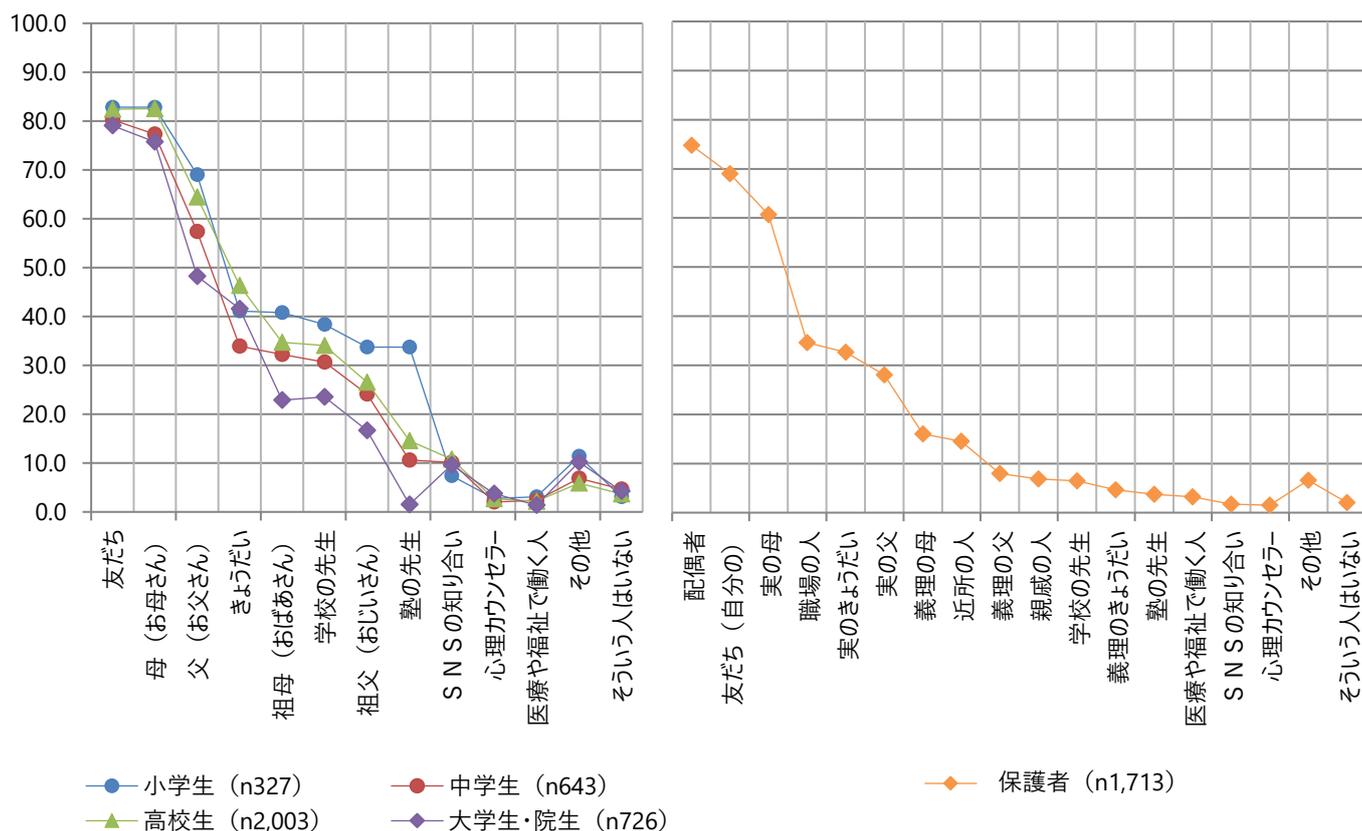


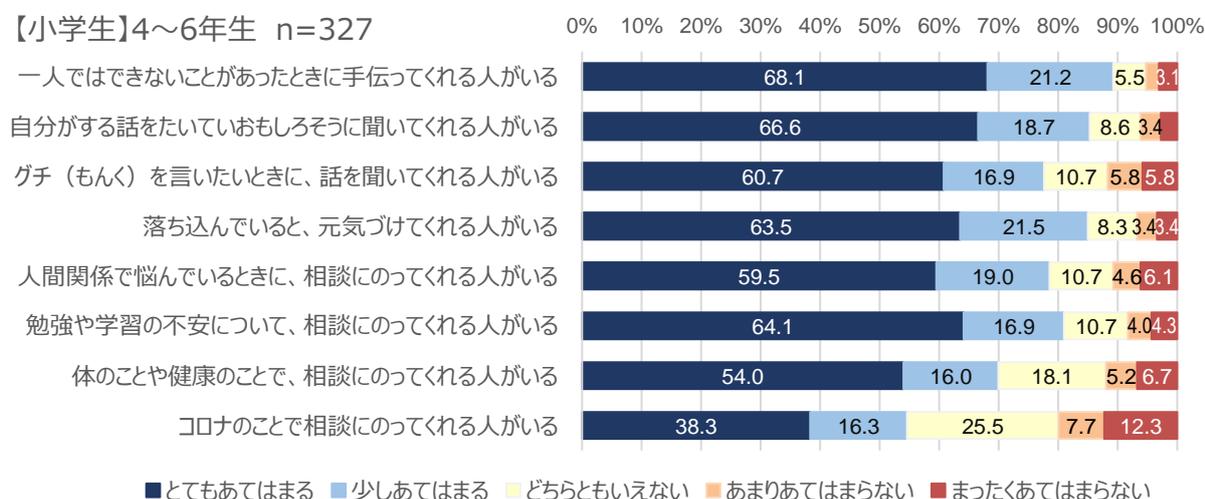
図 2-32 自分を支えてくれる、励ましてくれる、話を聞いて認めてくれる人 (%)【全体】(複数回答可)

ソーシャル・サポートに関する項目8項目をあげ、自分自身にどの程度あてはまるかを、小学生、中学生、高校生、大学生・院生および保護者に対して同様に5件法で聞いた。結果を図2-33に示す。また、対象者別の結果比較のため、「とてもあてはまる」を5点、「まったくあてはまらない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを図2-34に示す。

いずれの対象者層においても、どの項目も「とてもあてはまる」が最多であった。いずれの層も、もっとも肯定的回答が多かったのは「一人ではできないことがあったときに手伝ってくれる人がいる」「自分がする話をたいていおもしろそうに聞いてくれる人がいる」「グチ（もんく）を言いたいときに、話を聞いてくれる人がいる」等で、比較的少ないのは「コロナのことで相談にのってくれる人がいる」である。

対象者層による違いは少ない。全体的に、肯定的回答が少ない傾向があるのは中学生、若干多めであるのは高校生といった程度である。なお、小学生では「私にはグチ（もんく）を言いたいときに、話を聞いてくれる人がいる」に対する肯定的回答が若干少なめである。

【小学生】4～6年生 n=327



【中学生】n=643

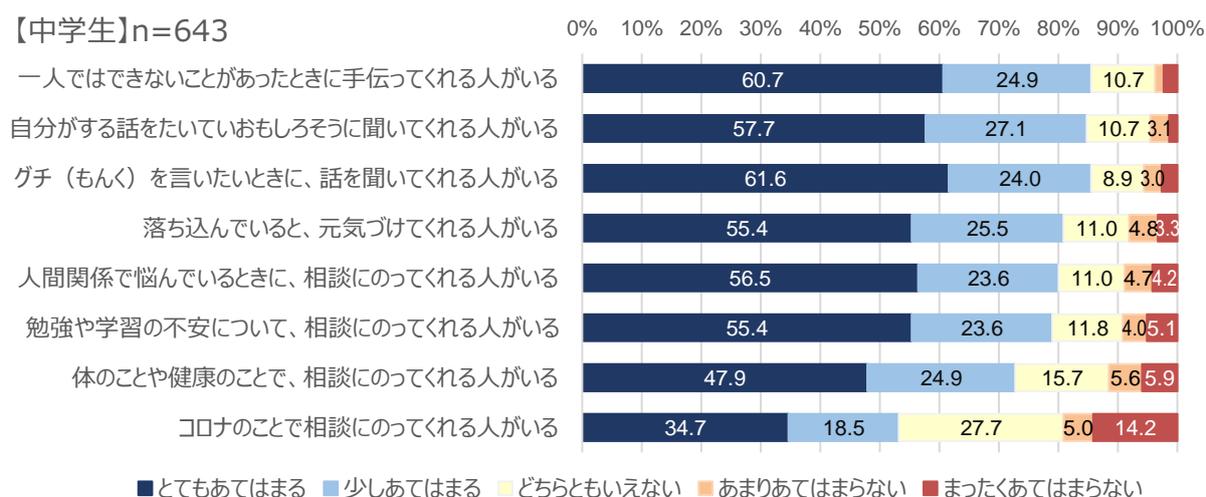
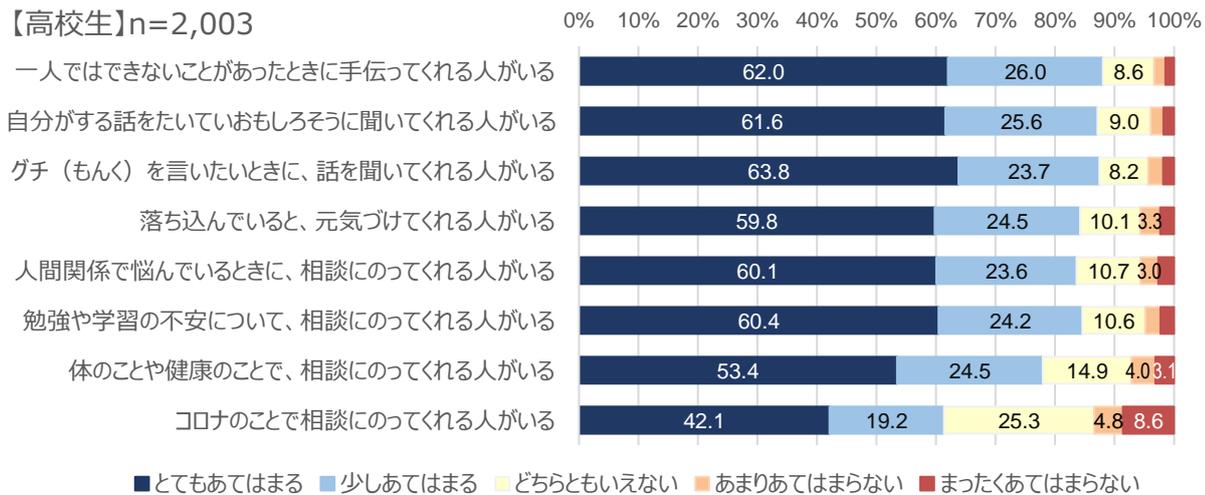
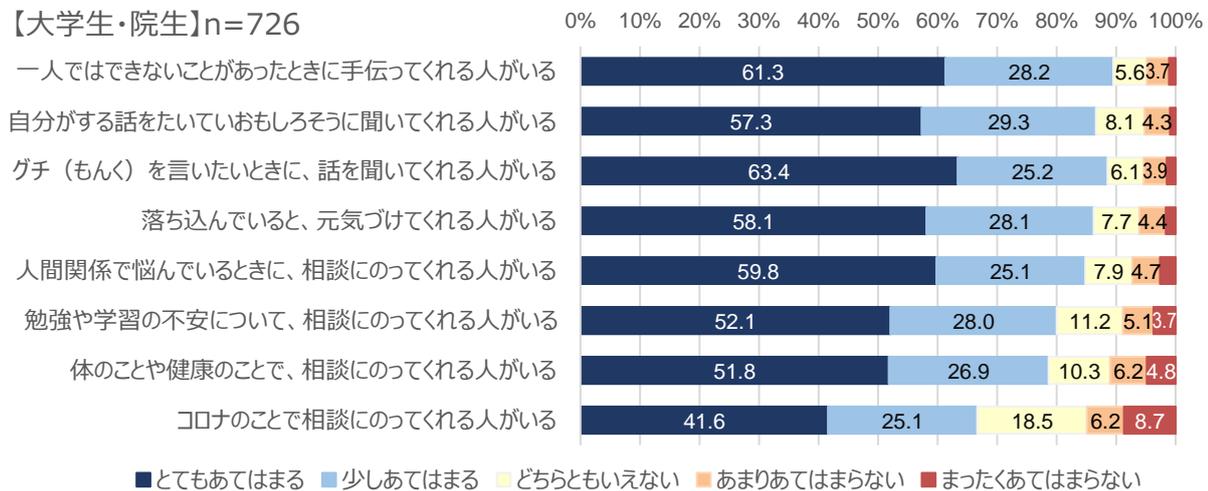


図 2-33-1 ソーシャル・サポート (%) 【全体】

【高校生】n=2,003



【大学生・院生】n=726



【保護者】全合計 n=1,713

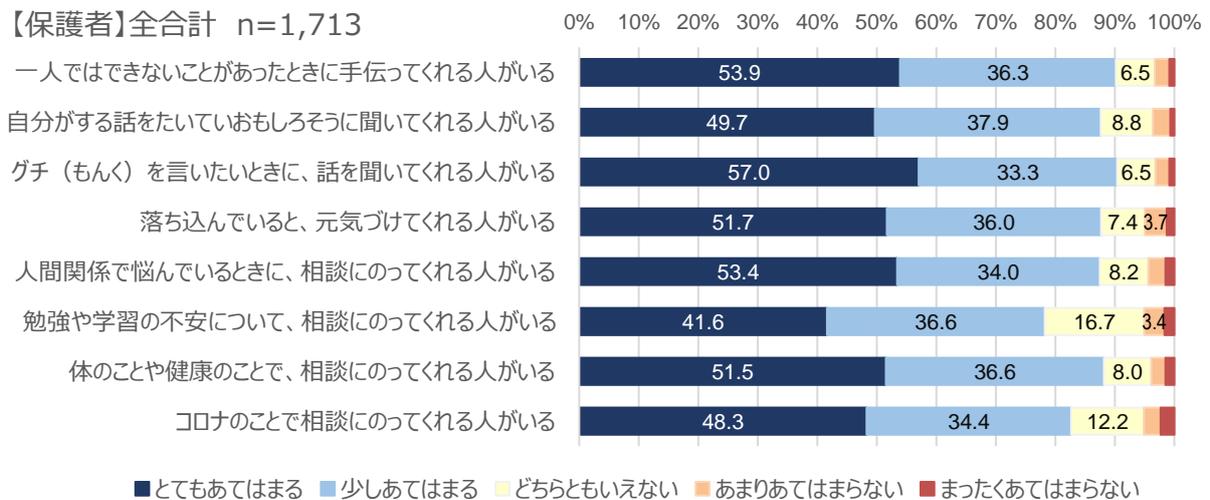


図 2-33-2 ソーシャル・サポート（%）【全体】（続き）

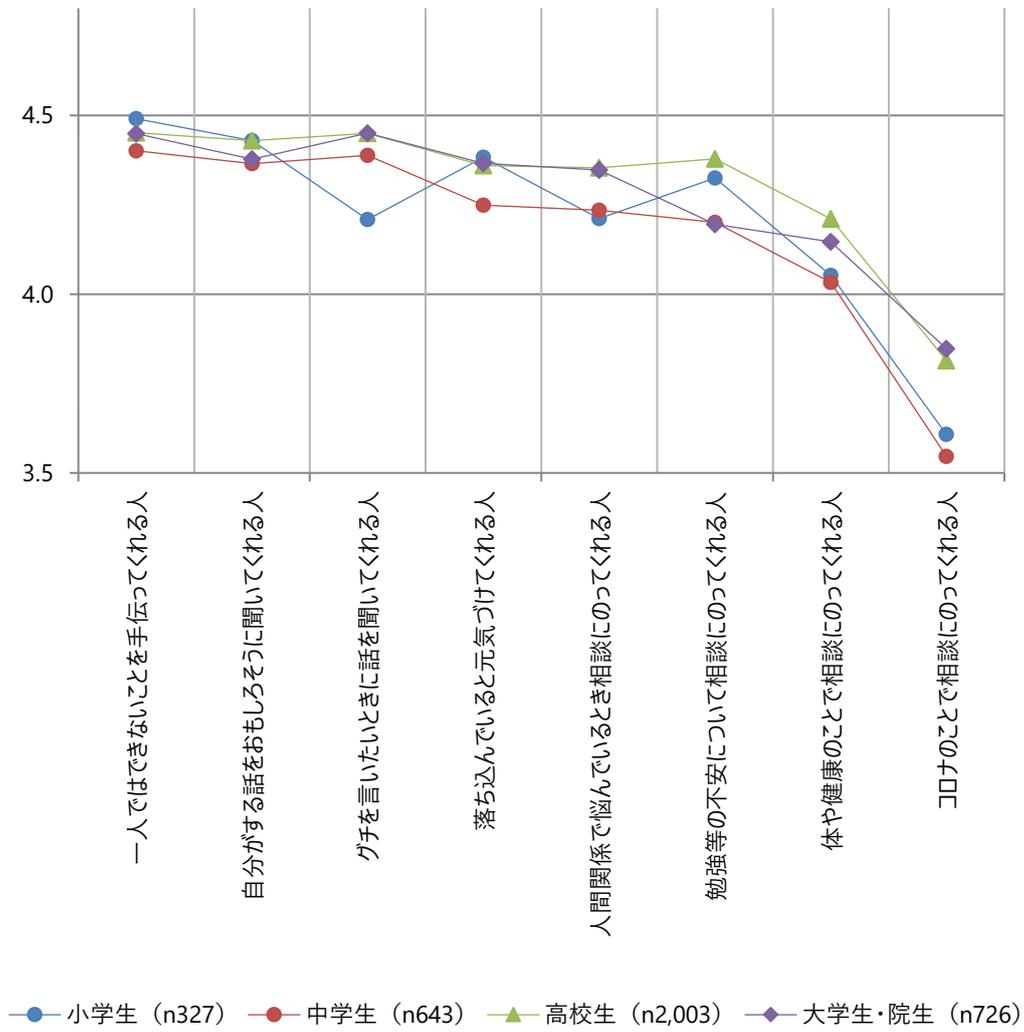


図 2-34 ソーシャル・サポート 対象者層別平均点

(2) 大乘仏教

「悩んだときに、大乘仏教の精神、仏教の教えが役に立つことがある」という項目について、自分自身にどの程度あてはまるかを、小学生、中学生、高校生、大学生・院生および保護者に対して同様に5件法で聞いた結果を図2-35に示す。

「あてはまる」側の回答が過半数であり、肯定的回答割合がもっとも高かったのは小学生である。次いで高かったのは中高生であり、もっとも少なかったのは大学生・院生であった。

保護者は、子どもが幼稚園なのか高校生なのか等によって回答割合が異なっていた。肯定的回答割合がもっとも高かったのは小学生の保護者、次いで幼稚園児の保護者である。中学生、高校生の保護者は、中高生と同様に肯定的回答の割合が低い。

保護者と児童・生徒との大きな違いは、「あてはまらない」側の否定的回答の割合である。この割合は、中学生、高校生、大学生・院生では過半数であるのに対し、保護者は3割前後と少なく、その分と「どちらともいえない」が多かった。

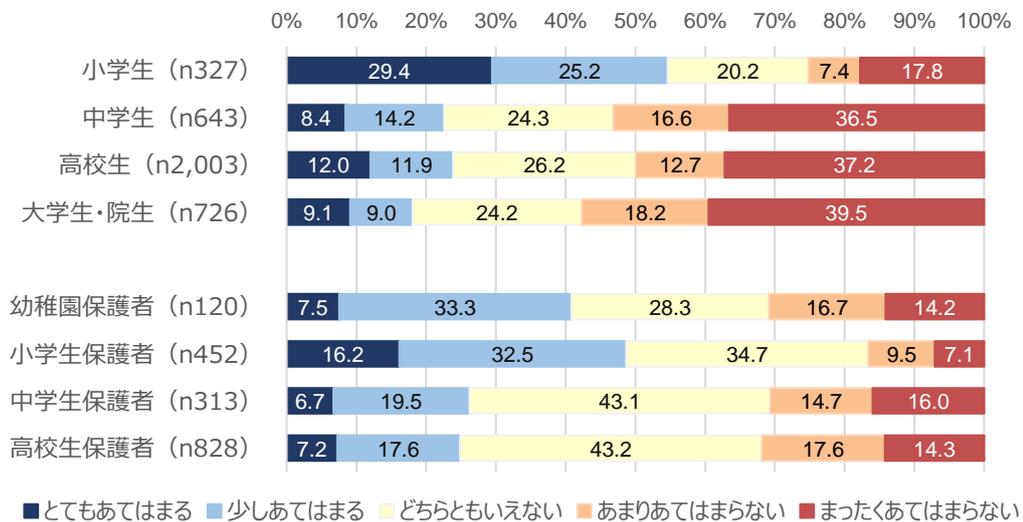


図 2-35 悩んだときに、「大乘仏教の精神」、「仏教の教え」が役に立つことがある (%) 【全体】

2-5. 教育

(1) 生活習慣（動画視聴時間、テレビゲーム時間）

小学生、中学生、高校生、大学生・院生に対し、1日のうちの動画の視聴時間やゲームの時間について尋ねた結果を図2-36および2-37に示す。

動画の視聴時間は、大学生・院生でもっとも長い人が多く「1日3時間以上」は33.3%となった。小学生がもっとも短く、次いで高校生、中学生の順だが、高校生と中学生ではあまり変わりはない。

テレビゲームで遊ぶ時間は、どの層も「ほとんどしない」が最多であった。もっともテレビゲームで遊んでいないのは高校生である。

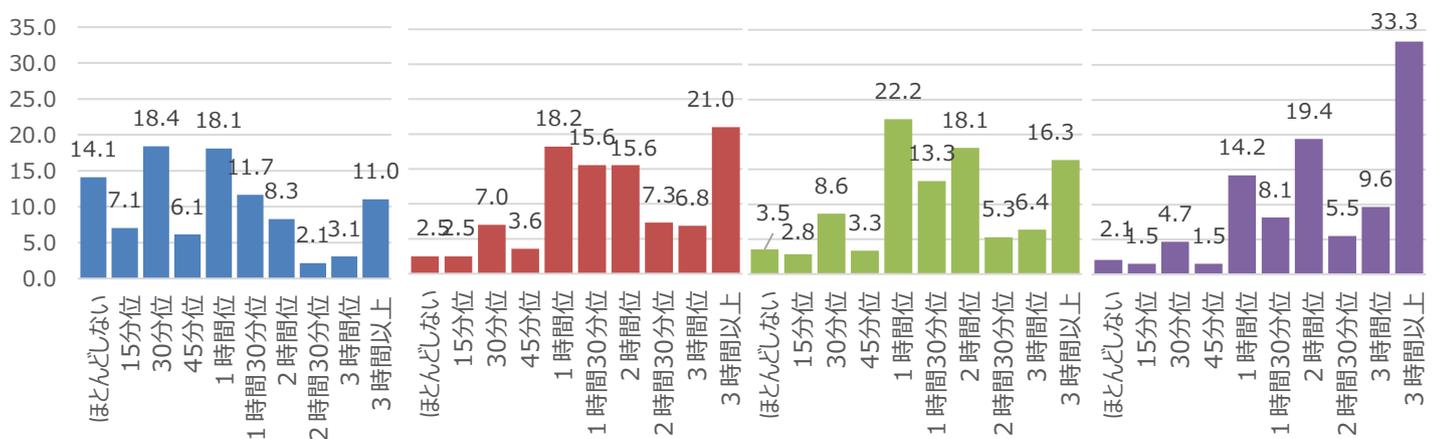


図 2-36 テレビ、DVD、YouTube などを見る時間／日 (%)【小学生、中学生、高校生、大学生・院生】

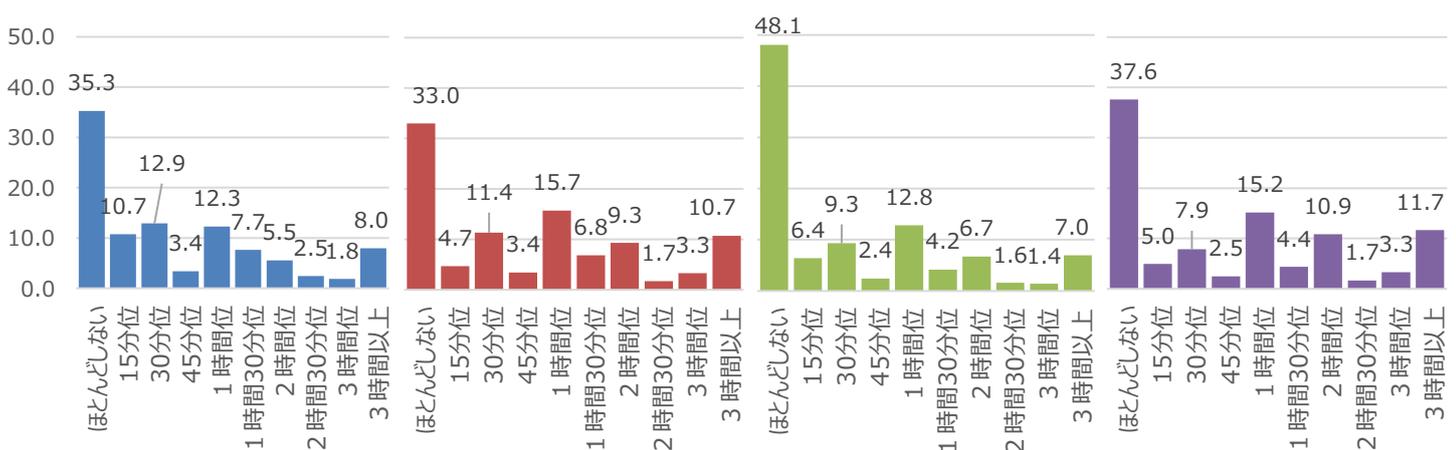


図 2-37 テレビゲームで遊ぶ時間／日 (%)【小学生、中学生、高校生、大学生・院生】

(2) 文化資本

小学生、中学生、高校生、大学生・院生に対し、家の状況等について複数回答可で聞いた結果を図2-38に示す。なお、小学生の調査票は一部異なっており、「この1カ月のあいだに親に勉強を見てもらったことがある」は小学生だけにあり、「小さい頃、よく本を読んでもらった」は小学生だけにはない選択肢である。

「自分ひとりの勉強部屋をもっている」および「社会のできごとやニュースについて親と話をする」以外の項目は全て、小学生においてもっとも「あてはまる」率が高い。次いで、中学生、高校生、大学生・院生の順である。「家の人は毎日決まった時間に起きる」「社会のできごとやニュースについて親と話をする」はいずれの対象者層においてもほぼ過半数が該当しており、層による差は小さい。

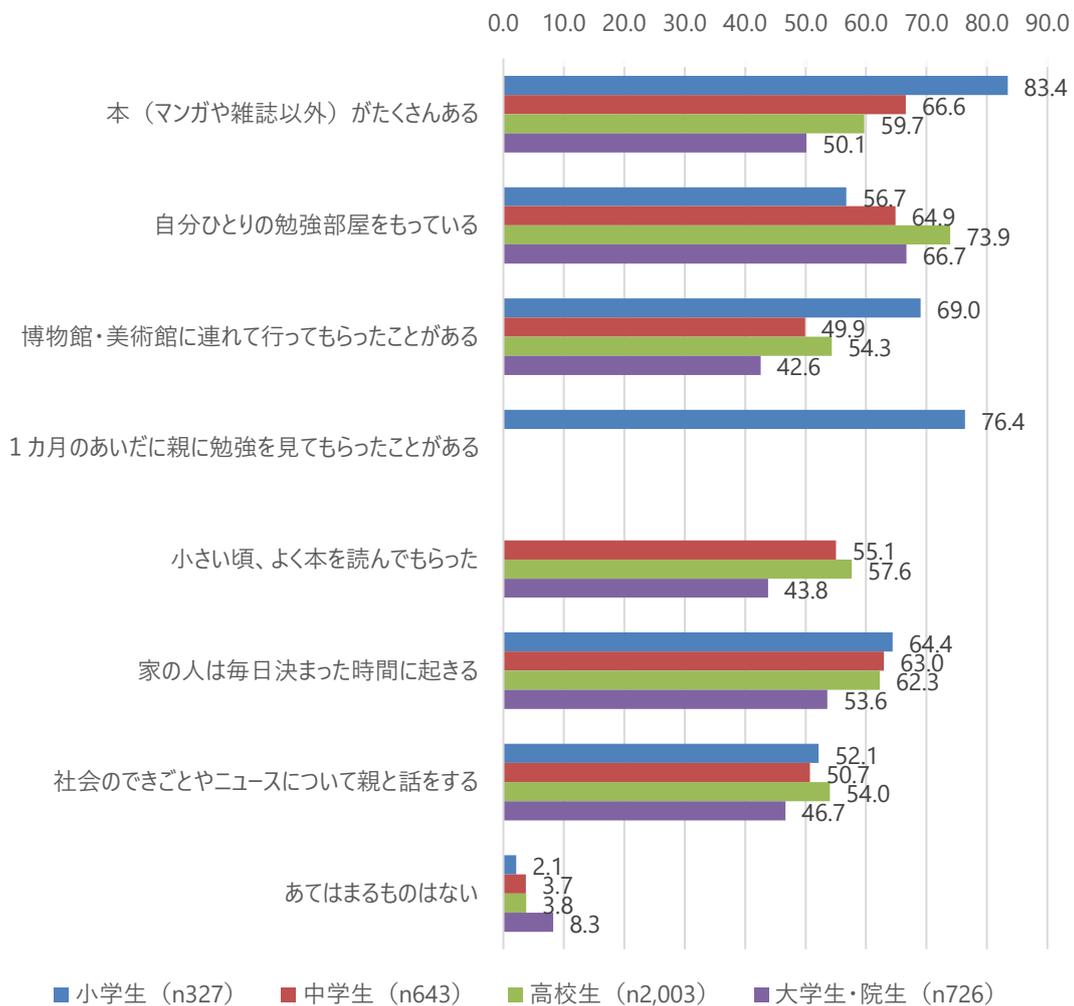


図 2-38 家について該当するもの (%) 【小学生、中学生、高校生、大学生・院生】

(3) 非認知能力

小学生、中学生、高校生、大学生・院生に対し、非認知能力に関わる9項目について5件法で聞いた結果を図2-39に示す。また、対象者別の結果比較のため、「とてもそう思う」を5点、「まったくそう思わない」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを図2-40に示す。

小学生は、すべての項目において肯定的回答が過半数を超える。比較的肯定的回答が少ないのは、「嫌なことがあっても、自分の感情をコントロールできる」「嫌な出来事があったとき、その問題を解決するために情報を集める」等である。

中学生と高校生は回答傾向が類似している。中高生は、小学生に比べると、上記の小学生が比較的苦手な項目と「つらいことでも我慢できる方だ」以外のすべての項目において、肯定的回答が少ない。とくに、社交性に関する項目や「決めたことは最後までやりとおすことができる」等で顕著である。

大学生は、小学生と同じく「努力をすることを大事にする方だ」等に対する肯定的回答が多い。また、中高生と同様に社交性に関する項目に対する肯定的回答は小学生よりも少ない。

保護者に対しては、自分の子どもの非認知能力について、「まったくこのとおり」から「まったくちがう」の5水準で聞いた。結果を図2-41に示す。また、学校種別ごとの結果比較のため、「まったくこのとおり」を5点、「まったくちがう」を1点として数値化した上で算出した平均点のグラフを図2-42に示す。

「自分のベストを尽くそうとする」「将来について、明るい面を言うことができる」等は幼稚園児や小学生の評価が高く、中学生の評価が低い、「大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる」等は年齢が高くなる程評価が高い等、学校種別ごとの特徴が表れている。

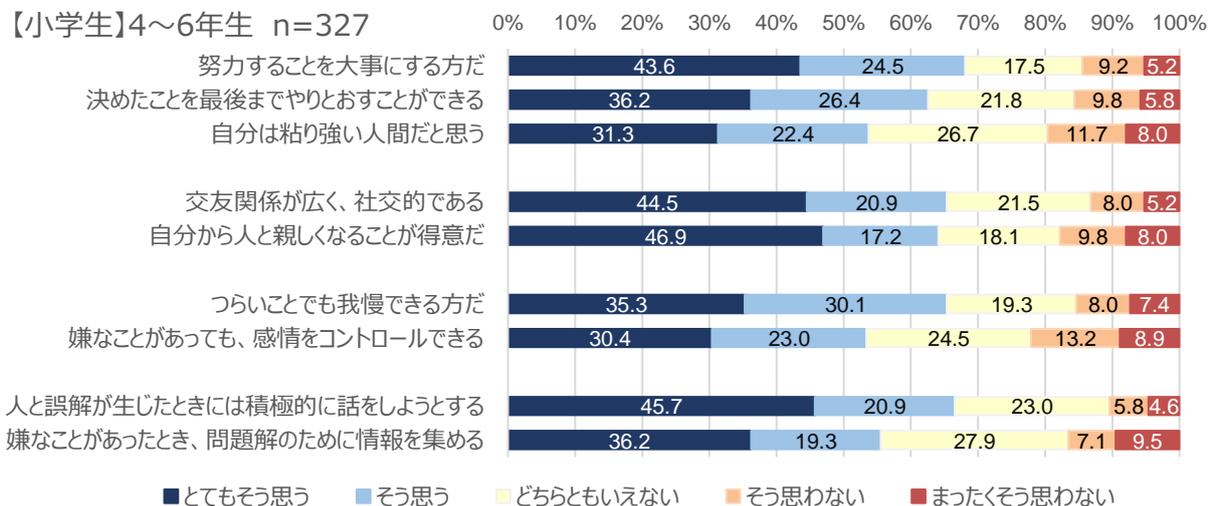
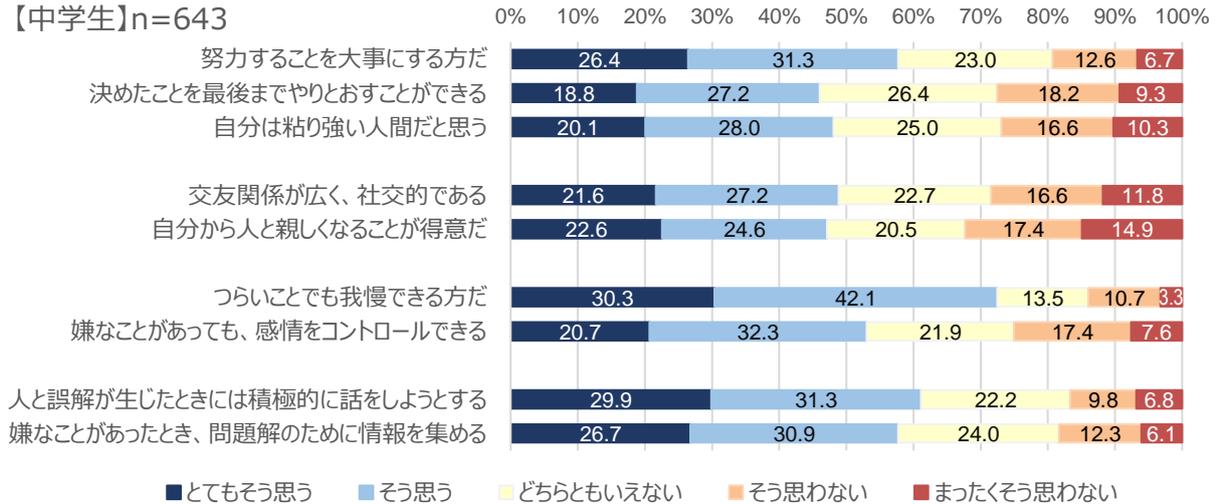
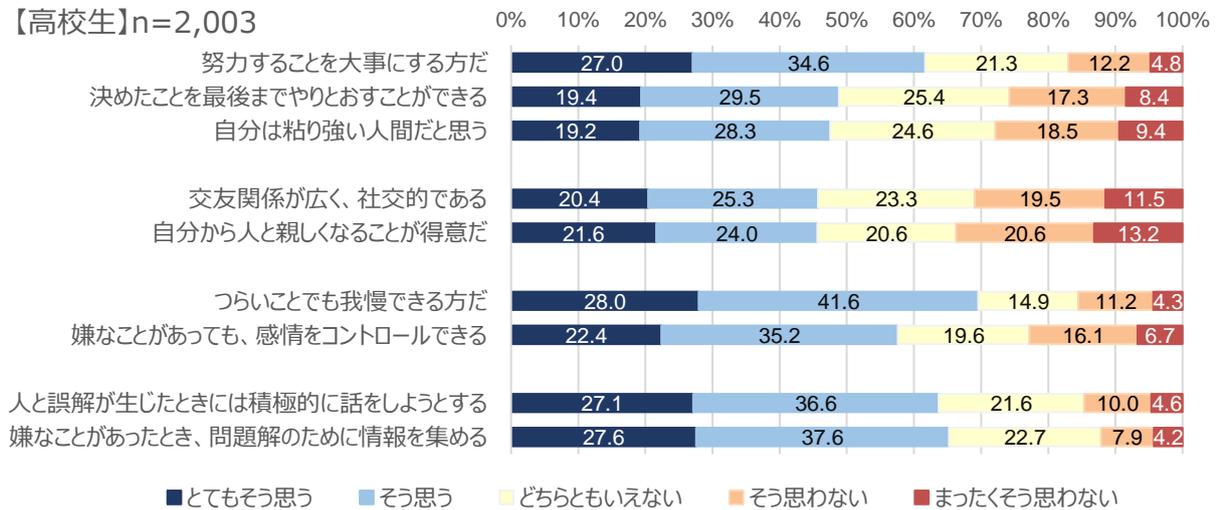


図 2-39-1 自身の非認知能力 (%)【小学生、中学生、高校生、大学生・院生】

【中学生】n=643



【高校生】n=2,003



【大学生・院生】n=726

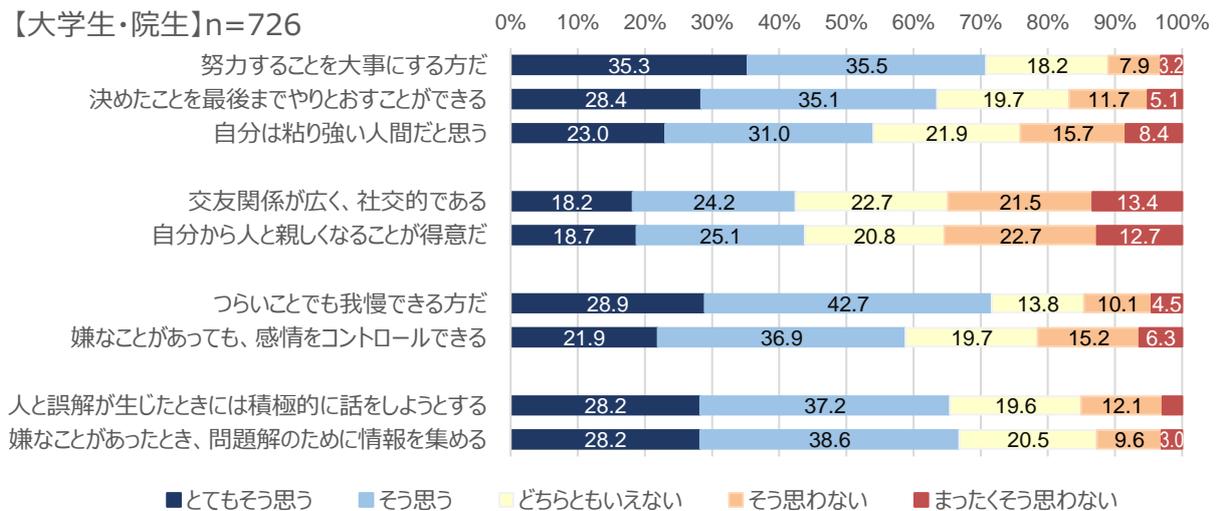


図 2-39-2 自身の非認知能力 (%)【小学生、中学生、高校生、大学生・院生】(続き)

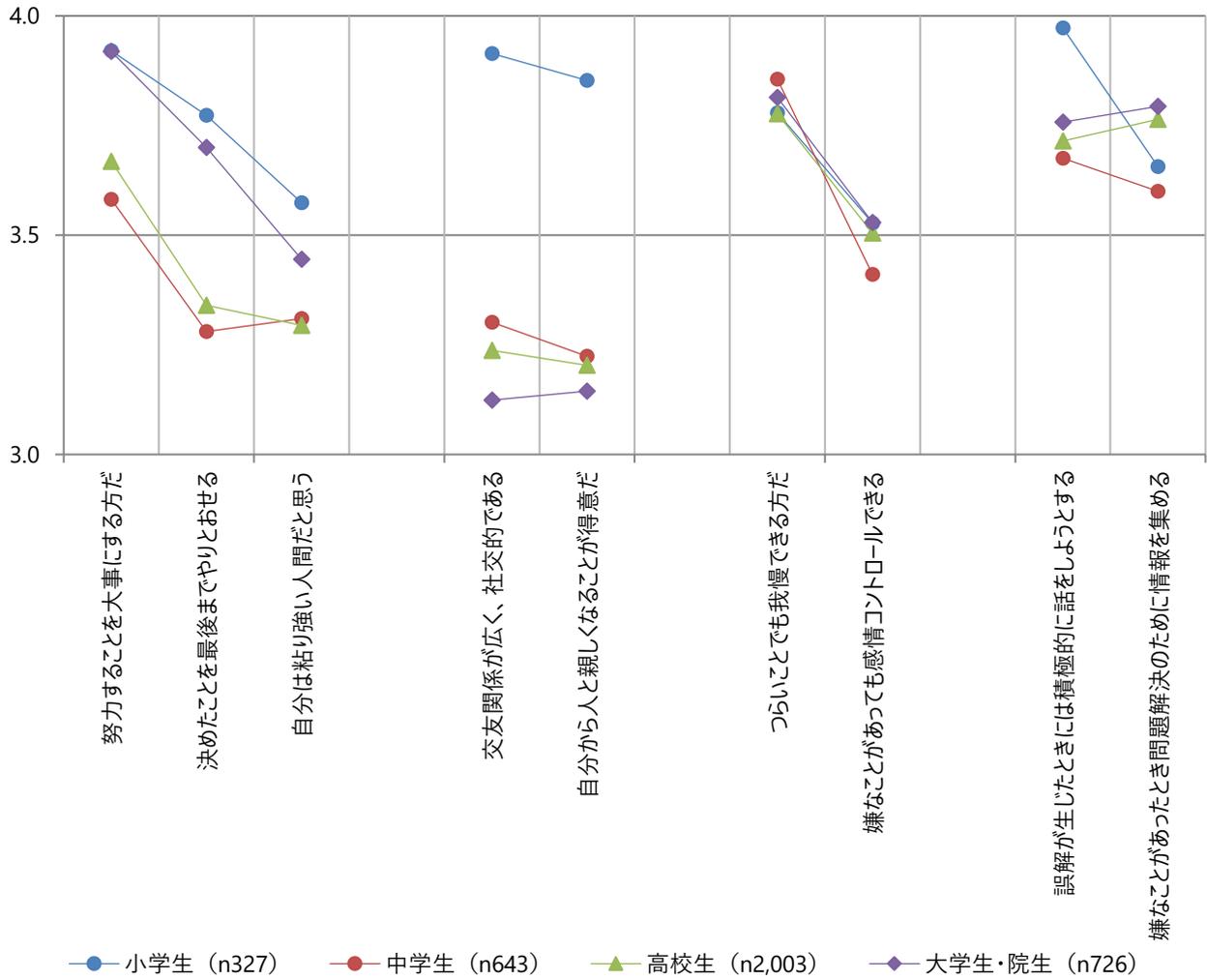


図 2-40 自身の非認知能力 対象者層別平均点

【幼稚園保護者】 n=120

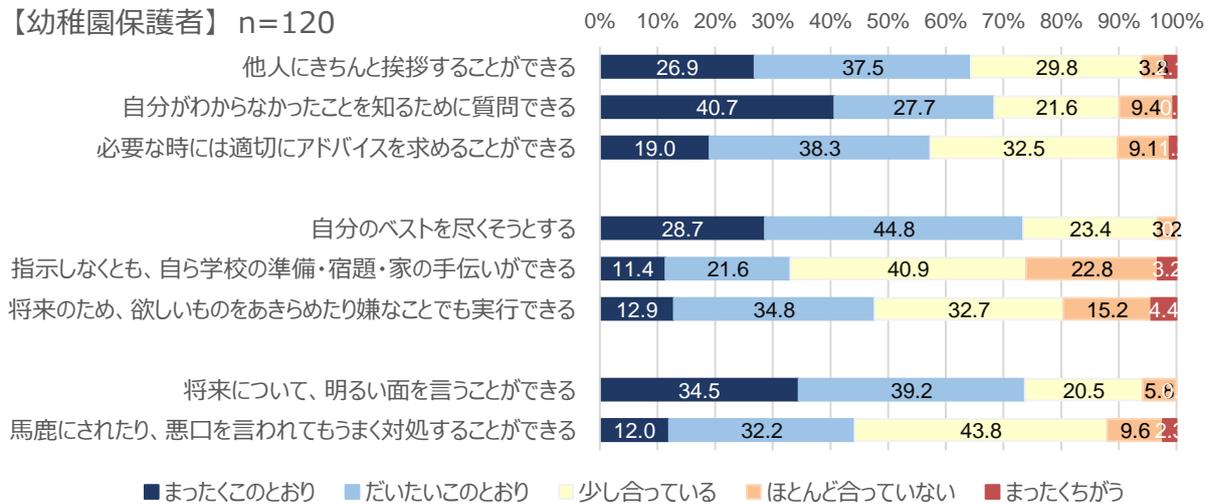
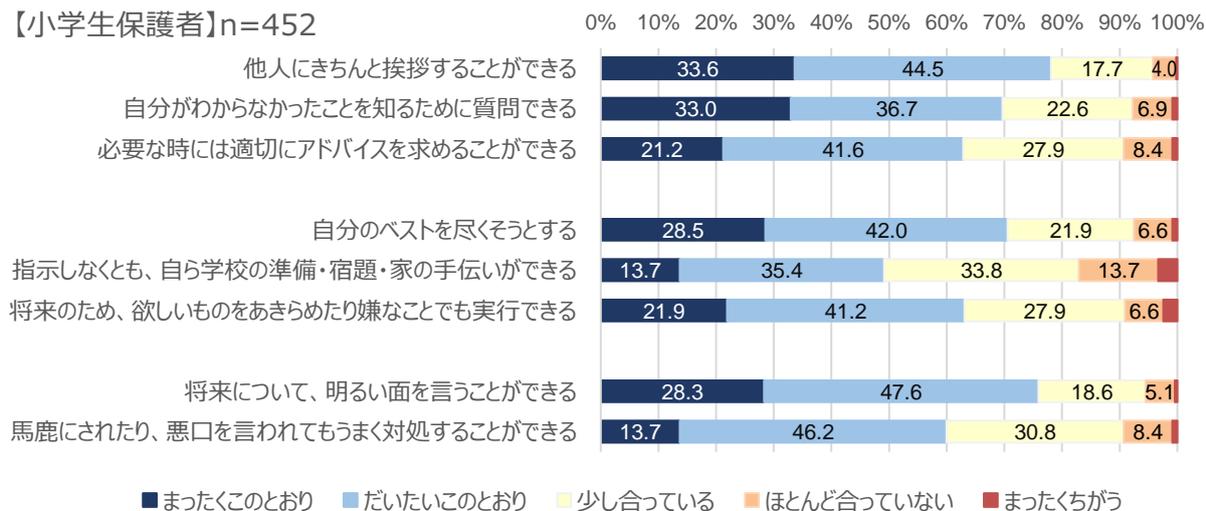
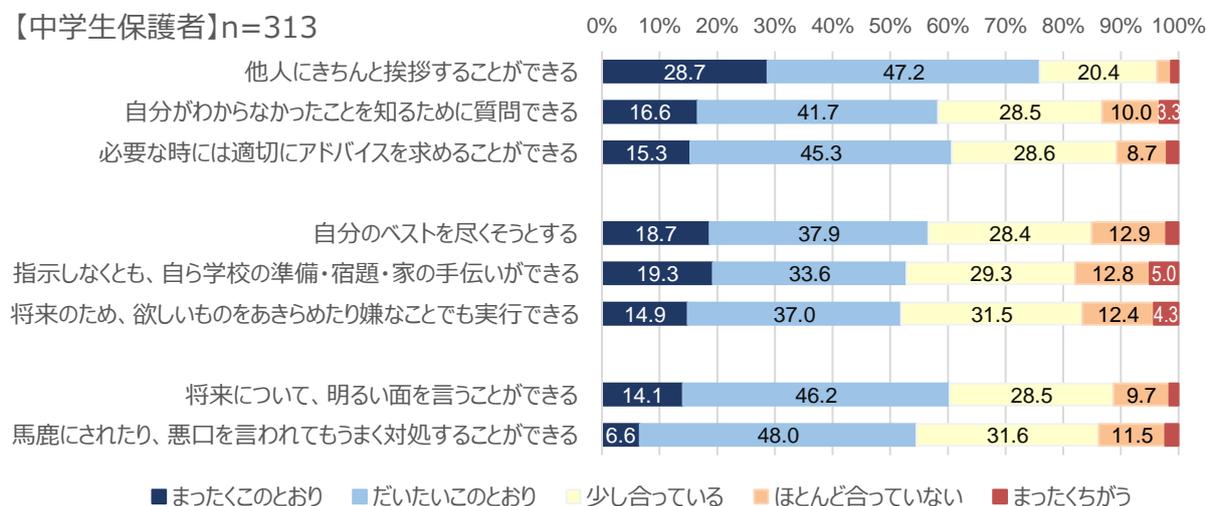


図 2-41-1 子どもの非認知能力 (%) 【保護者】

【小学生保護者】n=452



【中学生保護者】n=313



【高校生保護者】n=828

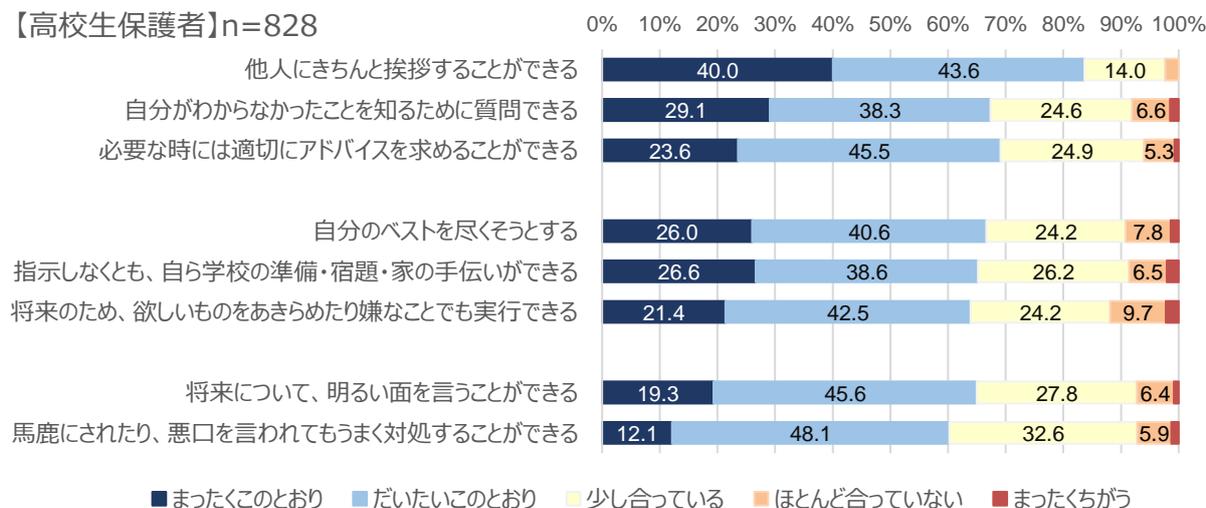


図 2-41-2 子どもの非認知能力 (%) 【保護者】 (続き)

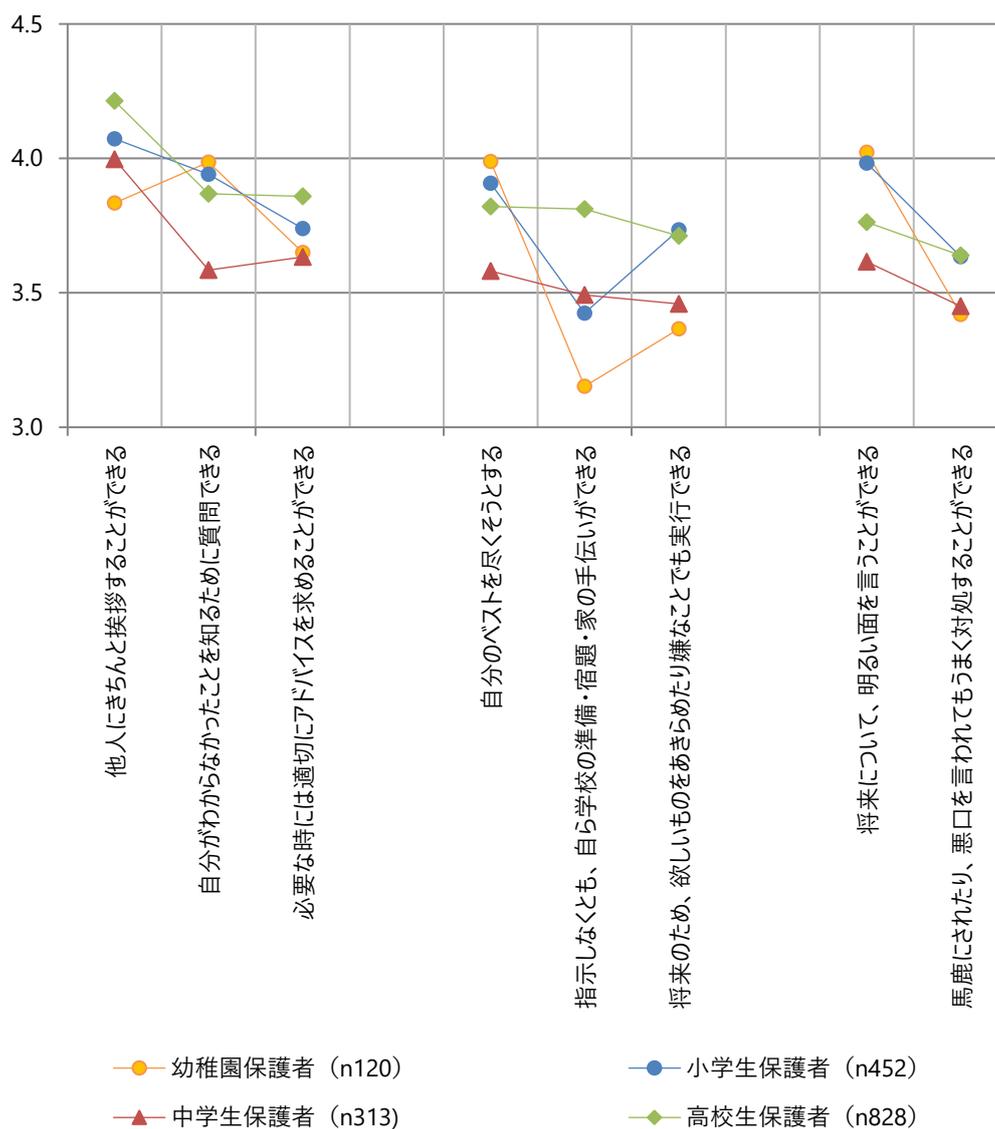


図 2-42 子どもの非認知能力 学校種別ごとの平均点【保護者】

3. 「第 1 回学園内調査」 調査票

(1) 小学生対象 調査票

アンケート画面開始

Page 1

Project on Human Development in Daijo Shukutoku Gakuen (PHDDSG)

— 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する意識調査第一回 —

◇ 実施期間

～2023年12月21日(木)23時59分まで

◇ 調査主体

大乗淑徳学園 学園内調査プロジェクト

<小学校用>アンケート

◇ アンケート調査への協力をお願いいたします。

Q1

このアンケート調査に参加する(同意する)かどうかを教えてください。

- 1 この調査に参加します(同意します)
- 2 この調査に参加しません(同意しません)

Page 2

FS1

はじめに、あなた自身のことを教えてください。

(1)あなたの学校を教えてください。

- 1 淑徳小学校である
- 2 淑徳小学校ではない

次へ

0 50 100(%)

FS2

(2)あなたが所属する^{しよぞく がくねん おし}学年を教えてください。

- 1 ^{しようがく ねん}小学1年
- 2 ^{しようがく ねん}小学2年
- 3 ^{しようがく ねん}小学3年
- 4 ^{しようがく ねん}小学4年
- 5 ^{しようがく ねん}小学5年
- 6 ^{しようがく ねん}小学6年

FS3

(3)あなたの^{おし}クラスを教えてください。

- 1 ^{くみ}1組
- 2 ^{くみ}2組
- 3 ^{くみ}3組

FS4

(4)あなたの^{しよつせきばんごう おし}出席番号を教えてください。

例)11のように「^{はんかくずうじ にゆうりやく}半角数字」で入 ^{れい}力してください

(※半角数字とは^{はんかくずうじ ぜんかくずうじ はんぶん おお}全角数字の半分の大きさの数字のことで)

^{ばん}番

FS5

(5)あなたの今日現在の^{まようげんざい ねんれい まんねんれい おし}年齢(満年齢)を教えてください。

(※^{まんねんれい}満年齢です。^{まんねんれい}満年齢とは、^{たんじょうび}すでにお誕生日がきている^{ねんれい}年齢です。)

例)10のように「^{はんかくずうじ にゆうりやく}半角数字」で入 ^{れい}力してください

^{さい}歳

FS6

(6)あなたの生まれた月を教えてください。
(満年齢をたしかめるためにおききます。)

- 1 ○ 4月
- 2 ○ 5月
- 3 ○ 6月
- 4 ○ 7月
- 5 ○ 8月
- 6 ○ 9月
- 7 ○ 10月
- 8 ○ 11月
- 9 ○ 12月
- 10 ○ 1月
- 11 ○ 2月
- 12 ○ 3月

FS7

(7)あなたの性別を教えてください。

- 1 ○ 男子
- 2 ○ 女子
- 3 ○ その他
- 4 ○ 答えたくない

FS8

(8)あなたの住んでいるところをおしえてください。

- 1 東京都(23区内)
- 2 東京都(23区以外の市町村)
- 3 埼玉県
- 4 千葉県
- 5 神奈川県
- 6 茨城県
- 7 栃木県
- 8 山梨県
- 9 その他

FS9

(9)あなたがおうちでいっしょに住んでいる人を全員教えてください。(いくつでも)

- 1 お母さん
- 2 お父さん
- 3 お姉さん
- 4 お兄さん
- 5 妹
- 6 弟
- 7 おばあさん
- 8 おじいさん
- 9 その他の人
- 10 いっしょに住んでいる人はいない

FS10

(10)スマートフォンやタブレットなどのICT機器ききをもっている。
※学校指定がっこうしていのものを除くのぞ。

- 1 あてはまる
- 2 あてはまらない

FS11

(11)自転車じてんしゃをもっている。

- 1 あてはまる
- 2 あてはまらない

Q2

コロナ禍(2020年4月7日から2023年5月7日まで)のことについておききます。
 自分自身がいま感じていることとして、以下の項目はどの程度あてはまるか教えてください。
 (それぞれひとつずつ)

	とてもあてはまる	少(すこ)しあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1 コロナ禍はとても大変だった	1○	2○	3○	4○	5○
2 コロナ禍でも良いことがあった	1○	2○	3○	4○	5○
3 コロナ禍ではひとりぼっちだと感じた	1○	2○	3○	4○	5○
4 コロナ禍で相談できる人がいた	1○	2○	3○	4○	5○
5 コロナ禍でも人とかかわることができた	1○	2○	3○	4○	5○
6 学校一斉休校・自宅待機の時には学校の一員という感じがしなかった	1○	2○	3○	4○	5○
7 コロナ禍では心配な気持ちが強かった	1○	2○	3○	4○	5○
8 コロナ禍ではやる気が出づらかった	1○	2○	3○	4○	5○
9 コロナ禍では自分は役に立たない人間だと感じやすかった	1○	2○	3○	4○	5○
10 コロナ禍では我慢が多かった	1○	2○	3○	4○	5○

Q3

あなたは、コロナが5類に移った後(2023年5月8日よりあとをさします)の現在、新型コロナウイルス対策の感染予防行動をどのくらい行っていますか。
(それぞれひとつずつ)

	よくやっている	少(すこ)しやっている	どちらともいえない	あまりやっていない	まったくやっていない
1 外出時にはマスクをつける	1○	2○	3○	4○	5○
2 会話をするときはマスクをつける	1○	2○	3○	4○	5○
3 せきやくしゃみをする時は、マスク・ハンカチ等を口にあてる	1○	2○	3○	4○	5○
4 手洗い・うがいやアルコール等による手や指の消毒をする	1○	2○	3○	4○	5○
5 窓やドアを開け、こまめに換気をする	1○	2○	3○	4○	5○
6 換気が悪い場所には行かない	1○	2○	3○	4○	5○
7 他の人と、近い距離での会話や発声をしない	1○	2○	3○	4○	5○
8 人がたくさん集まっている場所を避ける	1○	2○	3○	4○	5○
9 屋外でも密集するような場所を避ける、もしくは、人が少ない時間に行く	1○	2○	3○	4○	5○
10 スーパーなど人が集まる場所に行くときには、1人または少人数で、すいている時間に行く	1○	2○	3○	4○	5○

Q4

わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間、どんな気持ちだったか、教えてください。

良い答え、悪い答えはありません。

思ったとおりに教えてください。(それぞれひとつずつ)



い
つ
も
そ
う
だ

と
き
ど
き
そ
う
だ

そ
ん
な
こ
と
は
な
い

1	楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
2	とてもよく眠れる	1	2	3
3	なきたいような気がする	1	2	3
4	遊びに出かけるのが好きだ	1	2	3
5	逃げだしたいような気がする	1	2	3
6	おなかがいたくなるようなことがある	1	2	3
7	元気いっぱいだ	1	2	3
8	食事が楽しい	1	2	3
9	やろうと思うことがうまくできる	1	2	3
10	いつものように何をしてても楽しい	1	2	3
11	かぞくと話すのが好きだ	1	2	3
12	こわい夢を見る	1	2	3
13	ひとりぼちな気がする	1	2	3
14	おちこんでいてもすぐに元気になる	1	2	3
15	とてもかなしい気がする	1	2	3
16	とてもたいくつな気がする	1	2	3



い
つ
も
そ
う
だ

と
き
ど
き
そ
う
だ

そ
ん
な
こ
と
は
な
い

Q5

自分自身が今感じていることとして、あてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)



とてもあてはまる
少(すこ)しあてはまる
どちらでもない
あまりあてはまらない
まったくあてはまらない

1 普通に生活できるのがうれしいと感じる	1○	2○	3○	4○	5○
2 みんなとすごせている感じがしている	1○	2○	3○	4○	5○
3 ストレス解消ができています	1○	2○	3○	4○	5○
4 今もコロナ禍のせいで自分のよい時期をなくした気がしている	1○	2○	3○	4○	5○
5 コロナ禍を経験して自分のやりたいことがはっきりした	1○	2○	3○	4○	5○

Q6

現在のあなた自身の困りごとについて、以下の項目はどの程度あてはまるか教えてください。

(それぞれひとつずつ)



困 (こま) っ ている
ど ち ら と も い え ない
困 (こま) っ て い ない

1	外に出かけることが少ないこと	1	2	3
2	運動不足になってしまうこと	1	2	3
3	体力が低下してしまうこと	1	2	3
4	体調を崩しやすいこと	1	2	3
5	やる事がなくてひまなこと	1	2	3
6	生活リズムが整わないこと	1	2	3
7	食欲が出ないこと	1	2	3
8	食べ過ぎてしまうこと	1	2	3
9	朝、起きられないこと	1	2	3
10	友だちと今まで通り遊んだり話したりできないこと	1	2	3



困 (こま) っ ている
ど ち ら と も い え ない
困 (こま) っ て い ない

Q7

現在、あなたを支援してくれる、励ましてくれる、話をき聞いて認めてくれる人には、だれがいますか。

あてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

- 1 お父さん
- 2 お母さん
- 3 きょうだい
- 4 おじいさん
- 5 おばあさん
- 6 学校の先生
- 7 塾の先生
- 8 友だち
- 9 病院ではたらく人
- 10 カウンセラー
- 11 インターネットの知りあい
- 12 その他
- 13 そういふ人はいない

Q8

現在のあなた自身のことについて、以下の項目はどの程度あてはまるか教えてください。(それぞれひとつずつ)

と 少 ど あ ま ま
も 一 ち 更 っ た
あ す ち ら り あ た く
て す こ と も ち ゃ り あ て は
は し あ い え い ま ら は
ま あ て い え っ ま ら
る は ま ら ない ま ら ない



1	私には落ちこんでいると、元気づけてくれる人がいる	1	2	3	4	5
2	私には自分がする話をたいいおもしろそうに聞いてくれる人がいる	1	2	3	4	5
3	私にはグチ(もんく)を言いたいときに、話を聞いてくれる人がいる	1	2	3	4	5
4	私には一人ではできないことがあったときに手伝ってくれる人がいる	1	2	3	4	5
5	私には人間関係で悩んでいるときに、相談にのってくれる人がいる	1	2	3	4	5
6	私には勉強や学習の不安について、相談にのってくれる人がいる	1	2	3	4	5
7	私には体のことや健康のことで、相談にのってくれる人がいる	1	2	3	4	5
8	私にはコロナのことで相談にのってくれる人がいる	1	2	3	4	5
9	なやんだときに、「仏さまの教え」が役に立つことがある	1	2	3	4	5

Q9

あなたの日々の生活での感じ方についておたずねします。
あてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)

け ほ と つ
っ と とき つ
し ん ど い
て ん ど き ね
な ない ある
い ない ある
る



1	自分には人とのつきあいがないと感じることもある	1	2	3	4
2	自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
3	自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4
4	孤独であると感じることもある	1	2	3	4

Q10

次のことがらは、あなた自身じしんにどのくらいあてはまりますか。
 あてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)



そ う 思 （ お も ） う	ど う 思 （ お も ） う	ど ち ら か （ お も ） う	ど う 思 （ お も ） う	ど ち ら か と い え ば わ な い
--------------------------------------	--------------------------------------	---	--------------------------------------	---

- | | | | | | |
|---|--|---|---|---|---|
| 1 | 自分 <small>じぶん</small> には、よいところがある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2 | 今の自分 <small>いま じぶん</small> 自身 <small>じしん</small> が好きなだ <small>ず</small> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3 | 自分 <small>じぶん</small> 自身 <small>じしん</small> に満足 <small>まんぞく</small> している | 1 | 2 | 3 | 4 |

Q11_1

あなたは、ふだん^{つぎ}次のようなことをどれくらいしますか。
1日のだいたい^{にち}の時間^{じかん}を^{おし}教えてください。

(1) テレビ、DVD、YouTube(ユーチューブ)など^みを見る

- 1 ○ ほとんどしない
- 2 ○ 15分^{ふん}くらい
- 3 ○ 30分^{ぷん}くらい
- 4 ○ 45分^{ふん}くらい
- 5 ○ 1時間^{じかん}くらい
- 6 ○ 1時間30分^{じかん ぷん}くらい
- 7 ○ 2時間^{じかん}くらい
- 8 ○ 2時間30分^{じかん ぷん}くらい
- 9 ○ 3時間^{じかん}くらい
- 10 ○ 3時間以上^{じかんいじょう}

Q11_2

あなたは、ふだん^{つぎ}次のようなことをどれくらいしますか。
1日のだいたい^{にち}の時間^{じかん}を^{おし}教えてください。

(2) テレビゲームで遊ぶ^{あそ}
(パソコンゲーム、携帯型^{けいたいがた}ゲーム機^ま、スマートフォン・タブレットのゲーム^{ふく}を含む)

- 1 ○ ほとんどしない
- 2 ○ 15分^{ふん}くらい
- 3 ○ 30分^{ぷん}くらい
- 4 ○ 45分^{ふん}くらい
- 5 ○ 1時間^{じかん}くらい
- 6 ○ 1時間30分^{じかん ぷん}くらい
- 7 ○ 2時間^{じかん}くらい
- 8 ○ 2時間30分^{じかん ぷん}くらい
- 9 ○ 3時間^{じかん}くらい
- 10 ○ 3時間以上^{じかんいじょう}

Q12

あなたのおうちについて、あてはまるものを教えてください。(いくつでも)

- 1 本(マンガや雑誌以外)がたくさんある
- 2 自分ひとりの勉強部屋をもっている
- 3 博物館・美術館に連れて行ってもらったことがある
- 4 この1カ月のあいだに親に勉強を見てもらったことがある
- 5 家の人は毎日決まった時間に起きる
- 6 社会のできごとやニュースについて親と話をする
- 7 あてはまるものはない

Q13

あなたは、この1年間に、以下のようなことがありましたか。
あてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)



あ な
っ か
た っ
た た

1	登下校の途中、知らない人から声をかけられたこと	1	2
2	スマホまたはタブレットなどのICT機器で知らない人とメッセージをやりとりしたこと	1	2
3	カギをかけずに自転車をとめたこと	1	2
4	スマホまたはタブレットなどのICT機器の使い方について親から話をされたこと	1	2

Q14

以下のことは、どのくらいあなたにあてはまりますか。(それぞれひとつずつ)

まったくそう思(おも)わない
 そう思(おも)わない
 どちらともいえない
 そう思(おも)う
 とてもそう思(おも)う



1	つらいことでも我慢できる方だ	1	2	3	4	5
2	嫌なことがあっても、自分の感情をコントロールできる	1	2	3	4	5
3	交友関係が広く、社交的である	1	2	3	4	5
4	自分から人と親しくなることが得意だ	1	2	3	4	5
5	自分は粘り強い人間だと思う	1	2	3	4	5
6	決めたことを最後までやりとおすことができる	1	2	3	4	5
7	努力することを大事にする方だ	1	2	3	4	5
8	人と誤解が生じたときには積極的に話をしようとする	1	2	3	4	5
9	嫌な出来事があったとき、その問題を解決するために情報を集める	1	2	3	4	5

Q15

街まちにいるときや電車でんしゃの中なかなどで行動こうどうするとき、つぎの問いはあなたの考え方かんがにどのくらいあてはまりますか。

(それぞれひとつずつ)



	よくあてはまる	少(すこ)しあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1 何をしようが自分の勝手だ <small>おも</small> と思う	1○	2○	3○	4○	5○
2 人に怒られなければ何をしてもよい <small>おも</small> と思う	1○	2○	3○	4○	5○
3 友だちがみんな <small>わる</small> で悪いことをしているのに自分だけ裏切れない	1○	2○	3○	4○	5○
4 仲間はずれになるくらいなら一緒に悪いことをしてしまう	1○	2○	3○	4○	5○
5 警察につかまったら、恥ずかしくて世の中に顔向けできない	1○	2○	3○	4○	5○
6 何か問題をおこして近所の噂になるのは嫌だ	1○	2○	3○	4○	5○
7 人に迷惑になるかどうかを、まず第一に考えて行動すべき	1○	2○	3○	4○	5○
8 自分が誰かの迷惑になっていないか常に気を遣う	1○	2○	3○	4○	5○
9 どんな人に対してでも人権を尊重する	1○	2○	3○	4○	5○
10 仲間と考えが違ったりしても、それぞれの意見を大切に <small>たいせつ</small> にする	1○	2○	3○	4○	5○



(2) 中学生、高校生、大学生・院生対象 調査票

アンケート画面開始

Page 1

Project on Human Development in Daijo Shukutoku Gakuen(PHDDSG)
— 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する意識調査 【第一回】 —

◇ 実施期間

～2023年12月21日(木)23時59分まで

◇ 調査主体

大乘淑徳学園 学園内調査プロジェクト

<中学校用>・<高校用>・<大学用>アンケート

◇ アンケート調査への協力をお願いいたします。

Q1

このアンケート調査に参加する(同意する)かどうかを教えてください。

- 1 この調査に参加します(同意します)
- 2 この調査に参加しません(同意しません)

Page 2

FS1

はじめに、あなた自身のことを教えてください。
(1)あなたが所属する学校を教えてください。

- 1 淑徳中学校
- 2 淑徳巣鴨中学校
- 3 淑徳与野中学校
- 4 淑徳高校
- 5 淑徳巣鴨高校
- 6 淑徳与野高校
- 7 淑徳大学
- 8 淑徳大学大学院

FS2

(2)あなたが所属する学年を教えてください。

- 1 ○ 中学1年
- 2 ○ 中学2年
- 3 ○ 中学3年
- 4 ○ 高校1年
- 5 ○ 高校2年
- 6 ○ 高校3年
- 7 ○ 大学1年
- 8 ○ 大学2年
- 9 ○ 大学3年
- 10 ○ 大学4年
- 11 ○ 修士(博士前期)1年
- 12 ○ 修士(博士前期)2年
- 13 ○ 博士後期1年
- 14 ○ 博士後期2年
- 15 ○ 博士後期3年

FS3

(3)あなたが所属するクラスを教えてください。

(中学生、高校生のみ)

- 1 ○ 1組
- 2 ○ 2組
- 3 ○ 3組
- 4 ○ 4組
- 5 ○ 5組
- 6 ○ 6組
- 7 ○ 7組
- 8 ○ 8組
- 9 ○ 9組
- 10 ○ 10組
- 11 ○ 11組
- 12 ○ 12組

FS4

(4)あなたが所属する学科(研究科)を教えてください。

(大学生・大学院生のみ)

- 1 社会福祉学科
- 2 教育福祉学科
- 3 実践心理学科
- 4 コミュニティ政策学科
- 5 看護学科
- 6 栄養学科
- 7 こども教育学科
- 8 地域創生学科
- 9 経営学科
- 10 観光経営学科
- 11 表現学科
- 12 歴史学科
- 13 人間科学科
- 14 (院)総合福祉研究科
- 15 (院)看護学研究科

FS5

(5)あなたの出席番号を教えてください。

【例】48のように「半角数字」で入力してください

(※半角数字とは全角数字の半分の大きさの数字のことです)

番

FS6

(6)あなたの学籍番号(下3桁)をお知らせください。

【例】001のように「半角数字」で入力してください

(※半角数字とは全角数字の半分の大きさの数字のことです)

番

FS7

(7)あなたの年齢を教えてください。

(年齢はすでに誕生日がきている満年齢)

【例】18のように「半角数字」で入力してください

(※半角数字とは全角数字の半分の大きさの数字のことです)

歳

FS8

(8)あなたの生まれ月を教えてください。

(満年齢確認のためお聞きします)

- 1 ○ 4月
- 2 ○ 5月
- 3 ○ 6月
- 4 ○ 7月
- 5 ○ 8月
- 6 ○ 9月
- 7 ○ 10月
- 8 ○ 11月
- 9 ○ 12月
- 10 ○ 1月
- 11 ○ 2月
- 12 ○ 3月

FS9

(9)あなたの性別を教えてください。

- 1 ○ 男性
- 2 ○ 女性
- 3 ○ その他
- 4 ○ 答えたくない

FS10

(10)あなたの住んでいるところを教えてください。

- 1 東京都(23区内)
- 2 東京都(23区以外の市町村)
- 3 埼玉県
- 4 千葉県
- 5 神奈川県
- 6 茨城県
- 7 栃木県
- 8 山梨県
- 9 その他

FS11

(11)あなたの普段の暮らしの形態を教えてください。

- 1 実家暮らし
- 2 ひとり暮らし(アパート、マンションなど)
- 3 学生寮暮らし
- 4 共同暮らし(きょうだい、親戚と一緒に)
- 5 共同暮らし(友人、恋人と一緒に)
- 6 その他

FS12

(12)同居している人として、あてはまるものすべてを選んで下さい。(いくつでも)

- 1 母
- 2 父
- 3 姉
- 4 兄
- 5 妹
- 6 弟
- 7 祖母
- 8 祖父
- 9 その他
- 10 同居人はいない

FS13

(13)あなたの出身地を教えてください。

 ▼

FS14

(14)スマートフォンを持っている。

- 1 あてはまる
- 2 あてはまらない

FS15

(15)自転車を持っている。

- 1 あてはまる
- 2 あてはまらない

Q2

コロナ禍(2020年4月7日から2023年5月7日まで)のことについてお聞きします。
 自分自身がいま感じていることとして、以下の項目はどの程度あてはまるか教えてください。
 (それぞれひとつずつ)



と
も
あ
て
は
ま
る

 少
し
あ
て
は
ま
る

 ど
ち
ら
で
も
な
い

 あ
ま
り
あ
て
は
ま
ら
な
い

 ま
っ
た
く
あ
て
は
ま
ら
な
い

1	コロナ禍はとても大変だった	1	2	3	4	5
2	コロナ禍でも良いことがあった	1	2	3	4	5
3	コロナ禍ではひとりぼっちだと感じた	1	2	3	4	5
4	コロナ禍で相談できる人がいた	1	2	3	4	5
5	コロナ禍でも人とかかわることができた	1	2	3	4	5
6	学校一斉休校・自宅待機の時には学校の一員という感じがしなかった	1	2	3	4	5
7	コロナ禍では心配な気持ちが強かった	1	2	3	4	5
8	コロナ禍ではやる気が出づらかった	1	2	3	4	5
9	コロナ禍では自分は役に立たない人間だと感じやすかった	1	2	3	4	5
10	コロナ禍では我慢が多かった	1	2	3	4	5

と
も
あ
て
は
ま
る

 少
し
あ
て
は
ま
る

 ど
ち
ら
で
も
な
い

 あ
ま
り
あ
て
は
ま
ら
な
い

 ま
っ
た
く
あ
て
は
ま
ら
な
い



Q3

あなたは、コロナ5類移行後(2023年5月8日以降)の現在、新型コロナウイルス対策の感染予防行動をどの程度行っていますか。(それぞれひとつずつ)



	よくやっています	少しやっています	どちらともいえない	あまりやっていない	まったくやっていない
1 外出時にはマスクをつける	1○	2○	3○	4○	5○
2 会話をするときにはマスクをつける	1○	2○	3○	4○	5○
3 せきやくしゃみをする時は、マスク・ハンカチ等を口にあてる	1○	2○	3○	4○	5○
4 手洗い・うがいやアルコール等による手や指の消毒をする	1○	2○	3○	4○	5○
5 窓やドアを開け、こまめに換気をする	1○	2○	3○	4○	5○
6 換気が悪い場所には行かない	1○	2○	3○	4○	5○
7 他の人と、近い距離での会話や発声をしない	1○	2○	3○	4○	5○
8 人がたくさん集まっている場所を避ける	1○	2○	3○	4○	5○
9 屋外でも密集するような場所を避ける、もしくは、人が少ない時間に行く	1○	2○	3○	4○	5○
10 スーパーなど人が集まる場所に行くときには、1人または少人数で、すいている時間に行く	1○	2○	3○	4○	5○



よくやっています
少しやっています
どちらともいえない
あまりやっていない
まったくやっていない

Q4

過去1か月の間、次の項目のようなことはどのくらいありましたか。

6つの項目それぞれについてあてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)



い
つ
も

た
い
て
い

と
き
ど
き

少
し
だ
け

ま
っ
た
く
な
い

1 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
2 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
3 そわそわしたり、落ち着きなく感じましたか	1	2	3	4	5
4 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
5 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
6 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

Q5

自分自身がいま感じていることとして、あてはまるものを選んでください。

(それぞれひとつずつ)



と
て
も
あ
て
は
ま
る

少
し
あ
て
は
ま
る

ど
ち
ら
で
も
な
い

あ
ま
り
あ
て
は
ま
ら
な
い

ま
っ
た
く
あ
て
は
ま
ら
な
い

1 普通に生活できるのが嬉しいと感じる	1	2	3	4	5
2 皆と過ごせている感じがしている	1	2	3	4	5
3 ストレス解消ができています	1	2	3	4	5
4 今もコロナ禍のせいで自分の良い時期を失った気がしている	1	2	3	4	5
5 コロナ禍を経て自分のやりたいことがはっきりした	1	2	3	4	5

Q6

現在のあなた自身の困りごとについて、以下の項目はどの程度あてはまるか教えて下さい。

(それぞれひとつずつ)



困
っ
て
い
る

ど
ち
ら
と
も
い
え
な
い

困
っ
て
い
な
い

1	外に出かけることが少ないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
2	運動不足になってしまうこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
3	体力が低下してしまうこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
4	体調を崩しやすいこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
5	やることがなくてひまなこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
6	生活リズムが整わないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
7	食欲が出ないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
8	食べ過ぎてしまうこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
9	朝、起きられないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
10	友だちと今まで通り遊んだり話したりできないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>



困
っ
て
い
る

ど
ち
ら
と
も
い
え
な
い

困
っ
て
い
な
い

Q7

現在、あなたを支えてくれる、励ましてくれる、話を聞いて認めてくれる人には、だれがいますか。

あてはまるものすべてを選んで下さい。 (いくつでも)

- 1 母
- 2 父
- 3 きょうだい
- 4 祖母
- 5 祖父
- 6 学校の先生
- 7 塾の先生
- 8 友だち
- 9 医療や福祉で働く人
- 10 心理カウンセラー
- 11 SNSの知り合い
- 12 その他
- 13 そういう人はいない

Q8

現在のあなた自身のことについて、以下の項目はどの程度あてはまるか教えてください。
(それぞれひとつずつ)

	とてもあてはまる	少しあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1 私には落ち込んでいると、元気づけてくれる人がいる	1○	2○	3○	4○	5○
2 私には自分がする話をたいていおもしろそうに聞いてくれる人がいる	1○	2○	3○	4○	5○
3 私にはグチ(もんく)を言いたいときに、話を聞いてくれる人がいる	1○	2○	3○	4○	5○
4 私には一人ではできないことがあったときに手伝ってくれる人がいる	1○	2○	3○	4○	5○
5 私には人間関係で悩んでいるときに、相談にのってくれる人がいる	1○	2○	3○	4○	5○
6 私には勉強や学習の不安について、相談にのってくれる人がいる	1○	2○	3○	4○	5○
7 私には体のことや健康のことで、相談にのってくれる人がいる	1○	2○	3○	4○	5○
8 私にはコロナ(新型コロナウイルス感染症)のことで相談にのってくれる人がいる	1○	2○	3○	4○	5○
9 悩んだときに、「大乘仏教の精神」、「仏教の教え」が役に立つことがある	1○	2○	3○	4○	5○

Q9

あなたの日々の生活での感じ方についておたずねします。
あてはまるものを選んで下さい。(それぞれひとつずつ)

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
1 自分には人とのつきあいがないと感じることもある	1○	2○	3○	4○
2 自分は取り残されていると感じることがある	1○	2○	3○	4○
3 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1○	2○	3○	4○
4 孤独であると感じることがある	1○	2○	3○	4○

Q10

次のことからは、あなた自身にどのくらいあてはまりますか。
あてはまるものを選んで下さい。(それぞれひとつずつ)



そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------

- | | | | | | |
|---|---------------|---|---|---|---|
| 1 | 自分には、よいところがある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2 | 今の自分自身が好きだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3 | 自分自身に満足している | 1 | 2 | 3 | 4 |

Q11_1

あなたは、ふだん次のようなことをどれくらいしますか。
1日のだいたいの時間を教えてください。

(1) テレビ、DVD、YouTubeなどを見る

- 1 ○ ほとんどしない
- 2 ○ 15分くらい
- 3 ○ 30分くらい
- 4 ○ 45分くらい
- 5 ○ 1時間くらい
- 6 ○ 1時間30分くらい
- 7 ○ 2時間くらい
- 8 ○ 2時間30分くらい
- 9 ○ 3時間くらい
- 10 ○ 3時間以上

Q11_2

あなたは、ふだん次のようなことをどれくらいしますか。
1日のだいたいの時間を教えてください。

(2) テレビゲームで遊ぶ
(パソコンゲーム、携帯型ゲーム機、スマートフォンのゲームを含む)

- 1 ○ ほとんどしない
- 2 ○ 15分くらい
- 3 ○ 30分くらい
- 4 ○ 45分くらい
- 5 ○ 1時間くらい
- 6 ○ 1時間30分くらい
- 7 ○ 2時間くらい
- 8 ○ 2時間30分くらい
- 9 ○ 3時間くらい
- 10 ○ 3時間以上

Q12

あなたの家のことについて、あてはまるものを教えてください。(いくつでも)

- 1 本(マンガや雑誌以外)がたくさんある
- 2 自分ひとりの勉強部屋をもっている
- 3 博物館・美術館に連れて行ってもらったことがある
- 4 小さい頃、よく本を読んでもらった
- 5 家の人は毎日決まった時間に起きる
- 6 社会のできごとやニュースについて親と話をする
- 7 あてはまるものはない

Q13

あなたは、この1年間に、以下のようなことがありましたか。
あてはまるものを選んで下さい。(それぞれひとつずつ)



あ	な
っ	か
た	っ
	た

- | | | |
|----------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1 登下校の途中、知らない人から声をかけられたこと | 1 <input type="radio"/> | 2 <input type="radio"/> |
| 2 スマホで知らない人とメッセージをやりとりしたこと | 1 <input type="radio"/> | 2 <input type="radio"/> |
| 3 カギをかけずに自転車をとめたこと | 1 <input type="radio"/> | 2 <input type="radio"/> |
| 4 スマホの使い方について親から話をされたこと | 1 <input type="radio"/> | 2 <input type="radio"/> |

Q14

以下のことは、どのくらいあなたにあてはまりますか。(それぞれひとつずつ)

	とても そう 思う	そう 思う	どちら とも いえ ない	そう 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
1 つらいことでも我慢できる方だ	1○	2○	3○	4○	5○
2 嫌なことがあっても、自分の感情をコントロールできる	1○	2○	3○	4○	5○
3 交友関係が広く、社交的である	1○	2○	3○	4○	5○
4 自分から人と親しくなることが得意だ	1○	2○	3○	4○	5○
5 自分は粘り強い人間だと思う	1○	2○	3○	4○	5○
6 決めたことを最後までやりとおすことができる	1○	2○	3○	4○	5○
7 努力することを大事にする方だ	1○	2○	3○	4○	5○
8 人と誤解が生じたときには積極的に話をしようとする	1○	2○	3○	4○	5○
9 嫌な出来事があったとき、その問題を解決するために情報を集める	1○	2○	3○	4○	5○

Q15

街中や電車の中などで行動するとき、以下の項目はあなたの考え方にどの程度あてはまりますか。

あてはまる程度1つを選んでください。(それぞれひとつずつ)



よくあてはまる
 少しあてはまる
 どちらでもない
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

1	何をしようが自分の勝手だと思う	1	2	3	4	5
2	人に怒られなければ何をしてもよいと思う	1	2	3	4	5
3	友だちがみんなで悪いことをしているのに自分だけ裏切れない	1	2	3	4	5
4	仲間はずれになるくらいなら一緒に悪いことをしてしまう	1	2	3	4	5
5	警察につかまったら、恥ずかしくて世の中に顔向けできない	1	2	3	4	5
6	何か問題をおこして近所の噂になるのは嫌だ	1	2	3	4	5
7	人に迷惑になるかどうかを、まず第一に考えて行動すべき	1	2	3	4	5
8	自分が誰かの迷惑になっていないか常に気を遣う	1	2	3	4	5
9	どんな人に対してでも人権を尊重する	1	2	3	4	5
10	仲間と考えが違ったりしても、それぞれの意見を大切にする	1	2	3	4	5



よくあてはまる
 少しあてはまる
 どちらでもない
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

(3) 保護者対象 調査票

アンケート画面開始

Page 1

Project on Human Development in Daijo Shukutoku Gakuen(PHDDSG) — 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する意識調査 【第一回】 —

◇ 実施期間

～2023年12月21日(木)23時59分まで

◇ 調査主体

大乘淑徳学園 学園内調査プロジェクト

<保護者>用アンケート

◇ アンケート調査への協力をお願いいたします。

Q1

このアンケート調査に参加する(同意する)かどうかを教えてください。

- 1 この調査に参加します(同意します)
- 2 この調査に参加しません(同意しません)

Page 2

FS1

はじめに、あなたのお子さん(※)やあなた自身のことを教えてください。

(1)あなたのお子さんが所属する学校を教えてください。

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

- 1 淑徳幼稚園
- 2 淑徳与野幼稚園
- 3 淑徳小学校
- 4 淑徳中学校
- 5 淑徳巣鴨中学校
- 6 淑徳与野中学校
- 7 淑徳高校
- 8 淑徳巣鴨高校
- 9 淑徳与野高校

FS2

(2)あなたのお子さんが所属する学年を教えてください。

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

- 1 ○ 年少
- 2 ○ 年中
- 3 ○ 年長
- 4 ○ 小学1年
- 5 ○ 小学2年
- 6 ○ 小学3年
- 7 ○ 小学4年
- 8 ○ 小学5年
- 9 ○ 小学6年
- 10 ○ 中学1年
- 11 ○ 中学2年
- 12 ○ 中学3年
- 13 ○ 高校1年
- 14 ○ 高校2年
- 15 ○ 高校3年

FS3

(3)あなたのお子さんが所属するクラスを教えてください。

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

- 1 ○ 1組
- 2 ○ 2組
- 3 ○ 3組
- 4 ○ 4組
- 5 ○ 5組
- 6 ○ 6組
- 7 ○ 7組
- 8 ○ 8組
- 9 ○ 9組
- 10 ○ 10組
- 11 ○ 11組
- 12 ○ 12組

FS4

(4)あなたのお子さんの出席番号を教えてください。

【例】48のように「半角数字」で入力してください

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

番

FS5

(5)お子さんにとってのあなたとの関係を教えてください。

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

- 1 母親
- 2 父親
- 3 その他

FS6

(6)あなたの年齢を教えてください。

(年齢はすでに誕生日がきている満年齢)

【例】18のように「半角数字」で入力してください

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

歳

FS7

(7)あなたの住んでいる所を教えてください。

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

- 1 東京都(23区内)
- 2 東京都(23区以外の市町村)
- 3 埼玉県
- 4 千葉県
- 5 神奈川県
- 6 茨城県
- 7 栃木県
- 8 山梨県
- 9 その他

FS8

(8)あなたの住居形態を教えてください。

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

- 1 一戸建て
- 2 集合住宅
- 3 その他

FS9

(9)お子さん以外であなたが同居している人を教えてください。(いくつでも)

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

- 1 夫
- 2 妻
- 3 祖父
- 4 祖父(義理の父)
- 5 祖母
- 6 祖母(義理の母)
- 7 きょうだい
- 8 義理のきょうだい
- 9 その他
- 10 同居人はいない

FS10

(10)あなたのお子さんの人数を教えてください。

※複数のお子さんが学園に在籍している場合は、お手数ですがそのお子さん毎にご回答ください。

Q2

コロナ禍(2020年4月7日から2023年5月7日まで)のことについてお聞きします。

自分自身がいま感じていることとして、以下の項目はどの程度あてはまるか教えてください。(それぞれひとつずつ)

	とてもあてはまる	少しあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1 コロナ禍はとても大変だった	1○	2○	3○	4○	5○
2 コロナ禍でも良いことがあった	1○	2○	3○	4○	5○
3 コロナ禍ではひとりぼっちだと感じた	1○	2○	3○	4○	5○
4 コロナ禍で相談できる人がいた	1○	2○	3○	4○	5○
5 コロナ禍でも人とかかわることができた	1○	2○	3○	4○	5○
6 学校一斉休校・自宅待機の時には学校の一員という感じがしなかった	1○	2○	3○	4○	5○
7 コロナ禍では心配な気持ちが強かった	1○	2○	3○	4○	5○
8 コロナ禍ではやる気が出づらかった	1○	2○	3○	4○	5○
9 コロナ禍では自分は役に立たない人間だと感じやすかった	1○	2○	3○	4○	5○
10 コロナ禍では我慢が多かった	1○	2○	3○	4○	5○

Q3

あなたは、コロナ5類移行後(2023年5月8日以降)の現在、新型コロナウイルス対策の感染予防行動をどの程度行っていますか。(それぞれひとつずつ)



	よくやっている	少しやっている	どちらともいえない	あまりやっていない	まったくやっていない
1 外出時にはマスクをつける	1○	2○	3○	4○	5○
2 会話をするときはマスクをつける	1○	2○	3○	4○	5○
3 せきやくしゃみをする時は、マスク・ハンカチ等を口にあてる	1○	2○	3○	4○	5○
4 手洗い・うがいやアルコール等による手や指の消毒をする	1○	2○	3○	4○	5○
5 窓やドアを開け、こまめに換気をする	1○	2○	3○	4○	5○
6 換気が悪い場所には行かない	1○	2○	3○	4○	5○
7 他の人と、近い距離での会話や発声をしない	1○	2○	3○	4○	5○
8 人がたくさん集まっている場所を避ける	1○	2○	3○	4○	5○
9 屋外でも密集するような場所を避ける、もしくは、人が少ない時間に行く	1○	2○	3○	4○	5○
10 スーパーなど人が集まる場所に行くときには、1人または少人数で、すいている時間に行く	1○	2○	3○	4○	5○



よく
や
っ
て
い
る

少
し
や
っ
て
い
る

ど
ち
ら
と
も
い
え
な
い

あ
ま
り
や
っ
て
い
な
い

ま
っ
た
く
や
っ
て
い
な
い

Q4

過去1か月の間、次の項目のようなことはどのくらいありましたか。

6つの項目それぞれについてあてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)

	い つ も	た い て い	と き ど き	少 し だ け	ま っ た く な い
1 神経過敏に感じましたか	1○	2○	3○	4○	5○
2 絶望的だと感じましたか	1○	2○	3○	4○	5○
3 そわそわしたり、落ち着きなく感じましたか	1○	2○	3○	4○	5○
4 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1○	2○	3○	4○	5○
5 何をするのも骨折りだと感じましたか	1○	2○	3○	4○	5○
6 自分は価値のない人間だと感じましたか	1○	2○	3○	4○	5○

Q5

自分自身がいま感じていることとして、あてはまるものを選んでください。

(それぞれひとつずつ)

	と て も あ て は ま る	少 し あ て は ま る	ど ち ら で も な い	あ ま り あ て は ま ら な い	ま っ た く あ て は ま ら な い
1 普通に生活できるのが嬉しいと感じる	1○	2○	3○	4○	5○
2 皆と過ごせている感じがしている	1○	2○	3○	4○	5○
3 ストレス解消ができています	1○	2○	3○	4○	5○
4 今もコロナ禍のせいで自分の良い時期を失った気がしている	1○	2○	3○	4○	5○
5 コロナ禍を経て自分のやりたいことがはっきりした	1○	2○	3○	4○	5○

Q6

現在のお子さんに関する心配ごとについて、以下の項目はどの程度あてはまりますか。
(それぞれひとつずつ)



困
っ
て
い
る

ど
ち
ら
と
も
い
え
な
い

困
っ
て
い
な
い

1	外に出かけることが少ないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
2	運動不足になってしまうこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
3	体力が低下してしまうこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
4	体調を崩しやすいこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
5	やることがなくてひまなこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
6	生活リズムが整わないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
7	食欲が出ないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
8	食べ過ぎてしまうこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
9	朝、起きられないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
10	友だちと今まで通り遊んだり話したりできないこと	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>



困
っ
て
い
る

ど
ち
ら
と
も
い
え
な
い

困
っ
て
い
な
い

Q7

現在、あなたを支えてくれる、励ましてくれる、話を聞いて認めてくれる人には、だれがいますか。

あてはまるものすべてを選んで下さい。(いくつでも)

- 1 配偶者
- 2 実の母
- 3 実の父
- 4 義理の母
- 5 義理の父
- 6 実のきょうだい
- 7 義理のきょうだい
- 8 学校の先生
- 9 塾の先生
- 10 友だち(自分の)
- 11 近所の人
- 12 親戚の人
- 13 職場の人
- 14 医療や福祉で働く人
- 15 心理カウンセラー
- 16 SNSの知り合い
- 17 その他
- 18 そういう人はいない

Q8

現在のあなた自身のことについて、以下の項目はどの程度あてはまるか教えてください。
(それぞれひとつずつ)



と
て
も
あ
て
は
ま
る

少
し
あ
て
は
ま
る

ど
ち
ら
と
も
い
え
な
い

あ
ま
り
あ
て
は
ま
ら
な
い

ま
っ
た
く
あ
て
は
ま
ら
な
い

1 私には落ち込んでいると、元気づけてくれる人がいる	1	2	3	4	5
2 私には自分がする話をたいいおもしろそうに聞いてくれる人がいる	1	2	3	4	5
3 私にはグチ(もんく)を言いたいときに、話を聞いてくれる人がいる	1	2	3	4	5
4 私には一人ではできないことがあったときに手伝ってくれる人がいる	1	2	3	4	5
5 私には人間関係で悩んでいるときに、相談にのってくれる人がいる	1	2	3	4	5
6 私には勉強や学習の不安について、相談にのってくれる人がいる	1	2	3	4	5
7 私には体のことや健康のことで、相談にのってくれる人がいる	1	2	3	4	5
8 私にはコロナ(新型コロナウイルス感染症)のことで相談にのってくれる人がいる	1	2	3	4	5
9 悩んだときに、「大乘仏教の精神」、「仏教の教え」が役に立つことがある	1	2	3	4	5

Q9

あなたの日々の生活での感じ方についておたずねします。
あてはまるものを選んで下さい。(それぞれひとつずつ)



決
し
て
な
い

ほ
と
ん
ど
な
い

時
々
あ
る

常
に
あ
る

1 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	1	2	3	4
2 自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
3 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4
4 孤独であると感じることがある	1	2	3	4

Q10

次のことからは、あなた自身にどのくらいあてはまりますか。
あてはまるものを選んで下さい。(それぞれひとつずつ)



そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない

- | | | | | |
|-----------------|----|----|----|----|
| 1 自分には、よいところがある | 1○ | 2○ | 3○ | 4○ |
| 2 今の自分自身が好きだ | 1○ | 2○ | 3○ | 4○ |
| 3 自分自身に満足している | 1○ | 2○ | 3○ | 4○ |

Q11

ふだんのあなたの社会生活やご家庭での様子についてお聞きします。
(1)犯罪に対する不安感についておたずねします。
あてはまるものを選んで下さい。(それぞれひとつずつ)



不安を感じる
どちらかといえば不安を感じる
どちらかといえば不安を感じない
不安を感じない

- | | | | | |
|---------------------------------------|----|----|----|----|
| 1 あなた自身が、犯罪の被害にあうのではという不安を感じることはありますか | 1○ | 2○ | 3○ | 4○ |
| 2 お子様が、犯罪の被害にあうのではないかと不安を感じることはありますか | 1○ | 2○ | 3○ | 4○ |

Q12

ふだんのあなたの社会生活やご家庭での様子についてお聞きします。
 (2)ご家庭での犯罪対策についておたずねします。
 あてはまるものを選んで下さい。(それぞれひとつずつ)



あてはまる
 どちらかといえ
 どちらかといえ
 あてはまらない
 あてはまらない

1	フィルタリングをかけるなど、子どものスマートフォン・タブレットなどのICT機器の利用方法を管理している	1○	2○	3○	4○
2	子どもの放課後の過ごし方は把握できている	1○	2○	3○	4○
3	子どもの休日の過ごし方は把握できている	1○	2○	3○	4○
4	犯罪の被害にあわないように、家族で話しあうようにしている	1○	2○	3○	4○

Q13

過去1か月の間のお子さんの様子について教えてください。(それぞれひとつずつ)



ま っ た く こ の と お り	だ い た い こ の と お り	少 し 合 っ て い る	ほ と ん ど 合 っ て い な い	ま っ た く ち が う
---	---	---------------------------------	--	---------------------------------

1 将来について、明るい面を言うことができる	1	2	3	4	5
2 自分のベストを尽くそうとする	1	2	3	4	5
3 馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる	1	2	3	4	5
4 他人にきちんと挨拶することができる	1	2	3	4	5
5 大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	1	2	3	4	5
6 必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	1	2	3	4	5
7 将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	1	2	3	4	5
8 自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる	1	2	3	4	5

Q14

街中や電車の中などで行動するとき、以下の項目はあなたの考え方にどの程度あてはまりますか。あてはまる程度1つを選んでください。(それぞれひとつずつ)

	よくあてはまる	少しあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1 何をしようが自分の勝手だと思う	1○	2○	3○	4○	5○
2 人に怒られなければ何をしてもよいと思う	1○	2○	3○	4○	5○
3 友だちがみんなで悪いことをしているのに自分だけ裏切れない	1○	2○	3○	4○	5○
4 仲間はずれになるくらいなら一緒に悪いことをしてしまう	1○	2○	3○	4○	5○
5 警察につかまったら、恥ずかしくて世の中に顔向けできない	1○	2○	3○	4○	5○
6 何か問題をおこして近所の噂になるのは嫌だ	1○	2○	3○	4○	5○
7 人に迷惑になるかどうかを、まず第一に考えて行動すべき	1○	2○	3○	4○	5○
8 自分が誰かの迷惑になっていないか常に気を遣う	1○	2○	3○	4○	5○
9 どんな人に対してでも人権を尊重する	1○	2○	3○	4○	5○
10 仲間と考えが違ったりしても、それぞれの意見を大切にする	1○	2○	3○	4○	5○

【文献】

コロナ禍への意識

感染予防行動

薊理津子 (2022). 新型コロナウイルス感染症予防行動と行動基準との関連性—羞恥を媒介した検討—
心理学研究, 93 (5), 397-407.

DOI : <https://doi.org/10.4992/jjpsy.93.20079>

健康

身体的健康

長野康平・菊池信太郎・中村和彦 (2021). 新型コロナウイルス感染症の流行前後における小学生の体力・運動
能力の比較 日本体育・スポーツ・健康学会予稿集, 71, 117.

山田孝禎・青木宏樹・野口雄慶・杉浦宏季・近藤 雄一郎・出村友寛・内田雄・山次俊介(2021). 運動習慣の有無
が新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校前後の日常生活習慣に及ぼす影響 日本体育・スポーツ・
健康学会予稿集, 71, 367.

田村史江 (2022). COVID-19 パンデミックによる長期休校中と休校明けの子どもの困りごとと保護者
の配ごとの実態 日本幼少児健康教育学会誌, 7(2), 83-96.

DOI : https://doi.org/10.34392/healtheduchild.7.2_83

矢野氏郷 (2020). 幼児期の健康と生活実態に関する研究 —新型コロナウイルス感染症による影響調査—
近畿大学教育論叢, 34(1), 65-76.

近澤幸 (2021). 新型コロナウイルス感染症が乳幼児と親に与える影響に関する文献検討 大阪医科大学
看護研究雑誌, 11, 82-91.

小湊真衣 (2020). 新型コロナウイルスの流行に伴う外出自粛状況下における保護者の子育て不安—非常
事態時における子育て支援のあり方の検討— 帝京科学大学総合教育センター紀要, 総合学術研究, 3,
71-88.

満石寿・前田奎・松木優也・村上いろは・青木好子 (2021). コロナ禍における身体活動量がストレスお
よび実行機能に及ぼす影響. 京都先端科学大学健康医療学部紀要, 6, 31-40.

鈴木瑛貴・遠藤隆志・窪谷珠江・馬場彩果・植草一世 (2022). コロナ禍が幼児の日常生活ならびに健康
に与える影響—2021年2-3月の保護者へのアンケート調査より 植草学園短期大学紀要, 23, 87-
95.

DOI: https://doi.org/10.24683/uekusat.23.0_87

奥山純子・門廻充侍 (2021). コロナ禍長期化における児童・青年の身体活動とメンタルヘルス

ストレス科学研究, 36, 3-11.

DOI: doi.org/10.5058/stresskagakukenyu.2021002

鈴木敏之 (2021). 新型コロナウイルス感染症流行下における児童生徒の社会情緒的（非認知）能力をめぐ
る状況：流行初期に関する文献調査（国立教育政策研究所 令和3年度プロジェクト研究報告書
「社会情緒的（非認知）能力の発達と環境に関する研究：教育と学校改善への活用可能性の視点
から」 発達調査チーム研究報告書.

中谷昌弘 (2020). コロナ禍における幼児の運動あそび—姫路日ノ本短期大学附属幼稚園のアンケートか
ら—. 姫路日ノ本短期大学研究紀要, 43, 45-65.

高牧恵里・松井いずみ・荒金幸子 (2021) 幼児期におけるリトミック活動の身体的影響について
— 4歳児の活動を中心に. 武蔵野大学しあわせ研究所紀要, 4, 75-87.

精神的健康（公衆衛生）

Birleson, P. (1981). The validity of depressive disorder in childhood and the development of a self-
rating scale: A research report. *Child Psychology & Psychiatry & Allied Disciplines*, 22(1), 73–88.
DOI : <https://doi.org/10.1111/j.1469-7610.1981.tb00533.x>

Furukawa, TA., Kawakami, N., Saitoh, M., Ono, Y., Nakane, Y., Nakamura, Y., et al. (2008).
The performance of the Japanese version of the K6 and K10 in the World Mental Health Survey
Japan. *International Journal of Methods in Psychiatric Research*. 17(3), 152-158.

川上憲人 (2007). 全国調査における K6 調査票による心の健康状態の分布と関連要因. 平成 18 年度厚
生労働科学研究費補助金（統計情報高度利用総合研究事業）国民の健康状況に関する統計情報を世
帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究. 分担研究書.

Kessler RC, Barker PR, Colpe LJ, et al., (2003). Screening for serious mental illness in the general
population. *Arch Gen Psychiatry*. 60(2), 184-189.

心理

メンタルヘルス（臨床心理）

藤田純一 (2023) . コロナ禍の子どもと母親のメンタルヘルス. 女性心身医学, 27 (3), 270-272.
DOI : https://doi.org/10.18977/jspog.27.3_270

萩原美沙・武内珠美・渡辺亘・中里直樹・渡邊晴美 (2023) .
コロナ禍における大分県の児童生徒の生活の状態とメンタルヘルス, インターネット・ゲーム使用に
関する研究. 大分大学臨床心理研究, 3, 43-51.
DOI : <https://doi.org/10.51073/17143>

伊藤賀永 (2022) . 新型コロナウイルス感染拡大が青少年のメンタルヘルスに与える影響—スイスとドイツの研究及び臨床報告から考察する—. 関東学院大学人間環境学会紀要, 38, 13-28.

小牧隼人・石光雄太・徳弘郁絵・上野かおり・堀寛史 (2023) .

新型コロナウイルス感染症対策による中学校休校から再開までの運動器・メンタルヘルスに関する予防・啓発活動. 日本予防理学療法学会雑誌, 2(1), 32-38.

DOI : <https://doi.org/10.57304/jptp.JPTP-D-22-00003>

百瀬太喜・石川智・谷地ちぐさ・山口創 (2022) . コロナ禍における子どもへのストレスと親の気分状態の関連. 日本健康心理学会大会発表論文集, 35, 72

DOI : https://doi.org/10.11560/jahpp.35.0_72

中島俊思・林陽子・永尾悠生・木道圭子 (2023) . コロナ禍における大学新入生のメンタルヘルスと予防活動の効果. 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要, 7, 2-12.

DOI : <https://doi.org/10.34551/00023454>

中内みさ・日下紀子 (2023) . コロナ禍における女子大学生のストレスの実態とメンタルヘルスへの対応. ノートルダム清心女子大学紀要：人間生活学・児童学・食品栄養学編 47 (1), 39-51.

西尾彰泰 (2023) . 新型コロナウイルス感染拡大に伴うメンタルヘルスケアの実態と課題. DIO : data information, opinions : 連合総研レポート : 資料・情報・意見 34 (1), 10-13.

山村英司 (2023) . 新型コロナウイルスの蔓延下でのメンタルヘルスの変化—これまでの知見と将来への含意—. 社会保障研究, 7(3), 236-245.

DOI : <https://doi.org/10.50870/00000466>

孤独感

Berkman, L. F., & Syme, S. L. (1979). Social networks, host resistance, and mortality: A nine-year follow-up study of Alameda County residents. *American Journal of Epidemiology*, 109, 186-204.

Russell, D. (1996). *The UCLA Loneliness Scale (version 3): Reliability, validity, and factor structure.* J Pres Assess, 66, 20-40.

舩田ゆづり・田高悦子・臺有桂, (2012) : 高齢者における日本語版 UCLA 孤独感尺度 (第3版) の開発とその信頼性・妥当性の検討. 日本地域看護学会誌, 15 (1) , 25-32.

自己肯定感

文部科学省 (2017) 自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓ひらく子供を育む教育の実現に向けた、学校、家庭、地域の教育力の向上 (第十次提言参考資料) , 4 既存調査を用いた我が国の子供たちの自己肯定感に関する分析.

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/_icsFiles/afieldfile/2017/06/23/1387211_08_1.pdf (2023年11月1日閲覧)

行動基準

永房典之・菅原健介・佐々木淳・藤澤文・薊理津子 (2012) 厚生施設入所児の公衆場面における行動基準に関する研究. *心理学研究*, 83(5), 470-478.

DOI : <https://doi.org/10.4992/jjpsy.83.470>

教育

非認知能力

Doi, Satomi., Miyamura, Keitaro., Isumi, Aya. & Fujiwara, Takeo. (2021) . Impact of School Closure Due to COVID-19 on the Social-Emotional Skills of Japanese Pre-school Children. *Frontiers in Psychiatry*.

DOI : <https://doi.org/10.3389/fpsy.2021.739985>

生活習慣（テレビ等を見る時間）

ベネッセ教育総合研究所 (2009). 第2回子ども生活実態基本調査資料編（質問5より一部改編：(1)の質問文にYouTubeを追加）

文化資本

お茶の水女子大学 JELS（Japan Education Longitudinal Study）(2004). 2003年基礎年次調査報告（児童・生徒質問紙調査）.

ベネッセ教育総合研究所 (2009). 第2回子ども生活実態基本調査資料編.

子どもの安全

Lab, Steven, P., (2004) . *Crime Prevention, Fifth Edition, Approaches, Practices and Evaluations*, Matthew Bender & Co., (=2006, 渡辺昭一・島田貴仁・齊藤知範・菊池城治（訳） 犯罪予防—方法, 実践, 評価—, (財) 社会安全研究財団)

島田貴仁 (2021) . 犯罪予防の社会心理学—被害リスクの分析とフィールド実験による介入— ナカニシヤ出版.